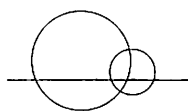


〔研究ノート〕



## 高橋正二『在清見聞録』第一、第二

——日清貿易研究所の学生による記録——

愛知大学非常勤講師 石田卓生

本稿は、日清貿易研究所の学生であった高橋正二の在学中の手記『在清見聞録』を紹介するものである。

『在清見聞録』は、中村彰夫『在清見聞録』<sup>1</sup>が「経済地理学研究の一助にすることを目的」<sup>2</sup>としてすでに紹介しているが、全105編の文章のうちわずか6編を収めるのみであった。後述するように参考にした高橋正二資料は『在清見聞録』第一～第五、『日誌第二』、『雑書綴』があるが、本稿では紙幅の制約から『在清見聞録』第一、第二の全文を紹介する。

高橋正二について専論はないようであるが、唯一まとまった記述がみえる『統対支回顧録』の該当部分を引用し経歴を確認したい。なお、漢字は新字体に改めた。〔 〕内は引用者による。

君は福岡県の人、旧久留米藩士高橋正幸の三男、明治三年一月二十四日〔1870年2月24日〕、久留米市篠山町に生れた。十九年〔1886〕久留米中学校〔現福岡県立明善高等学校〕を卒業の後、同年上京して私立東京英語学校初等科に入学、同二十一年〔1888〕の春卒業す。

二十三年〔1890〕久留米市費生として、

上海日清貿易研究所に入学し、二十六年〔1893〕卒業、其後引続き日清商品陳列所に在て実地練習を続けた。

二十七年〔1894〕、日清戦役起るや、第二軍に通訳官として従軍し、媾和成立の後、台湾憲兵隊付に転じ、次で三井物産合名会社香港支店に勤務し、約二年にして三十五年〔1902〕退社、同十月上海東亜同文書院に聘せられ、教授兼寮監として書院第一二期生の教育に当り、四十年〔1907〕十二月之を辞し、帰郷後は久留米市立商業学校〔現久留米市立久留米商業高等学校〕教諭に任じ、爾後昭和五年〔1930〕に至る二十五年間、専ら同校の支那語教師として勤続し、其間幾回か生徒を督率して、支那内地に修学旅行を試み、啓発する所あり、後昭和八年〔1933〕九州帝国大学の講師として、支那語の講師を囑託され、其他久留米憲兵分隊及び九州医科専門学校<sup>3</sup>等の語学並に書道講師を委嘱され、従六位勲六等に賞叙せられた。昭和十一年〔1936〕七月、病を以て篠山町の自宅に逝く。享年六十七。<sup>4</sup>

日清貿易研究所時代について補足すれば、高橋

<sup>1</sup> 中村彰夫「在清見聞録」『第一経大論集』第9巻第1・2合併号、第一経済大学経済研究会、1979年9月、51～77頁。

<sup>2</sup> 同註、51頁。

<sup>3</sup> 九州医科専門学校。九州医学専門学校の誤りであろう。現在の久留米大学。

<sup>4</sup> 『統対支回顧録』下巻、545～546頁。



正二『日誌第二』の1891(明治24)年9月9日付に「此日着滬ノ一周年ニ当ル」とあることから、高橋が日清貿易研究所で学ぶために上海に渡ったのは1890年9月9日と確認できる。帰国したのは日清戦争の最中である。1894年7月の開戦後、同8月12日の在上海日本領事の引き揚げ後も彼は教員御幡雅文や同窓生青木喬<sup>5</sup>、中島真雄、角田隆郎、三谷末次郎、吉原洋三郎、猪田正吉、土井伊八、金島文四郎、沢本良臣、岩本嘉次郎と共になお上海に留まりつづけ、同8月24日に日本領事から邦人保護を委託されていたアメリカ領事によって強制的に帰国させられている<sup>6</sup>。つまり、彼の日清貿易研究所、日清商品陳列所時代は1890年9月9日から1894年8月24日までであった。

高橋は日清貿易研究所以来つねに中国語に携わり続け、東亜同文書院の教員となって以降は一貫して中国語教育者として活動した。東亜同文書院

時代(1903年5月15日～1907年12月30日<sup>7</sup>)には、同校専用中国語発音教材『北京官話声音譜』<sup>8</sup>を著し、後の東亜同文書院独自編纂中国語教科書『華語萃編』<sup>9</sup>へも影響を与えている。<sup>10</sup>

この高橋と中国語との関わりの出発点ともなった日清貿易研究所は、1890年に中国で諜報活動に従事した経歴をもつ陸軍将校荒尾精<sup>11</sup>によって貿易実務者養成を目的として上海に設立された教育機関であった。これ以前、1884(明治17)年にも同じく商業専門家養成を目的とした東洋学館が上海に開学しているが、十分な教育活動を行うことはできなかったようであり、1年ほどで閉校している。<sup>12</sup>日清貿易研究所も日清戦争勃発のために1894年には閉鎖されており存続期間は短かったものの第1期生を卒業させ<sup>13</sup>、その中から長江流域の漕運業に従事し後に東亜同文会理事長ともなった白岩龍平<sup>14</sup>、中国東北地方で活動した

<sup>5</sup> 青木喬(1865～?)。現在の福岡県久留米市に生まれる。1880年県立久留米中学校(現明善高等学校)入学、1890年9月上海に渡り久留米市の学費半額補助をうけて日清貿易研究所に入学、1893年6月卒業。日清戦争では通訳官として従軍、講和後は台湾総督府に勤務する。日露戦争時も通訳として従軍している。1906年宏文学院(弘文学院)支那学生監督、1908年から1928年3月まで東亜同文書院教授を務めた。1933年6月満洲国総務庁嘱託兼法制局嘱託、薦任三等となる(以上『統対支回顧録』下巻、463～473頁参照)。著書に『支那時文類編』(東亜同文書院、1918年4月、1928年3月)、『現代支那尺牘教科書全』(東亜同文書院、1924年5月。ただし愛知大学東亜同文書院大学記念センター所蔵の出版時期不明の同名書には「第二学年岡村正文、大正十年第二学年二学期より」という書き込みがあり、1921年時点ですでに刊行されていたようである。)がある。

<sup>6</sup> 『統対支回顧録』下巻、467～468頁。

<sup>7</sup> 松岡恭一、山口昇編『沿革史』(上海:東亜同文書院学友会、1908年6月、下編97頁。以下、『沿革史』と略す)に基づく。就職時期に関しては、本文引用の『統対支回顧録』は1902年10月としている。この相違について推測するに、これ以前に教職歴のなかった高橋は1902年10月にまず寮監として就職し、1903年5月15日より教授職を兼任するようになったのではないかと推測される。

<sup>8</sup> 高橋正二編『北京官話声音譜』上海:東亜同文書院、1905年序。

<sup>9</sup> 『華語萃編』。東亜同文書院での中国語教育のために校内で編まれた中国語教科書。1年生用の初集がはじめに刊行され、段階的に各学年毎向けに二集から四集までが刊行された。初集(1916年初版〔1914年凡例〕)、二集(1925年初版)、三集(1925年初版)、四集(1933年初版)。

<sup>10</sup> 拙文「東亜同文書院の中国語教材:『華語萃編』以前について」(『中国21』Vol.32、愛知大学現代中国学会、2009年12月)を参照のこと。

<sup>11</sup> 荒尾精(1859～1896)。尾張藩士義済の子として生まれる。陸軍教導団砲兵科、陸軍士官学校歩兵科(旧5期)卒。1886～1889年にかけて参謀本部から中国に派遣され情報収集、調査活動に就く。後に日清貿易研究所を設立した。台湾で急逝。

<sup>12</sup> 『沿革史』(上編第二章30～31頁)を参照のこと。

<sup>13</sup> 日清貿易研究所の卒業生人数については、『沿革史』(上編第1章23頁)は77名、『東亜同文書院大学史』(滬友会1955年、7頁)、大学史編纂委員会編『東亜同文書院大学史』(滬友会、1982年5月、35頁)は卒業整数を89名としている。

<sup>14</sup> 白岩龍平(1870～1942)岡山県英田郡の荒牧大明神(讀甘神社)の神官の三男として生まれる。小学校、漢学塾を経て上京、荒尾精の門人となり日清貿易研究所に学ぶ。日清戦争時には通訳官として従軍、講和後は中国で大東新利洋行(後に大東汽船)、湖南汽船を起こし、後に日清汽船取締役として中国通の実業家として活躍した。彼については、中村義『白岩龍平日記:アジア主義実業家の生涯』(研文出版、1999年9月)が詳しい。

向野堅一<sup>15</sup>といった中国を舞台に活躍した実業家やジャーナリストの鳥居素川<sup>16</sup>、東亜同文書院教授を務めた青木喬を輩出した。

また、研究所関係者の一部が1901（明治34）年に同じく上海に設立された東亜同文書院やその運営団体東亜同文会と深く関わっていたことから<sup>17</sup>東亜同文書院の前身校として位置づけられており<sup>18</sup>、その活動は後世に受け継がれていったと捉えることもできる。

このような日清貿易研究所であるが、実のところその資料は多くない。東亜同文書院の学校史である『沿革史』に比較的詳しい紹介があるのみである。これ以外では研究所の幹部であった宗方小太郎<sup>19</sup>や学生であった白岩龍平などの研究所関係者についての資料や研究の中で触れられているだけである。

このように必ずしもその実像を捉えきれているとはいえない日清貿易研究所を考える時、高橋正二が在学期間中の事柄を記した『在清見聞録』、『日誌第二』はきわめて重要な資料といえるだろう。さらにこの記録は一学校の記録という以上の意味を具えていると考える。前掲『沿革史』を編んだ松岡恭一と山口昇が「前東亜同文書院教授高

橋正二先生ハ豊富ナル材料ヲ日本ヨリ送付セラレタル」<sup>20</sup>と記していることから想像するに、高橋は記録することに貪欲であったようである。本資料も日清貿易研究所が刊行した中国の商習慣を中心に地誌的ともいえる広範な内容の『清国通商綜覧』<sup>21</sup>を思わせるような詳細な記録であり、当時の中国について、そして日本の若者が上海でどのような生活を送り、なにを感じまた考えていたのか、といったことを伝えるものとしてきわめて貴重なものである。

さて、筆者が本資料について知ったのは、近代日本史料研究会主催の有馬学の講演記録の次に引く部分からである。

久留米市に文化収蔵館というのがあります。ここは文書としては鶴久文書と黒岩文書という、これはどちらもコレクターが持っていた史料なんです、並外れたコレクターで、地域関係の非常にいい史料を膨大に集めています。この辺では有名なコレクターです。鶴久さんという人には僕も生前ちょっと会ったことがあります。これは彼のコレクションの全部でなく一部なんです、かなりの部分を何

<sup>15</sup> 向野堅一（1868～1931）。現在の福岡県直方市に生まれる。県立尋常中学修猷館（現修猷館高等学校）を経て日清貿易研究所に入学。日清戦争では通訳官となり諜報活動にも従事した。講和後は台湾総督府勤務を経て奉天（現瀋陽）で茂林洋行や正隆銀行を設立するなど実業家として活躍した。参考文献として、斎藤太郎「『骨肉』：大正期家庭教育をうかがわせる手づくり雑誌」（『桜花学園大学人文学部紀要』第11号、2009年3月）、同「1917（大正7）年向野兄弟の朝鮮・満州旅行：『骨肉』・大正期家庭教育をうかがわせる手づくり雑誌（2）」（『桜花学園大学人文学部紀要』第12号、2010年9月）をあげる。

<sup>16</sup> 鳥居素川（1867～1928）。熊本に生まれる。済々黉、独逸協会専門学校、日清貿易研究所に学ぶ。大阪朝日新聞編集局長として活躍した。

<sup>17</sup> 日清貿易研究所所長代理根津一は東亜同文会幹事長・東亜同文書院院長、同研究所評議員・舎監宗方小太郎（『沿革史』上編14頁）は同会漢口支部主任・同院監督（『沿革史』下編96頁）、同研究所教員御幡雅文は同院講師、同研究所学生である青木喬や高橋正二は同院教授、同じく学生であった白岩龍平は同会幹部（後に理事長）となっている。

<sup>18</sup> 東亜同文書院の学校史である『沿革史』、『東亜同文書院大学史』（渥友会、1955年）、大学史編纂委員会編『東亜同文書院大学史』（渥友会、1982年）はすべて日清貿易研究所に紙幅を割き前身校として位置づけている。

<sup>19</sup> 宗方小太郎（1864～1923）。熊本に生まれる。済々黉、東洋学館に学ぶ。荒尾精と共に中国国内での情報収集活動や日清貿易研究所運営を行い、後に東亜同文会設立にも参加した。1914年東方通信社を設立している。参考文献として、国立国会図書館憲政資料「宗方小太郎関係文書」、谷正男編『宗方小太郎文書』（明治百年史叢書、原書房、1975）、同『宗方小太郎文書 続』（同、1977）、馮正宝『評伝宗方小太郎』（亜季書房、1977）がある。また、日清貿易研究所時代を知る資料としては、上海歴史研究所所蔵資料を紹介した大里浩秋「上海歴史研究所所蔵宗方小太郎資料について」（『人文学研究所報』No.37、神奈川大学人文学研究所、2004年4月）、「宗方小太郎日記、明治22～25年」（同No.39、2006年3月）、「宗方小太郎日記、明治26～29年」（同No.41、2008年3月）がある。

<sup>20</sup> 『沿革史編纂二就テ』『沿革史』4頁。

<sup>21</sup> 『清国通商綜覧』全2編（全3冊）、上海：日清貿易研究所、1892年。

とか久留米で引き取ったということです。鶴久文書の中には、日清貿易研究所関係の当時行っていた初期の生徒の日記だとか見聞録だとか、そういうものがありました。<sup>22</sup>

これが高橋正二による記録のことで、そのマイクロフィルム版が福岡市博物館に鶴久資料の一部として収蔵されている。

この資料は次の四つの部分から構成されている。

『在清見聞録』全5巻5冊

1890年から1893年までの高橋正二による諸記録。

『日誌第二』全1冊

1891年9月9日から1892年12月31日までの高橋正二の日誌。

『書簡』全三通

猪田正吉（高橋正二の日清貿易研究所の同窓生）から権藤千之助への書簡。

『雑書綴』全1綴り

1895年～1898年の台湾で軍務についていた期間の高橋正二による記録。

福岡市博物館の記録に拠れば原本は『在清見聞録』と『日誌第二 明治廿四年九月起』が1冊24.6×16.6cm、『書簡』が封書一通18.7×7.6cm、『雑書綴 明治二十八年起』が25.1×17.2cmの大きさである。これらはすべて毛筆によって書かれており、高橋のものは漢字と片仮名、猪田のものは漢字と平仮名を用いている。『雑書綴』以外は日清貿易研究所時代の記録であるが、『在清見聞録』には数行先を誤写し書き改めている個所があることから在学当時の手稿を元に後に筆写したものだと思われる。

日誌については『日誌第二』のみしか現存していないようである。ちなみに「第一」にあたる時期のものは、『日誌第二』の1891年9月30日付に「予ガ昨年渡清セシヨリ以来記セシ所ノ日誌及

ビ通信本件ノ一小冊子何者カ盗ミ去レリ」とあり、もともと存在しない。

これら資料の内、紙幅の制約から本稿では7万字あまりの『在清見聞録』第一、第二のみしか紹介できない。14万字ほどある『在清見聞録』第三、第四、第五及び『日誌第二』は、いずれ機会があれば発表したいが、ここでは収録文章の題目を次にあげてその概要を紹介する。

また、日清貿易研究所とは直接関係しないが、台湾で軍務についていた時代の高橋が記した『雑書綴』は比較的量がある資料であるので、参考までに収録文書の題目を次にあげる。

漢字は新字体、合略仮名「ㄗ」は「コト」に改め、題名がない文章はその文頭或いは小見出しをあげた。□は読解不能字、□…□は同個所、[ ]は筆者補記を指す。

『在清見聞録』収録文書一覧

『在清見聞録』第一

「日清貿易研究所開所式祝詞」

「上海租界ノ成立」

「支那商人及長江運輸の概況」

「支那官制」

「支那貿易の要点附支那商人及家庭教育官吏登用ノ事」

「上海の沿革風俗習慣商事一般附今海及普陀山」

「上海の景況運輸及風俗」

「支那現時ノ状態」

「南清各地ノ概況」

「香港繁盛ノ理由」

「亜片ニ就テ」

「支那商業地理ノ概要及運輸上ノ一般」

「直隸張家口貿易ノ景況」

「支那人反古紙ヲ重シスル事」

「香港ニ於ケル日本雜貨ノ景況」

<sup>22</sup> 科学研究費成果報告書「日本近代史料情報機関設立の具体化に関する研究」（基盤研究（B）（1）、平成11・12年度、代表者伊藤隆、課題番号：11490010）より（<http://kins.jp/html/21arima.htm>）

- 「上海諸般ノ情況」
- 『在清見聞録』第二
- 「匪情一斑」
- 「商業上支那人の有スル重ナル点」
- 「支那ノ通貨」
- 「支那ノ質屋」
- 「会館」
- 「公所」
- 「上海工匠及ビ雇人ノ給料」
- 「上海市場織物丈尺幅員」
- 「上海ニ於ケル銀行」
- 「釐金税」
- 「半税」
- 「支那ノ銀行」
- 「支那銀行ノ起原及現状」
- 「福州領事館莫大小試売ノ景況」
- 「自來水」
- 「鴉片」
- 「支那人ノ衣服」
- 「支那人ノ飲食」
- 「支那人ノ家屋」
- 「支那人ノ性質」
- 「税関」
- 「支那米附塩」
- 「コンプラド帳房」
- 「噸税」
- 「北支那ノ糧穀」
- 『在清見聞録』第三
- 「怡和洋行碼頭料並ニ倉敷料規定」
- 「支那ノ尺度」
- 「支那ノ權衡附海関館ト上海銀」
- 「清国ノ兵勇」
- 「清国度量衡」
- 「支那ノ風俗一般」
- 「支那ノ物産」
- 「支那ノ製造業」
- 「支那ニ於ケル毛皮類」
- 「北支那輸入品及ビ其説明」
- 「北支那人所用枴ノ名称及容量」
- 「天津市上ニ於ケル衡ノ種類」
- 「広東貨物陸揚及ビ船積ノ手續」
- 「福州貨物陸揚手續」
- 「福州市城内外職工賃錢及商業雇人ノ給料」
- 「明治廿四年中支那ニ於ケル重ナル事件」
- 『在清見聞録』第四
- 「北支那貿易事情」
- 「清国産漆」
- 「北支那ニ於ケル木材ノ需要」
- 「湖北省ノ鋳山事業」
- 「昆布ノ産地及支那各地ニ於ケル需要ノ割合」
- 「明治廿四年中上海輸入海産物担数」
- 「支那内地商業ノ運轉」
- 「広州府ノ景況」
- 「支那内地ノ野蛮人」
- 「天津ノ輸入米」
- 「南国需要百貨輸入ノ制限」
- 「明治廿五年上半期長崎ヨリ支那ニ輸出セシ重要品ノ数量」
- 「香港ニ於ケル各国製石鹼ノ景況」
- 「清国ニ於ケル日本銅」
- 「支那金ノ輸出」
- 「雜感一束」
- 「北京銀行附貨幣制度」
- 「放帳局」
- 「天津塩商」
- 「天津ノ当舗」
- 「天津ノ洋行附輸出入重要品」
- 「商事慣例」
- 「支那人種成国ノ關係」
- 「清国ノ歳晚及年始」
- 「千八百九十二年度上海貿易ノ景況」
- 「天津市上主要ナル木材」
- 「上海ニ於ケル人参ノ商況」

『在清見聞録』第五

「武昌織布局」

「上海ニ輸入スベキ綿糸ニ就キ日本ト印度トノ比較」

「自強書院ノ創設」

「芝罘港荳油製造法」

「上海ニテ刻烟草ヲ製造輸入ト内地製造費トノ比較」

「支那南部地方ニ於ケル海産物輸入取引」

「上海市街道路名」

「明治二十五年中ノ支那貿易ニ就テ」

「清国向本部産需要品ノ景況」

「上海ニ於ケル木綿縮絨織ノ商況」

「千八百九十二年支那外国貿易」

「上海ヨリ各港ヘノ汽船運賃ノ差及其高低ノ季節」

「上海ニ於ケル保険ニ就テ」

「上海銀行及其荷為替取組法并ニ普通為替ノ組織」

「上海ニ於ケル大売小売ノ利掛」

「上海ニ於ケル日清両商間ノ商事訴訟」

「盛京省黄海沿岸ノ各港ノ概況」

「在上海日本商店ノ閉鎖并ニ其原因」

「清国各港駐在本邦領事交代年表」

「盛京省金州城ノ沿岸」

「金州半島老鉄山附近ノ砂金附塩田及煤窟」

『雜書綴』収録文書一覧

「第一号 彰化及其附近ニ於ケル土人ノ風俗習慣」明治二十八年十二月<sup>ママ</sup>日

「第二号 台湾、葫蘆墩兩分隊管轄区域生蕃地境ニ於ケル隘勇ニ就イテ報告（隘勇ノ起原及ビ沿革）」明治二十九年四月七日

「第三号 モルモット」九月十六日

「第五号 台中城内及其附近ノ沿革」明治廿九年十二月廿八日（戸川軍医）

「第六号 台湾島ノ我国ヘ割讓前最近ノ台湾府以下ノ各地方長官名左ノ如シ…」

「第七号 台湾島塩業調査書」明治三十年二月十日

「第八号 田地ノ種別 田地ノ等級并ニ税率 大租戸小租戸佃戸ノ關係 租税並ニ徵税法 地券並ニ田地売買賃入等ニ就テ 附記」三十年五月十五日

「第九号 台湾ニ於ケル金融上ノ慣例」

「第十号 台湾ニ於ケル政府ノ歳入」

「許可ナクシテ爆竹ヲ放ツヲ禁ズ」明治二十九年一月<sup>ママ</sup>日（葫蘆墩屯所）

「小銭ノ通用ヲ禁ズ」明治二十九年一月<sup>ママ</sup>日（葫蘆墩屯所）

「日本銀貨ニ刻印シ又其刻印ニタルモノノ通用ヲ禁ズ」（葫蘆墩屯所）

「許可ナクシテ屠牛スルヲ禁ズ」明治二十九年二月<sup>ママ</sup>日（葫蘆墩屯所）

「本部用トシタ借家ノ件」明治二十九年七月廿日（第二区隊本部）

「人夫代雇ノ件」明治二十九年七月<sup>ママ</sup>日（第二区隊本部）

「人民安慰ノ告示」明治二十九年八月<sup>ママ</sup>日 南投御屯所

「汲水時限ノコト」明治二十九年十月四日（台中屯所）

「死屍引渡ノコト」明治廿九年十月十三日（台中屯所）

「後門ノ出入ヲ禁ズ」明治廿九年十月<sup>ママ</sup>日（台中屯所）

「明日係 靖国祭典須用梨園演唱以為□祝…」明治二十九年十一月二日

[台中から各地ヘノ距離表]

[軍階級の英和対照表]

「立合同議拋第九憲兵隊軍吏鈴木龍男茲因將某々名下坐落某県某堡某街（庄）幾番戸住房幾所（地基幾拾幾畝）…」明治卅一年某月某日

「旧清国治下台湾府（台湾彰化苗栗雲林ノ四県及埔里社庁）管内堡名」

「年伏シテ念フニ帝国ノ垂統二千五百有余年  
其国祚ノ悠長ナル誠ニ外国ノ及ブナキ所トス  
…」

「台湾善後四策」

「第六十六号 台湾ノ人民ハ清国福建省泉州  
及ビ漳州ノ二府ヨリ移住セシ者其大部ヲ占ム  
…」 明治三十年十一月八日

「台湾中路ニ於ケル住民ノ種族及ビ性質」

「司法省顧問カーコード氏演説筆記」 明治三  
十一年一月十二日台中県府ニ於テ

「カーコード顧問本當巡視ノ際明治三十一年  
一月十三日彰化東門澎楊吉臣宅ニ於テ當彰化  
紳士吳徳切、周連山、楊吉臣、林朝清、黄文  
波、林英俊等ニ就キ本地ノ民情風土及目下官  
民ノ間ニ於ケル調和ノ如何土民ノ感情等ヲ聴  
取セル事項如左…一營業税徴収ノ件 一道路  
開鑿ノ件 一刑罰ノ件 一民事裁判ニ関スル  
件 一阿片令施行ノ件 一伝染病予防消毒ノ  
件 一公文ヲ漢文ニテ発セラレタシ云々ノ  
件」

「第九憲兵隊台湾土語専修科規則」

「第五分隊 土語研究会規則」

「一、暴風雨一般ノ概況 二、隊内被害ノ個  
所及人馬ノ死傷 三、被害個所ニ対スル応急  
処置 四、暴風雨ニ際シ隊内ニ於テ執行セシ  
人民政策」

「土匪ノ状況」

「管内生蕃ノ状況」

「生蕃人加害表 自明治三十年十月至全三十  
一年八月」

「台湾□…□況」

「土匪処分及善後策」 明治三十一年十二月一  
日稿

高橋正二資料を見取り写しするに際し、福岡市  
博物館によるマイクロフィルム版を用いつつ、次  
の方針で整理した。

1. 段落先頭を一字下げた。
2. 濁点がない表記については適宜これを追加した。
3. 合略仮名「ㄅ」、「ㄆ」をそれぞれ片仮名「コト」、「トモ」に改めた。
4. 漢字は新字体に改めた。
5. 仮名遣いは原文のままにした。
6. 読解不能な文字は□、読解不能な部分は□…□とした。
7. 原文では数値の箇条書きでしかない部分について、見やすさを考え表にまとめなおした。
8. [ ]内は筆者による訂正、註記、補記を指す。
9. 見出しの数字は筆者が附したもので、巻、編、見出しを示す。「1. 2. 3. 4」ならば「第1巻の第2編の第3見出し内の第4見出し」の意である。

読み違い、入力間違いなど多々あると思われるが、ご教示ご指摘いただければ幸いである。

本稿作成に際し、資料の調査、閲覧に関して関係諸機関各位に多大なご協力いただいたことに感謝します。



1 在清見聞録 第一	276	1.6.6.4 保嬰院	284
1.1 日清貿易研究所開所式祝詞	276	1.6.7 (運輸)	284
1.2 上海租界ノ成立	276	1.6.8 (株式)	284
1.3 支那商人及ビ長江運輸ノ概況	277	1.6.9 (銀行)	284
1.4 支那官制附税関	277	1.6.10 (輸出入)	284
1.4.1 内閣	277	1.6.10.1 輸入ノ部	284
1.4.2 軍機所	277	1.6.10.2 輸出ノ部	284
1.4.3 戸部	277	1.6.11 (商業取引ノ事)	284
1.4.4 礼部	277	1.6.12 (今海及普陀山)	285
1.4.5 工部	277	1.7 上海の景況運輸及風俗	285
1.4.6 兵部	278	1.8 支那現時ノ状態	286
1.4.7 吏部	278	1.9 南清各地ノ概況	288
1.4.8 刑部	278	1.9.1 泗涇	288
1.4.9 都察院	278	1.9.2 嘉善県	289
1.4.10 理藩院	278	1.9.3 杭州	289
1.4.11 翰林院	278	1.9.4 富陽県	289
1.4.12 總理各国事務衙門	278	1.9.5 蘭溪県	289
1.4.13 海軍衙門	278	1.9.6 金華府	289
1.4.14 大理寺	278	1.9.7 江山県	289
1.4.15 内務府	279	1.9.8 浦城県	289
1.4.16 総督	279	1.9.9 建寧府	289
1.4.17 巡撫	279	1.9.10 延平府	289
1.4.18 布政使	279	1.9.11 水口	290
1.4.19 按察使	279	1.9.12 福州	290
1.4.20 道	279	1.9.13 馬龍江	290
1.4.21 道台	279	1.9.14 興化	290
1.4.22 府或ハ直隸州	279	1.9.15 泉州	290
1.4.23 知府及ビ知直隸州	279	1.9.16 同安	290
1.4.24 州県	279	1.9.17 漳州	290
1.4.25 知州及知県	279	1.9.18 龍巖	290
1.4.26 [税関]	280	1.9.19 平和県	290
1.5 支那貿易ノ要点附支那商人及家庭教育官吏 登用ノ事	281	1.9.20 広東省饒平県潮州	290
1.6 上海の沿革風俗習慣商事一般附今海及ビ 普陀山	282	1.9.21 汀州	290
1.6.1 (沿革)	282	1.9.22 瑞金県	290
1.6.2 (産物)	282	1.9.23 零都県	291
1.6.3 (衣食住)	282	1.9.24 贛州府	291
1.6.4 (住民ノ性質)	283	1.9.25 万安県	291
1.6.5 (風俗)	283	1.9.26 吉安府	291
1.6.6 (教育及救助)	284	1.9.27 瑞州府	291
1.6.6.1 清節堂	284	1.9.28 奉新県	291
1.6.6.2 牛痘局	284	1.9.29 通山県	291
1.6.6.3 安老院	284	1.9.30 咸寧県	291
		1.10 香港繁盛ノ理由	291
		1.11 鴉片ニ就テ	291



1.12 支那商業地理ノ概要及運輸上ノ一般	293	2.1.17 理由	308
1.12.1 (山脈)	293	2.2 商業上支那人の有スル重ナル点	309
1.12.2 (河川及ビ湖沼)	293	2.3 支那ノ通貨	309
1.12.3 (陸路)	293	2.4 支那ノ質屋	310
1.12.4 (陸運)	293	2.5 会館	310
1.12.4.1 一、車運	294	2.5.1 会館管理ノ事	312
1.12.4.2 二、馬又ハ駱駝ノ運輸	294	2.5.2 会館建物ノ事	312
1.12.4.3 三、人肩ノ運輸	294	2.5.3 収入ノ事	312
1.12.5 (水運)	294	2.5.4 会館規則ノ事	313
1.12.5.1 一、内河運漕	294	2.5.5 信用売買ノ事	313
1.12.5.2 二、外河運漕	294	2.5.6 倉敷料ノ事	313
1.13 直隸張家口貿易ノ景況	295	2.5.7 度量権衡ノ事	314
1.14 支那人反古紙ヲ重シスル事	296	2.5.8 風袋ノ事	314
1.15 香港ニ於ケル日本雜貨ノ景況	297	2.5.9 盜難及ビ火災ノ事	314
1.16 上海諸般ノ情況	298	2.5.10 新年ノ閉館及ビ開館ノ事	314
1.16.1 (上海港ノ景況)	298	2.5.11 警察ノ事	314
1.16.2 (居留地内ノ支那人)	299	2.5.12 空売買ノ事	314
1.16.3 (居留日本人)	299	2.5.13 慈善ノ事	314
1.16.4 (某紳商ノ日清貿易談)	300	2.6 公所	314
1.16.5 (上海京城)	300	2.6.1 第一勤勞時間及休日ノ事	315
1.16.6 (居留地ノ制度)	301	2.6.2 見習徒弟ノ事	316
1.16.7 (徐家匯天主堂及ビ仏蘭西学校)	301	2.6.3 罰則ノ事	316
1.16.8 (纏足ノ風)	302	2.7 上海工匠及ビ雇人ノ給料	316
1.16.9 (頭片)	302	2.8 上海市場織物丈尺幅員	316
1.16.10 (教育法)	303	2.9 上海ニ於ケル銀行	317
1.16.11 (農工商子弟ノ教育)	304	2.10 釐金税	317
2 在清見聞録 第二	304	2.11 半税	318
2.1 匪情一斑	304	2.12 支那ノ銀行	319
2.1.1 哥老会ノ起原目ノ人員所在及其組織	304	2.13 支那銀行ノ起原及現状	320
2.1.2 揚州府 (五月二日)	305	2.13.1 現金証券ノ手数料	321
2.1.3 蕪湖 (五月二日)	305	2.13.2 利息ノ事	321
2.1.4 和州 (五月十五日)	305	2.14 福州領事館莫大小試売ノ景況	321
2.1.5 安慶府 (五月十六日)	305	2.15 自來水	321
2.1.6 寧国府 (五月十八日)	305	2.16 鴉片	322
2.1.7 広徳州 (五月廿三日)	305	2.17 支那人ノ衣服	322
2.1.8 江寧府 (五月二十五日)	305	2.18 支那人ノ飲食	322
2.1.9 丹陽県 (六月二日)	306	2.19 支那人ノ家屋	323
2.1.10 武穴鎮 (六月六日)	306	2.20 支那人ノ性質	323
2.1.11 九江府 (六月七日)	306	2.21 税関	324
2.1.12 無錫県 (六月八日)	306	2.22 支那米附塩	324
2.1.13 蘇州府 (六月九日)	306	2.23 賬房 <sup>コンブクド</sup>	326
2.1.14 吳城鎮及ビ大姑塘 (六月十四日悪報)	307	2.24 噸税	327
2.1.15 宜昌府 (六月十七日悪報)	307	2.25 北支那ノ粗穀	327
2.1.16 判断	308		



## 1 在清見聞録 第一

### 1.1 日清貿易研究所開所式祝詞

我国貿易ノ道開ケテキテ四十年外船ノ来テ我港ニ出入スルモノ年ニ其多キヲ加フ有無相通ズルノ道益盛ナルニ至ルヤ応サニ遠キニ非ル可シ然レドモ各国対峙羸輸相制スルノ秋ニ際シ世界ノ經濟ヲシテ重キヲ我国ノ一挙一動ニ措カシメ商業ノ全権ヲ収メテ我掌中ニ帰セント欲セバ必ズヤ東洋ヲ凌駕シ欧米ヲ睥睨シ嚴然トシテ商權ヲ洋ノ東西ニ振フノ素ヲ養ハザル可カラズ我国ノ志士苟モ国家經濟ノ前途ヲ慮ルモノ亦皆此ニ見ル処ナキニアラズ然レドモ我国維新以来日尚淺ク癩瘼未ダ癒ヘザルニ国家ノ多事ナルニ遭遇シ士民殆ンド奔命ニ疲憊シ空シク此志ヲ果サルモノ幾許ゾヤ其極実業ノ方針鞏固ナラズ遂ニ姑息一時ヲ苟僭スルノ弊習ヲ醸成スルニ至レリ

余久シク清国ニ遊ビ大ニ感ズル所アリ曰ク此勢ヲ振ハント欲セバ須ク先ヅ其本ヲ治メザル可カラズ本トハ何ゾヤ外ハ貿易ノ大勢ニ通曉シテ羸輸ヲ未然ニ決スルノ素ヲ養ヒ内ハ国産ノ不振ヲ作興シテ実業ノ方針ヲ鞏固ナラシムルノ道ヲ開ク是ナリ此本治ラザレバ此姑息遂ニ矯ム可カラズ此姑息矯ム可カラザレバ豈ニ能ク外賈ヲ掣肘シテ商權ヲ振フヲ得ンヤ此ニ於テカ不敏ヲ顧ミズ遂ニ貿易研究所ノ設立ヲ企ツルニ至レリ此拳幸ニ世ノ容ル、所トナリ有志諸士ノ贊助ト所員諸氏ノ黽勉トニ因リ遂ニ期年ナラズシテ起業ノ功ヲ成スコトヲ得タリ余諸氏ト共ニ父母ノ国ヲ去リテヨリ既ニ二旬内外準備略ホ整ヒ茲ニ明治廿三年九月二十日ヲ以テ開所式ヲ挙グルニ至レリ此拳ニ際シ余ハ豫メ諸君ニ請ハザルヲ得ザルモノナアリ夫レ清国ハ郷土ヲ離ルコト遠カラズ僅カニ一葦水ノ間ノミ然レドモ今諸君父兄ノ心情ヲ沉思スル時ハ割ク可カラザル悲哀ヲ忍ビ奮然トシテ諸君ノ海外ニ遊バシムル所以ノモノハ是レ必ズ大ニ此ヨリ忍ビザルモノアルニアラザルヲ得ンヤ今日吾国商業ノ状勢ヲ見ル時ハ猶彼ノ槽檻ノ間ニ苦メラル、疲馬ノ觀ナキニアラ

ズ汲々トシテ尚ホ食ニ飽カズ常ニ命ヲ外商ニ受クルノ辱ニ遇フ諸君ニ許スニ此行ヲ以テスル所以ノモノハ彼ヲ以テ是ニ易ヘ難ケレバナリ今ヨリシテ後諸君負フノ所ノ任豈重カラズヤ若シ他日其任ニ堪ユルノ材ヲナサズンバ何ノ面目カ父母ノ国ニ帰ルヲ得ン請フ能ク父兄ノ意ヲ体シ寤寢必ズ之レヲ忘ル、コト勿レ既ニ設立ノ趣旨ヲ陳フ亦諸君ノ注意ヲ乞ヘリ希クバ諸君旃ヲ勉メヨ我国經濟ノ現況ハ朽索ノ千鈎ヲ引クニ似タリ今此頽勢ヲ挽回シ富強ノ基ヲ開カントセバ必ズヤ商權ノ恢復ヨリ急ナルハナシ商權ノ恢復ハ彼我貿易ノ大勢ニ通ズルト実業ノ振作トヨリ急ナルハナシ而シテ此責ヲ負フ者ハ諸君ニアラズシテ誰ゾヤ諸君今ヨリ後其業ニ勉メ他日業成ルノ後各其長ズル所ニ從テ既成ノ材ヲ奪ハ、欧米ヲ叱咤シ東洋ヲ風靡スルノ素モ此ニ始メテ其萌芽ヲ出シ本所設立ノ業モ亦徒勞ニ属セザルヲ得ン乎今開所式ヲ挙ルニ当リ暫ク諸君ニ望ム所ヲ陳スルコト如此ト云爾

明治廿三年九月二十日

日清貿易研究所所長荒尾精

### 1.2 上海租界ノ成立

西曆千八百四十二年広東都督林則徐（保守主義人）鴉片ノ変乱ヨリ英国ノ艦体揚子江ヲ攻撃シ海軍總宰パークル ソルフガオノ両氏ハ諸砦ヲ破リ進ンデ南京ヲ陥シ南京条約ニヨリテ遂ニ五港ヲ開クニ至リシガ此港モ亦其中ニ在リ蓋シ其開港ハ戦乱ノ翌年ナリ而シテ其当時ハ泥游ノ沼池ニ過キズシテ売買品モ僅ニ鴉片ニ止マレリ此時居留地設立ノ為メ英国領事館トナリシ来リシモノハ船長パーボール氏ニシテ氏ハ吳淞江ヲ以テ居留地ノ北界トシ洋涇浜ヲ以テ南界トシ黄浦江ヲ以テ東界トシ西界ヲ定メズ之ニテ英租界トス其後殆ド十年ヲ経テ長髮賊蜂起シ上海城ヲ奪ヘリ当時仏国ノ軍艦來泊セシガ乱民其国旗ニ向テ発砲セシニヨリ仏人怒テ之レヲ攻撃シ支那ノ為メニ上海城ヲ回復シテ賊ヲ撃退シタルヲ以テ支那政府大ニ之ニテ恩トシ今ノ仏租界ノ地ヲ与ヘタリ即チ洋涇浜ノ南ヨリ県城ノ

附廓ニ沿ツタル部分是レナリ此ヨリ後即チ千八百六十六年ニ至テ吳淞江北部ノ地ヲ借リテ美租界トセリ是レ上海港ノ起原ニシテ爾來幾多ノ困難ト辛苦トヲ経テ遂ニ今日ノ如キ繁盛ヲ為スニ至レリ

明治二十三年九月廿七日

### 1.3 支那商人及ビ長江運輸ノ概況

支那ハ古来ヨリ土農工商ノ四民ニ區別シ頻リニ商業者ヲ賤メシガ其実権ハ已ニ久シク商人ノ占領スル所トナレリ而シテ此国民中尤モ有為ニシテ尤モ貴ブベキハ實ニ此等商人中ニ在リテ他ハ多ク愚ニシテ取ルニ足ラザルナリ恐ラクバ欧米人ト雖ドモ輸贏ヲ商機上ニ争フニ於テ決シテ輕ンズル能ハザル所ナラン見ヨ当上海等ニ於テ欧米ノ商人大厦高樓ヲ構ヘテ取引ヲ營ムト雖モ此等ハ多ク其資本ヲ投ゼルニ止マルモノニシテ商業上ノ治機ニ当リ縦横無尽ニ働クモノハ皆此支那人ニ在リ

支那ノ商業ハ其取引頗ル複雑ニシテ容易ニ之レヲ知ルコト能ハザルガ故ニ商業者ハ幼時ヨリ商家ニ入りテ之レヲ見習ヒ凡ソ三年ヲ経テケノ商人タル資格ヲ与ヘ是レヨリ縦横ノ策ヲ運ラスニヨリ熟達セル商人多ク從テ其商業益盛況ヲ見ルニ至ル殊ニ此国ノ商人ハ頗ル遠征ノ勇氣ニ富メルヲ以テ些少ノ物品ヲ携ヘテ尚数百里ヲ遠シトセザルナリ曾テ代価僅ニ九円乃至十円ノ松手口口荷ヲ以テ千八百清里外ニ行商セルモノアリ

支那ニ於ケル運送ノ盛ナルハ此国商業ノ發達ヲ至セルヲ見ルニ足ルベシ現ニ上海ヨリ上流長江ヲ浜リテ内地ニ入ルニ漢口迄ハ日々数艘ノ汽船（五百噸以上）往来シ支那流ノ帆船ハ悉ク之レヲ算セバ恐クバー英里ニ五十餘艘ヲ数フルヲ得ルナラン漢口ヨリ以内亦之レニ下ラズ其外到ル処帆船ノ江流ヲ蔽フテ走ルヲ認メ實ニ盛況ヲ極ム洞庭湖ノ如キ広漠ナルモ時々雲ノ如ク湖面ヲ蔽フノ帆船ヲ見ルコトアリ

因ニ記ス揚子江ハ其流千二百里餘ニシテ八百里ノ間ハ舟運ヲ通ズト云フ

明治二十三年九月廿七日

### 1.4 支那官制附税関

支那政府施政ノ組織ハ大我国ト其趣ヲ異ニシ建國ノ事情ニヨリ非常ニ本部ノ人ヲ抑制シテ満州ヲシテ勢力ヲ保タシムルノ計策ヲ用ヒタリ然レドモ今日ノ勢ヲ以テ之レヲ見レバ此等ノ計策ハ最早其用ヲナス能ハザルニ似タリ今其官政ノ概略ヲ挙グレバ左ノ如シ

#### 1.4.1 内閣

有名無実ニシテ實際ノ権力ナク只コノ位ヲ守ルノミ此内閣ハ四人ノ大宰相ヨリ成ル（大宰相ハ大学士ト称ス例ヘバ李鴻章ヲ文華大学士ト称スルガ如シ）現今ノ四大宰相ハ李鴻章（本部人）張之瀾（全上）和布（満州人）恩榮（全上）ナリ

#### 1.4.2 軍機所

雍正年間ヨリ始マル衙門ニシテ大学士ヲ以テ軍機大臣ニ任ズ必枢ノ事件ハ總テ此衙門ニテ決議ノ上帝ノ裁決ヲ仰ギ之ヲ布施ス故ニ現今ニテハ此衙門ハ我内閣ニ相当シ頗ル權威アル顯職ナリ此衙門ヲ以テ清国現政府ノ真ノ内閣トナス現今ノ軍機大臣ハ張之瀾和布等ノ五六名ヨリ成ル

日本ノ各省ニ等シキ中央政府ノ政務ヲ司ドル主ナルモノヲ分ツテ六部トス即チ左ノ如シ

#### 1.4.3 戸部

我大蔵省ニ相当シテ全国ノ歳費等ト関スル總テノ財政ヲ司ドル之レニ任ズル現今ノ大臣ハ戸部尚書張之瀾全福錕（満州人）ナリ

#### 1.4.4 礼部

我文部省ニ相当シ文事ニ関スル官吏ノ登用等ヲナシ且ツ諸礼式ニ関スルコトヲ司ドル現今ノ大臣ハ礼部尚書李鴻藻全奎潤（満州人）ナリ

#### 1.4.5 工部

我国ニ於テ嘗テ設ケアリシ工部省ニ相当スルモ

ノニシテ国内土木勸業ヲ司ドル現今ノ大臣ハ工部尚書崑岡（満州人）潘祖蔭（本部人）ナリ

#### 1.4.6 兵部

我国ノ陸軍省ニ相当シテ陸軍ニ関スル一般ノ政務ヲ司ドル最初ニ在リテハ海軍ニ兼子シガ今ハ別ニ属スル所ノ衙門ヨリ現今ノ大臣ハ兵部尚書崇阿（満州人）許庚（本部人）ナリ

#### 1.4.7 吏部

此衙門ハ我国ニナキモノニシテ全国官吏ノ功過ヲ考ヘ之レガ陟黜ヲ司ドル故ニ官吏ニシテ若シ過失アルトキハ之レヲ彈劾シテ少シモ仮ス所ナシ実ニ勢力アルノ職務ナリ現今ノ大臣ハ吏部尚書麟書（満州人）徐桐（本部人）ナリ

#### 1.4.8 刑部

我国法省ニ相当スルモノニシテ全国司法ノ事務ヲナス現今ノ大臣ハ刑部尚書嵩申（満州人）孫毓汶（本部人）ナリ

此六部ノ外ニ三院アリ六部ニ隸属スルニアラズ独立シテ之レト並行セリ即チ左ノ如シ

#### 1.4.9 都察院

諸官吏ノ過失ヲ彈劾スルコトヲ掌ルモノニシテ大学士大臣ト雖ドモ過失アレバ忽チ彈劾セラル現今ノ大臣ハ左都御史熙敬（満州人）祁世長（本部人）ナリ

#### 1.4.10 理藩院

英国ニ於ケル殖民省ニ相当セルモノニシテ支那帝国ノ管内ナル蒙古西藏青海等ノ如キ蕃族ニ関スル政務ヲ掌ル現今ノ大臣ハ理藩院恩榮（満州人）松森（満州人）ナリ

#### 1.4.11 翰林院

学士輩ノ集合スル所ニシテ帝ノ顧問ニ答ヘ或ハ

帝ノ敕ヲ草スル等ノ事ヲ掌リ且ツ帝ノ行状等ヲ筆記スルノ事ヲナシテ真ノ勢力アリ亦此院ニ在リテハ他ニ一得アリ即チ此院ニ嘗テ在リシモノニアラザレバ大宰相タルヲ得ザルノ制アルノ一事是レナリ故ニ此院ノ人ハ大宰相ノ候補者タル資格アル者ノ集合所ナルヲ以テ一般ニ名譽アル院省ナリ此院ニハ別ニ大臣ナシ掌院学士ナルモノ之レヲ總裁ス現今ノ掌院学士麟書（満州人）徐桐（本部人）ナリ

右ノ外總理各国事務衙門ナル独立ノ一衙門アリ其他二三ノ衙門アリ即チ左ノ如シ

#### 1.4.12 總理各国事務衙門

我国ノ外務省ニ相当スルモノニシテ近年ニ至リ外国交通ノ盛ナルニ従ヒ開キタルモノニシテ今ヨリ四十餘年前始メテ設ケタリ外交ノ事ヲ専任シテ六部ト並立スト雖ドモ其権力ハ遠ク六部ヲ駕スガ如キノ実アリ現今此衙門ノ長ハ慶郡王之レニ任ジ外ニ八九名ノ協弁アリテ之レヲ補佐ス其中ニハ李鴻章モ加ハリ居リテ頗ル勢力アリ故ニ李鴻章ノ勢力アルハ内政ニアラズシテ外交ニアリト云フ

#### 1.4.13 海軍衙門

此衙門モ亦独立シタルモノニシテ我海軍省ニ相当ス一兩年前ヨリ創立セスレタルモノニシテ海軍ニ関スル事務ヲ掌ル此衙門ノ創設セラル、以前ニ於テハ支那ノ海軍ハ四大部（北洋、南洋、福建、廣東ノ各水師）共ニ独立シテ統一スル所ナカリシガ此衙門ノ創設アリテヨリ之レヲ統一スルニ至リ海軍事務大ニ進歩セリ而シテ四大部ハ各一ノ提督（我海軍中將ニ相当ス）ニ隸属シ以テ海軍衙門ニ總括セラル現今ノ大臣ハ調査ヲ減ジタレバ之レヲ略ス

#### 1.4.14 大理寺

此衙門ハ我大審院ニ相当シ即チ高等法院ノ事ヲ掌ルモノニシテ大ナル訟獄ヲ断スル所ナリ現今ノ

大理寺卿ハ明桂（満州人）馮尔昌（本部人）ナリ

#### 1.4.15 内務府

此衙門ハ文字上ヨリ考察スルトキハ我内務省ニ相当スル衙門ノ如クナレドモ其突然ラズシテ我宮内省ニ相当シ王家ノ事ヲ掌リ政務ニ関スルコトナシ現今ノ大臣ハ之レヲ略ス

以上列記スルモノハ中央政府ノ重ナル官衙ニシテ地方ノ政治ハ左ノ如ク區別セラレタリ

支那本部ヲ十八省ニ大別ス米國ニ於ケル州ノ如ク独立シ其大ナルモノハ一省ニシテ我國ヨリ大ナルモノアリ十八省ニハ八人ノ総督アリテ之レヲ治ム故ニ一人ノ総督ニシテ二省ヲ管スルモノアリ三省ヲ管スルモノアリ或ハ一省ヲ管スルモノアリ即チ直隸ニ近キ山東、山西河南ノ諸省ノ如キ是レナリ今省ノ諸官ヲ拳グレバ即チ左ノ如シ

#### 1.4.16 総督

其管内ノ文武ヲ総理スル頗ル権力強キモノニシテ（我敕任一等位）省内ノ政務ヲ総轄ス

#### 1.4.17 巡撫

一省ニハ独リノ巡撫アリ巡撫ハ総督ノ次位（我敕任二等位）ニ在リテ省内ノ政務ヲ総ベ総督ニ隸ス

#### 1.4.18 布政使

巡撫ノ下ニ布政使ナルモノアリテ省内財政ニ関スル事ヲ掌ル

#### 1.4.19 按察使

布政使ニ次ギ省内裁判ノ事ヲ掌ル恰モ我國ニ於ケル控訴院ノ如キモノニシテ道ノ裁判ニ於テ決セザル大事ヲ判決スル所ナリ

以上ノ諸官ハ各多クノ属官ヲ率ヒテ諸務ヲ弁ズ而シテ其官衙ハ省ノ首府ニ集マレリ

#### 1.4.20 道

一省ヲ二道或ハ三四五道ニ分ツモノナリ（我國ノ道ニ似タリ）道ニ分巡兵備道ナルモノアリ俗ニ之レヲ道台ト称ス

#### 1.4.21 道台

道長ニシテ其管下ニ在ル府或ハ直隸州等ヲ統ベテ省ノ首府ニ在ル各官衙ニ隸属シ其指令ニ従フ

#### 1.4.22 府或ハ直隸州

道ヲ分ケ府或ハ直隸州トナス一道ニ二三乃至四五ノ府或ハ直隸州アリ

#### 1.4.23 知府及ビ知直隸州

府ニハ長官知府アリ直隸州ニハ其長官知直隸州アリテ各其管内ノ政務ヲ行フ而シテ此府或ハ直隸州ハ我國ノ府県ニ相当スルモノナレドモ其管下稍大ナリ

#### 1.4.24 州県

府或ハ直隸州ハ又数個ノ州県ニ區別セラル此州県ハ殆ド我一行政郡市位ノモノニ相当ス

#### 1.4.25 知州及知県

州県ニハ其長官ナル知州及ビ知県ニテ治メラレ知州知県ハ其管内ヲ統ベテ府或ハ直隸州ニ隸属ス支那地方官ハ州県ノ知ヨリ上総督ニ至ルマデ行政ノ事務ノ外ニ司法ノ事務ヲ兼ス（恰モ我國ニ於テ覇政ノ時ノ如シ）故ニ人民ノ訴訟アレバ大小トナク之レヲ判決ス知州知県ノ下ニハ日本ノ如キ町村吏ナシ故ニ官吏ハ知州知県迄ヲ限リトス

州県ニ在リテハ前管轄内ヲ分ケ五トナシ東ヲ東郷トシ西ヲ西郷トシ南ヲ南郷トシ北ヲ北郷トス而シテ中央ノ地ヲ城廂ト称ス此内ニ県城州城アリ此郷内ヲ分ケ五家ト伍トシ伍十ヲ什トシ什十ヲ甲トシ甲十ヲ保トス而シテ各之レニ長ヲ設ケ人民ノ名望アルモノニ之レヲ命ズ其之レヲ制スルノ法ハ酷ナリト雖ドモ支那人ニハ適當ナルベシ即チ組長ニ



シテ組内ノ悪人ヲ知テ之レヲ官ニ告ゲザルモノハ其悪人ト同罪トナスノ法ナリ故ニ悪人ノ伏匿スル懼ナシ又租税ヲ徴收スルニハ予メ知県ヨリ日ヲ期シテ納期ヲ示シテ之レヲ納メシム期ニ至ルモ之レヲ納メザルモノアルトキハ差役（催促ノ官吏）ヲ遣ハシテ之レヲ督責ス差役ニシテ若シ其期内ニ纏ムル能ハザルトキハ物件ヲ収メテ去ル其残酷ナルコト実ニ言フニ忍ビザルナリ

以上ハ支那治官制ノ法ヲ陳述シタルモノニシテ支那政治ノ大概ヲ窺フニ足ルベシ中央政府ノ重大ナル任ヲ有スル官吏ハ総テ本部人ト滿州人トヲ同等官ニ用ヒ滿州人ノミ用ユルコトアルモ本部人ノミ用ユルコトナシ滿州政府モ亦困難ト云フベシ其一例ヲ挙グレバ近來李鴻章ノ率ユル兵隊ノ練熟スルヲ見テ若シ李鴻章ニシテ一旦反逆ヲ企ツルコトアラバ實ニ恐ルベキコトナリトテ別ニ滿州ノ兵ヲ募リテ頻リニ之レヲ訓練セシ居レリト上大臣ヨリ下地方官ニ至ル迄スクノ如ク猜疑ヲ抱テ任用スルヲ以テ靴ヲ隔テ、痒ヲ搔クノ感ナキ能ハズ或人ノ説ニヨレバ支那政府ハ非常ニ財政ニ困難ナルヲ以テ恐クハ二三十年ノ中ニハ改革名ノ戦争起ルナラン若シ起ラズシテ事済マバ支那帝國ハ確固ニ定マルニ至ルベシト」

官吏ハ皆非常ニ貪婪ニシテ飽クコトヲ知ラズ賄賂ヲ貪リ税金ヲ横取りスルヲ以テ如何ナル小吏ト雖ドモ莫大ノ収入アリト云フ故ニ一般ニ官ヲ得ンコトヲ希フモノ多ク中ニハ金ヲ納メテ官ヲ買フモノサヘアリト是レ權威ヲ弄スルコトヲ喜ブモノニアラズシテ全ク収獲ノ多キヲ目的トセルモノナリト云フ且又彼ノ釐金税ノ如キモ到ル処吏員勝手ニ之レヲ課シ其大部分ハ己レ之レヲ私シ政府ニ納ムルモノハ僅ニ一小部分ナルガ故ニ從テ政府ノ歳入甚ダ少ナシト云フ然レドモ政府ハ今日之レヲ改良シテ別ニ収税ノ法ヲ立ツル等ノ事ニ決シテナスコト能ハザルナリ故ニ其不足ヲ補フガ為メニ益釐金税ヲ課シ到ル処釐金局ヲ置キ其数ノ多キコト實ニ驚クベキモノナリ或ル要路ノ如キハ少距離ノ間ニ

五十餘ノ税関ヲ認メシモアリ故ニ内地ニ入ルノ物価ハ非常ニ其價格ヲ騰貴シテ原価ノ幾倍ニ上ルモアリスクノ支那ノ官吏ハ貪婪ナルヲ以テ支那國ノ革名ハ常ニ官吏ノ腐敗ニ原因スト云フ

#### 1.4.26 [税関]

今又税関ノ事ニ就キ茲ニ附記センニ支那ニハ税関ニ三種アリ一ハ新関ニシテ各開港場ニ在ルモノナリ外国貿易開ケテヨリ設ケタルモノニシテ往來ノ貨物ノ税ヲ課ス所ナリ此税ハ原価ノ五分位ヲ以テ最高額トス二ハ旧関ニシテ各地ノ要処ニ設ケ往來ノ貨物ニ税ヲ課スルノ所ニシテ康熙乾隆ノ際ヨリ設ケタルモノナリ三ハ釐金局トス咸豐ノ頃ニ之レヲ設ケタリ其税ハ原価ノ百分ノ一ヲ最低額ト定ム而シテ此三種ノ税関中最モ支那人民商賈ヲ妨害スルモノハ釐金局ナリ此局ハ湖口県ニ於テ長髮賊猖獗ノ時ニ当リ長江水師創設ノ際曾國藩胡林翼等軍費ノ出ヅル所ナキヲ以テ籌餉ノ為メ長江一帶各地ニ設ケ以テ軍費ヲ籌濟シタルモノニシテ則チ支那釐金局ノ濫觴ナリ其始メヤ其数未ダ多カラズシテ商民ノ害毒ヲナスコト甚ダシカラザリシガ後年ニ至リ各省ノ督撫等省内用口…口不給ヲ口実トシテ相競フテ其管内各地ニ之レヲ設クシテ以テ現今ニ至リテ国内到ル処此局ノ設ケアラザルハナク加之局吏ノ貪欲ナル苛征暴斂至ラザルナリ商民怨嗟ノ声ト共ニ内地ノ商業漸ク衰兆ヲ現ハセリ嗚呼暴ノ極愚ノ至リト云ハザルベケンヤ此税支那式ノ商船ニテ運搬スル貨物ニノミ課シテ汽船ノ貨物ニハ課スルコトナシ故ニ汽船ヨリ運搬シテ一ノ開港場ニ至ルニハ外国條約ニ定メタル税則ニヨリ少額ノ税金ヲ払フノミナレドモ支那式商船ノ貨物ハ一地ヨリ一地ニ運ブニ数個ノ釐金局ヲ經過スルヲ以テ終ニ多額ノ税ヲ払ハザルヲ得ズ甚ダシキハ此税金却テ原価ニ越ルコトアリ然ラバ何故ニ人民ハ支那式商船ヲ以テ貨物ヲ運搬シ多額ノ釐金税ヲ払フヤト云フニ是レ又實ニ己ムヲ得ザルノ事情アリ元來目今ノ支那法律ニテハ汽船ノ裝貨ヲ禁ズルガ故ニ長江ノ如キモ五ヶノ開港場ヲ除ク外ハ其兩岸ニ在

ル数百ノ市邑ヨリ出ス所ノ貨物ハ是非共支那船ノ運搬ニ依頼スルノ外別方法ナケレバナリ内地相互ノ運搬ニ於テハスクノ如キ不便ニシテ且ツ不当ナル釐金税ヲ払ハザルベカラザルモ外国貨物ハ英国条約ニ規定セラレタル子口税ト称スル少額ノ税金ヲタビ開港場ニ於テ払フトキハ支那内地何レノ処ニ運搬スルモ決シテ別ニ釐金税ヲ払フヲ要セザルナリ此子口税ハ英国ノ貨物ニノミ適用スルヲ得ルモノナレドモ目今ニ至リテハ其貨物ハ何国ノ出產タルヲ問ハズ英商ニ依頼シテ其名ヲ借ルトキハ何ノ故障モナク往來シ得ルヲ以テ現ニ英商ニ於テ僅少ノ手数料ヲ取り此等ノ事ヲノミナシ居ルモノ多シト云フ右ノ有様ナルヲ以テ外国ノ輸品ハ愈増加シ内地ノ商工業ハ日ヲ遂フテ衰色ヲ呈スルニ至レリ若シ支那政府ニシテ速ニ此釐金局ヲ廢セスレバ将来ノ憂実ニ測ルベカラザルナリ噫支那政府ハ何ガ故ニ茲ニ至ルモ目ヲ覺サズヤ

明治二十三年十月四日

### 1.5 支那貿易ノ要点附支那商人及家庭教育官吏登用ノ事

支那貿易ノ要ハ決シテ他ニアラズ素ヨリ利害ノ利ヲ望ムベカラズ又偶然ノ利ヲ期スベカラズ只彼ノ人情風俗慣習嗜好ニ投合シ以テ此等ノ事情ヲ利用スルニ在リ是レ實ニ支那貿易ノ勝利ヲ博スベキ秘訣ナリトス

日本人從來支那貿易ニ於テハ何ガ故ニ失敗スルカ他ナシ總テ諸般ノ物価ナルモノハ素々日用生計品ノ価格ヨリ算出セラレタルナリ此故ニ日常生活費ニ至リテハ商業上頗ル重大ノ關係ヲ有スルモノナリ從來我國商人支那ニ貿易ヲ試ムルモノ素ヨリ人情風俗習慣等ヲ熟知スルモノトテハナク眼ヲ一局部ノ一部ニ放チ彼ノ品ハ支那ノ需要ニ応ズト輕々小資本ヲ以テ渡來セルモノ皆是レナリ而シテ之レヨリ愈實地ニ働クニ至ルヤ之レヲ支那人ニ比シテ甚ダ高価ノ生計費ヲ費セリ元來日清兩國全体ノ生活ノ度ヲ比スルトキハ左程兄弟ハナカルベシト雖ドモ此等商人ニ至リテハ自然此奢侈ヲナスノ風ア

リ故ニ其得ル所ノ利（生計費ニ比シテ）少ナク費ス所ハ多キヲ以テ勢失敗ヲ來サズ得ズ是レ遂ニ其成效ヲ見ル能ハザリシ所以ナリ

然ルニ彼ノ西洋人ハ此ノ如ク生活ノ度高ク而シテ尚能ク巨利ヲ博シ得々タルハ何ゾヤ是又理由アリ其ノ生活ノ点ヨリ見ルトキハ實ニ霄壤ノ差ノミナラズト雖ドモ彼等ハ大資本ヲ以テ事ニ當リ支那人種ノ風俗習慣嗜好ヲ察シ眼ヲ全局ニ放チテ利ヲ永遠二期スル是レ其勝利ヲ制スル所以ナリ

此故ニ向後支那貿易ニ從來スルモノハ先ヅ支那人ノ風俗人情慣習嗜好ヲ察シ之ヲ利用シテ以テ運動スル覺悟ナカルベカラズ且ツ眼先ヲ全局ニ放チ一小部分ヲ見テ事ヲ判断スルノ謬ヲ避ケ希望ヲ目前ニ取ラズシテ之レヲ遠大二期シ資本ヲ大ニシテ生活費ヲ節約セザルベカラズ是レ此貿易唯一ノ要事ナリ

支那商人ハ其幼時七八歳ノ頃ヨリ雜役ヲナシテ商家ニ使役セラレ追々時日ヲ経テ稍商業振合ヲ會得スルニ至リ漸ク商事ニ預ルヲ得短キモ三年長キハ五年七年等ニシテ卒業トス是等ハ日本ノ風習ト能ク相似タル所アリ其卒業シテ後所謂番頭ナルモノ之レヲ董事ト称ス董事ハ常ニ若干ノ給料ヲ受クルモノナリ

支那人富豪ノモノハ自ラ店頭ニ出デ、商ヲナスモノ甚ダ少ナシ主人其信用セル所ノ商人タル資格ヲ有スルモノヲ選ビ之ニ資本若干ヲ与ヘ適當ノ商店ヲ開カシム而シテ其主人タルモノハ時々其所有ノ店ヲ巡視スルニ過ギズ此等ノ店ヲ預リシ商者即チ董事ハ必ズ若干（大抵年二三三百円）ノ給金ヲ得其下ニ多クノ番頭ヲ使役ス且ツ右等ノ商者ハ一切家族ヲ其商店ニ置カズ全ク居宅ト商店トヲ異ニシ毎朝何時ヨリ毎夕何時迄商店ヘ出勤スルコトトセリ支那ニ於ケル大商店ハ皆此種ニ在リ而シテ歳末決算ノ時ニ於テハ別ニ純利ノ幾分ヲ以テ賞典トナスハ大抵日本ト異ナラズ但シ中等以下ハ商店ハ勿論此ノ如キモノニアラザルナリ

支那ニ於ケル幼時ノ教育ハ中等以上ニ於テハ正當ナル教育ヲナスト雖ドモ其以下ハ總テ頗ル幼少



ノ時ヨリ錢ヲ与ヘテ樂マシムルノ風アリ元來支那ニハ玩弄品甚ダ少ナク皆金錢ヲ以テ之レニ充ツ此ノ如ク少児ノ時カラ金錢ヲ弄スルヲ以テ大ニ金錢上ニ於ケルノ利欲心ヲ奮興シ此等ノ児童ニシテ已ニ二十歳ニモナレバ最早度量衡ノ使用法ヲ熟知セザルモノ稀ナリ此等ノ風習ハ或ル徳義上ノ点ヨリ論ズルトキハ左程賞美スベキ異ナラザルノミナラズ却テ嫌厭スベキコトナキニアラズト雖ドモ商業者タル位置ヨリシテ見ルトキハ実ニ輕視スベカラザルモノアリ支那人ノ忍耐刻苦能ク其業ニ勉メ金錢ヲ愛シテ費スヲ知ラザルモノ決シテ偶然トアラザルナリ

是ヨリ左ニ官吏登用ノ事ニ付テ述ベシニ凡ソ官吏トナルベキ志アルモノハ幼少ノ時ヨリ大ニ讀書(殊ニ暗誦)ニ心ヲ用ヒ身分アルモノハ其家ニ師ヲ聘シ然ラザルモノハ我国ノ寺子屋ニ類似セル学堂ニ於テ教授セリ大抵十歳位ニナレバ四書五經ノ暗誦ヲナシ得ルナリ此等ヲ童員ト云フ童員ノ其州ノ試験ニ及第セシモノヲ秀才ト云ヒ秀才ニシテ翰林院派遣學士ノ試験ヲ及第セルモノヲ附生又ハ廩生ト云フ廩生ハ若干ノ給ヲ政府ヨリ得ルモノニシテ秀才ノ試験ヲ受ケント欲スル童員ニ對シ保証ヲ与フルノ務アリ而シテ此保証ヲ乞フノ童員ハ必ズ若干ノ幣ヲ廩生ニ納ムル、モノトセリ故ニ廩生ハ生徒ニシテ已ニ收入アルモノナリ此廩生一省ノ試験ヲ受ケテ及第シタルモノヲ舉人ト云フ此各省ノ舉人ヲ尽ク北京政府ノ下ニ招集シ試験ニ及第シタルモノヲ以テ進士トス即チ直ニ政府ノ吏員タルヲ得ベキモノナリ此進士ニシテ行程ノ親試ニ及第スルモノハ奉元狀眼担花等其成績ニ由テ三等ニ區別セリ

明治廿三年十月十一日

## 1.6 上海の沿革風俗習慣商事一般附今海及び普陀山

### 1.6.1 (沿革)

此地(上海)ハ周ノ代ニテハ吳ト云ヒ秦ノ時會稽郡ニ屬シ三国ノ時ニ吳ト云ヒ唐ノ頃ニ河底ト云

フ漢ノ代ニハ楊州ニ屬シ今ハ松江府ニ隸シ上海県ヲ置ク其管轄区域東西六十六清里南北八十四清里ナリ

此地方ハ實ニ近世ニ至リテ新成セシモノト断定スベク土地總テ河流ノ沈殿質ヨリ成ルヲ以テ之レヲ証スルニ足ルベシ又是ヨリ十數英里ノ外ニ鳳凰山アリ數十里ノ平原中ニ此山唯一屹然タリ之レ海島ノ山トナリシモノニテ周圍ノ海水漸次埋リタルモノナルベク此山ノ土石ヲ見テモ悉ク水邊ニ在リシヲ証スルニ足ルノ形跡ヲ備ヘリ且ツ蘇州ノ如キモ古昔ハ海岸ニ近カリシナラン何トナレバ蘇州ニテ吟ゼシ詩ニ潮声夜打千門内ト云フ句アリ今ノ如ク海岸ヨリニ三百清里ヲ隔ツル地ニ在リテハ潮声ヲ聞クノ理ナケレバナリ

此附近ハ古來殆ンド戦亂ニ逢ヒシコトナク長髮賊ノ亂ニモ幸ニ其破壊ヲ受ケザリシ今日此港ノ斯ク繁盛ニシテ東洋ニ有名ナルニ至ラン源因ハ實ニ一ニシテ足ラザルベシト雖ドモ外国人其居留地ヲ定メ施政ヲ簡易ニシ賦稅ヲ廉ニシテ一般ニ住民ノ便利ヲ計リシカバ支那人漸次集リ來リテ遂ニ今日ノ勢ヲ見ルニ至リシナラン目下進歩ノ勢尚亟々トシテ日ノ升ルガ如シ

此地ハ四通八達ノ地ニシテ松江蘇州寧波鎮江南京楊州等ニ通ジ又四川湖北ニ至ルベシ

### 1.6.2 (産物)

此地ニ於ケル植物ハ楊柳烏柏樹山查等ノ類ニ過ギズシテ動物ニハ雀甚ダ多ク烏散ツグミ等アレドモ鳥ハ甚ダ稀ナリ

近傍各府県産物ノ重ナルモノヲ挙ゲクレバ左ノ如シ

蘇州ハ生糸及び其織物ニシテ杭州モ之レニ同ジク浦東ハ綿及び綿布織ニシテ川沙府亦之レニ同ジク鎮江ハ縮ニシテ南京ハ襦子ヲ産ス米ハ何レモ多額ヲ産出セリ

### 1.6.3 (衣食住)

上海ニ於テ衣食住ニ要スル物品ヲ記スレバ左ノ



如シ

**米** 此近傍ニ於テ多額ノ産出アルヲ以テ別ニ他地方ノ供給ヲ要セズ然レドモ安徽浙江辺ヨリ少量ヲ輸入スルコトアリ

**麦** 重ニ北支那ヨリ輸入スルモ麦粉ハ皆米国カリホルニアヨリ来ル

**塩** 重ニ浙江ヨリ来ル又寧波広東ヨリモ来ル元来清国ニテハ外国ヨリ塩ノ輸入ヲ禁ゼリ国内ニテ製スルモノハ福建浙江山東満州ノ海岸及ビ四川ナリ四川ニテハ井戸水ヨリ之レヲ製ス

**煙草** 福建広東ヨリ来ル

**茶** モ亦右ニ全ジ

**豆油** 満州牛莊地方ヨリ来ル

**砂糖** 台湾及ビ福建ヨリ輸入ス

**材木** 丸木ハ福建板ハ日本大木材ハ米国カリホルニア棺用ノ良材ハ安南暹羅辺ヨリ輸入ス

**陶器類** 福州景德鎮宜興等ノモノナリ

**衣服** ハ此地方産綿糸布ノ地ナルヲ以テ之レヲ用ヒテ製スルモ下等社会ニ於テハ重ニ英米ノ金巾ヲ用ユ而シテ夏広東湖北広西等ノ麻布ヲ用ユ

**家屋** ハ内地ノモノトハ大ニ其趣ヲ異ニシ其建築及ビ外形共清洋折中ノ如キモノ多シ内地ノ家屋ハ天井ナキモ此地ノモノハ皆之アリ内地ハ貝殻ヲ以テ窓ヲ張ルモ此地ハ多ク玻璃ヲ用ユ此地方ハ火山ナク随テ地震ナシ又福建辺ハ風強キヲ以テ瓦ノ葺キ様モ皆漆喰ヲ用ヒテ日本風ト略其趣ヲ同フスルモ此地ハ大風ナキヲ以テ瓦葺キノ模様モ頗ル粗造ナリ壁ノ如キ内地ノ或ル部分ハ粗末ナル塗壁ヲ用ユルモ多クハ磚石（土ヲ固メテ天日ニ乾ハシタルモノ）ヲ以テ積ミ二重ノ壁ヲナシ中空ヲ有スルモノヲ築キ稍改良シタルモノハ粘土ニ石灰砂粒ヲ混シテ両板ノ間ニ埋メ堅メタルモノアリ

#### 1.6.4 (住民ノ性質)

此地方ノ住民ハ甚ダ文弱ニシテ欲心深シ蓋シ其原因ナリシバアラズ即チ左ノ如シ

第一、此地方ハ古来ヨリ文学盛ナル処ニシテ累代ノ積習遂ニ此蘇州杭州辺ヨリシテ文弱ノ傾ヲ

生ゼシムルニ至レリ

第二、岐山奔流ノ間ヲ跋涉シテ壮偉ノ氣中ニ生活スルモノハ其氣象自カラ活潑ニシテ躯体亦強健ナルベキモ此地ノ如ク一望渺漠タル低下ノ野中ニ在リ湿気多クシテ空氣亦多量ノ水分ヲ含有スル土地ニ住スルモノハ自然ノ育成ニヨリテ遂ニ柔弱ニ陥ラザルヲ得ズ

第三、土地肥沃ニシテ産物豊饒ナリ随テ人民勤勉奮勵ノ氣ニ乏シク遂ニ柔軟ナル性質ニ墮落スルモノナリ」

一般ノ支那人民ハ総ジテ国家的ノ思想ニ乏シク殆ド無頓着ナリ殊ニ上海地方ノ人民ニ至テハ尚一層ノ甚ダシキモノアリ

#### 1.6.5 (風俗)

冠婚葬祭ヲ重ンジ妻ヲ迎ザルニ聘礼銀数百元ヲ要シ親ヲ葬ムルニ亦数百元ノ棺代ヲ要ス古来ノ風俗トシテ可成高価ノ棺ヲ用ヒザレバ大ニ家名ニ關係スト云フ蓋シ此等ノ風俗ハ支那人ノ懶惰ナル性質上ニ於テハ尤モ必要ナル習俗ニシテ之レガ為メニ已ムヲ得ズ苦シンデ少時ヨリ業ヲ励ムニ至ラシム

上海人ノ衣服ハ一般ニ外ヨリ奢侈ヲ極ム靴ノ如キハ主ニ紙製ノ底アルモノヲ用ユ（他地方ニテハ皆布ヲ圧窄シテ外面ニ□□□ヲ塗リタルモノヲ用ユ）亦蘇州杭州辺リニテハ婦女ハ赤キ袴ナドヲ穿ケタルモノ多シト雖ドモ上海ハ一歩進ンデ高尚華美ナルモノヲ用ユ其足飾リノ如キモ上海調ト称シテ上海婦人ノ名ハ国内ニ嗜々タリ

食物モ上海ハ内地ニ比シテ甚ダ善ク一般ニ奢レリ其食品等モ南洋日本等ノ産ヲ用ユ米國産ヲ需用スルモノ亦少カラズ

貧富ノ差ハ上下殊ニ甚ダシク上等社会ニ於テハ前述ノ如シト雖ドモ下等ナル職工ノ如キニ至テハ一ヶ月ノ給料自ラ衣食シテ一円五十錢乃至二元位ノモノ多シ又城ノ南門ノ如キハ乞食非常ニ多キヲ見ル



### 1.6.6 (教育及救助)

上海県ニハ県校アリテ官吏ノ養成所タリ其外家塾ノ有名ナルモノハ西清書院(清洋学ヲ折衷シタルモノ)中西書院(上者ニ類ス)ニシテ又米国新教ノ学校及ビ女学校アリ

徐家匯ニモ学校アリ此校ニハ女子ヲ実業ニ導ク仕組ミモ備ハリ染物、画、天文(天文台ハ支那國中唯一ナリ)等ノ科ヲ設ケテ貧シキ子女ヲ教養セリ此内ハ三十歳ニ至ルノ女子モアリ又ワシントンニモ学校アリテ支那ノ女子ヲ教育セリ女子頗ル米國風ノ教育ニ習ヘリ

近来ニ至リテハ支那字新聞ニ漸次婦女教育ニ関スル件ヲ論ズルニ至レリ

#### 1.6.6.1 清節堂

婦女ノ節ヲ完フスルノ学堂ニシテ此内ニ在ル女子ハ工事ヲナシ其賃錢ヲ以テ貧民ヲ救助スルコトアリ

#### 1.6.6.2 牛痘局

貧ニシテ種痘シ能ハザルモノニ接種スルノ所ナリ

#### 1.6.6.3 安老院

老ヒテ養フモノナキ者ヲ養フ所ナリ

#### 1.6.6.4 保嬰院

貧院ノ養育スルモノナキ者ヲ養育スル所ナリ冬時ニ在リテハ仁恤ノ舉多々アリ今一ニノ例ヲ挙ゲレバ県門ノ外ニ於テ貧民ニ粥ヲ与ヘ或ハ綿入レノ衣服ヲ施与スル等ノ如シ

### 1.6.7 (運輸)

上海ヨリ上流ニ向フノ船ハ毎日五百噸以上ノモノ凡ソ十二艘宛来往セリ此船ハ重ニ乗客ヲ取扱フモノニシテ一艘二百人位ヲ載ス又寧波福州ニ往來スルモノモ亦多シ又当港ニ輻湊スル小船ハ常ニ五千艘ヲ下ラズ

### 1.6.8 (株式)

電灯瓦斯会社等皆株式ノ売買アリ

### 1.6.9 (銀行)

其主ナルモノハ匯豐銀行ニシテ資本金ハ五百万円位ナレドモ運轉甚ダ宜シクシテ且ツ頗ル信用多シ利息モ年七朱(七朱ハ此地ニテ最多額ナリト云フ)ニ至ルコトアリ有利銀行其次二位ス

### 1.6.10 (輸出入)

当港ニ於ケル重ナル輸出入品左ノ如シ

#### 1.6.10.1 輸入ノ部

金巾(英米ヨリ)砂糖(台湾福建廣東ヨリ)鉄(日本ヨリスルモアリ)石炭(日本ヨリ)海産物(昆布、鰻、鱧、海參等日本ヨリ)

#### 1.6.10.2 輸出ノ部

茶(諸外国へ)生糸(米國へ)綿(日本及英國へ)織物(日本及ビ諸外国へ)

### 1.6.11 (商業取引ノ事)

外国人ハ自身ニ商業ヲナスモノナク唯多額ノ資本ヲ以テ皆「コンプラド」ト称スル支那人ト外国人間ノ商売世話人ニ依テ商ヲナスナリ

「コンプラド」ハ商人タルノ資格ヲ備ヘタルモノニシテ外人ニシテ商ヲナサント欲スルモノハ之レト何万円迄ノ為替ヲナシ諸雜費ノ払方ヲ負担スベキコトヲ約シ且ツ証人ノ保証ヲナサシメ商業ヲ始ム而シテ「コンプラド」ハ自身ノ資産ニ応ジテ之レヲ約諾ス一旦之レヲ諾シタルノ後ハ諸方ノ取引為替等總テノ事ヲ以テ「コンプラド」ニナシムルナリ故ニ「コンプラド」ハ其ノ約諾シタルニ必要ナル丈ケノ備ヲナシ主人ノ命ニ從ツテ貨物ヲ売り込ミ或ハ買入ヲナシ其仕払ハ總テ自身ニ之レヲナシ置キ月末ニ至リテ之レヲ決算シ給料ヲ得ルナリ若シ「コンプラド」ノ働ニ由テ若干ノ過利金ヲ得タルトキハ賞金ヲ与フルコトアリ今日此地ニ

於ル外商ハ総テ此等ニ依テ事ヲナシ一人モ自カラ  
商ヲナスモノナシ

田舎向キノ貨物取扱ハ主ニ大東門外十六舗ノ北  
ニ在リテ之レヲナス

### 1.6.12 (今海及普陀山)

上海ノ東南二百清里許ニシテ金山県アリ其中ニ  
今海ト云フ所アリ是レ安部仲麻呂ガ「天のはらふ  
りさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」  
ト詠ジタル所ナリ又今海ノ東南ノ海中ニ普陀山ト  
称スル島アリ此島ニハ南海観音トテ非常ニ有名ナル  
観音ノ堂宇アリ支那ノ僧ハ大ニ之レヲ信仰シ必  
ズ一面ニ参詣スト云フ唐ノ代ニ我国ノ僧某唐ニ遊  
学シ其帰途此像ヲ携ヘ帰ラントセシガ此地ニ来リ  
重クシテ運ブコトヲ得ズ由テ仏意ニ我国ニ来ルヲ  
好マザルモノトシ此島ニ安置セリト故ニ此観世音  
ハ我邦人ノ建立ニ係レリ

明治廿三年十月十八日

## 1.7 上海の景況運輸及風俗

上海ハ古ノ呉ノ地ニシテ江蘇省松江府ニ隸シ開  
港以来内外商ノ来リ雲集スル所トナリ四方運輸ノ  
枢区トナレリ其商業日ニ月ニ盛大ニ赴キ申江（嘗  
テ春申君此地ヲ治メシコトアリ由テ黄浦江ヲ春申  
江ト云ヒ又単ニ申江ト称ス）中ニハ内外汽船ノ碇  
泊スルモノ常ニ七八十艘ニ下ラズ又支那式ノ海船  
江船ハ大小数千艘輻湊シテ帆檣林立為メニ対岸ヲ  
見ル能ハザルニ至ル市街ハ大路縦横ニ通シ三四層  
樓櫺比連接セリ又五方雜処街上ニハ殆ンド人種ノ  
博覧会場ノ如ク人ノ山ヲナシ其繁華熱鬧ノ有様ハ  
未ダ曾テ我国ニ於テ見ザル所ナリ上海市街ハ申江  
ニ沿ヒ地勢平衍ニシテ四方山ヲ見ズ全市街ヲ大別  
シテ南市北市トス南市ハ総テ支那人ノ市街ニシテ  
県城モ亦其中ニ在リ北市ハ外国人ノ居留地ニシテ  
小別シテ英仏米ノ三租界トナス租界トハ猶居留地  
ト□…□ガ如シ租界中ハ凡テ大路広衢縦横ニ相交  
リ車馬裊々街声濤ノ如シ夜ニ入レバ電気瓦斯ノ二  
燈ハ煌々トシテ市街ノ全体ヲ照シ殆ンド白昼ノ如

ク就中其最モ繁華熱鬧ナルヲ英租界トナス南北二  
市合セテ人口五十餘万租界ニハ外国人ヨリ成立セ  
ル工部局巡捕局及ビ裁判所監獄等アリ以テ租界中  
ノ土木警察才判監獄等ノ事務ヲ管理セリ

各租界ニ清国政府ヨリ置キタル大府アレドモ実  
際有名無実ニシテ少シモ権力ナク唯会審員ノ名ヲ  
以テ租界ノ才判所ニ陪席スルコトヲ得ルノミ故ニ  
三租界ニ住セン数十万ノ支那人ハ自国ノ地ニ在リ  
テ少数ノ外国人ノ為メニ制セラレ政刑共ニ全ク其  
掌握スル所トナリ何事ニモ是等極メテ残酷ナル外  
国人ノ処分ニ服従セザルヲ得ザルニ至レリ

城内及租界外ノ地ハ凡テ上海県令ノ支配ニシテ  
暴悪ナル外人モ此部内ニハ敢テ其凶焰ヲ振フコト  
能ハズ蘇松太兵備道ハ城内ニ駐シ蘇州、松江ノ二  
府及ビ大倉（直隸）州等ノ地方ヲ管理ス此地ニ於  
ケル内外ノ事務ハ総テ此官ノ司ドル所トス又地方  
ノ防守ニハ参將ヲ置キ勇兵二千餘人ヲ総統ス其營  
所ハ城南ニ在リ又軍器及ビ兵艦ノ製造所ハ城南營  
所ノ辺ニ在リテ申江ニ瀕セリ其結構頗ル宏大ナリ  
此レヲ機器局ト称シ兩江総督ノ監督ニ属シ総弁一  
人ヲ置キ其事務ヲ管理ス

運輸ハ水路四方ニ通ジ船舶ノ往来間断アルコト  
ナシ又近隣各郷村ニハ小車ト称スル一輪ノ荷車ア  
リ其法一人ニシテ車後ヨリ之レヲ推シテ進行ス大  
約一日間二三十貫目ノ物料ヲ七八十清里ノ地ニ運  
搬スル事ヲ得ルナリ兩輪ノ大車ハ道路狹隘ナルガ  
故ニ之レヲ使用スルコト能ハズ牛馬ハ甚ダ少ナク  
シテ専ラ農事或ハ騎乗ニ用ユルノミニシテ運輸ニ  
用ユルコト稀ナリ又旅行ニハ水路小舟アリ陸路輻  
及ビ小車アリ人力車ハ東洋車ト称シ唯市中ノ往来  
ニ用ユルノミ

風俗ハ頗ル奢侈ニシテ文学甚ダ盛ナリ下等ノ人  
民ハ大ニ廉恥心ニ乏シク殆ド乞丐ニ等シキ輩多シ  
而シテ上等社会ニ至テハ文雅ニシテ且信実アリト  
云フベシ男子ハ読居ヲ以テ最モ貴重ナルモノトシ  
次ハ商ニシテ次ハ農工ナリ古ハ士農工商ト称シ農  
ハ第二ニ位センガ近世ニ至リテハ農民ハ頗ル憫ム  
ベキ境遇ニ陥レリ女子ハ其脚ノ小ナルヲ尚トビ治



容誨誦ト称シ紅粉ヲ粧ヒ美服ヲ飾ルヲ賤シム良家ノ婦女ハ庭訓最モ嚴ニシテ外見ヲ忌ミ外出スルコト甚ダ稀ナリ若シ外出ヲ要スルトキハ必ズ轎ニ乗ル男女ノ別最モ甚ダシク至親ニアラザレバ互ニ言談ヲ交ユルコトナシ婦女ハ凡テ私通ヲ以テ無上ノ耻辱トナシ若シ或ハ私通スルコトアレバ其有夫ト処女トニ論ナク大ニ家門ノ耻辱ナリトシ兄弟姉姪ト雖ドモ殆ンド之レト齒スルヲ辱ヂ痛ク罵詈誶ヲ加ヘ或ハ之レニ逼リテ自殺セシムルコトアリ再嫁ハ上等社会ニモ往々行ハル、ヲ見ル然レドモ不見ニ夫ノ女訓ニ悖ルヲ以テ世人ハ猶之レヲ指彈ス下等無智ノ婦女子ニ至リテハ固ヨリ廉恥ヲ知ラザルノ蠢物ナレバ朝秦暮楚ノ乱行暴為ノ徒モ少ナカラズ夫婦ノ關係ハ一夫ニシテ数婦ヲ娶ルノ風習ナレドモ婦女嫉妬ノ風頗ル薄ク随テ夫婦ノ情安ハ非常ニ親密ナルモノアリ離婚誑奔等ノ陋習ハ甚ダ稀ナリ又婦女子ニシテ其節操貞烈ナリシテハ地方官ヨリ逐一之レヲ皇帝ニ奏聞シテ貞烈坊或ハ節孝坊ト称シ地方到ル処甚ダ多シ

### 1.8 支那現時ノ状態

我日本国人并ニ外国人ガ久シク見テ以テ腐敗セリ臭氣ヲ以テ天下ヲ覆ヘリトナス所ノ清國ハ今日ニ至リ大ニ其面目ヲ改メ外侮ヲ防グニ足ルノ兵備ヲナシ兵器軍艦等ヲ整ヘ十分外ニ向ケ為ス所アラントスルノ勢ヲナセリ故ニ現今支那政府ノ外国ニ対シテ為ス所ノ政略往々人ヲシテ其意外ニ驚キ其勢力アルヲ想像セシムルコトアリ然ルニ余数年来此國ニ在リテ能ク内状ヲ察スルニ實ニ腐敗ノ極点ニ達セルコトヲ知ルニ足レリ

清國へ祖先以來相伝ヘテ来レル諸制法モ大ニ乱シ朝紀振ハズ其危キコト恰モ累卵ノ如シ而シテ其外面ニ顯ハル、所ノモノニ此ノ如キ人ヲ驚カスノ政略ヲナシ得ルカト云フニ彼ノ有名ナル有力家ナリシ曾國藩(曾紀沢)ガ將ニ死セントスルニ当リテ天子特ニ敕使ヲ発シテ当今ノ國是ヲ問フ曾國藩即チ「清國ハ長髮賊ノ乱ヲ被リ其他各所ノ乱民ヲ征討スル等ノ事ニヨリ國家ノ財政非常ニ困難ヲ来

セリ此二十餘年間ノ餘弊ヲ救ハント欲スル實ニ容易ノ業ニアラザルナリ今ヤ内ニハ斯ノ如キ憂アリテ外ニハ各國ノ我レノ間ヲ窺フアリ内憂外患并ヒ至リテ實ニ國家危急存亡ノ秋ナリ此時ニ當リ宜シク布政使ヲ信任シテ内治ニ力ヲ致サシメ全國ノ力ヲ拵ゲテ外國ノ侮ヲ防ガザルベカラズ外國ノ侮ヲ防ガント欲セバ軍備ヲ治メザルベカラズ」ト現政府ハ此遺言ヲ信任シテ外國ニ対スル政略ヲナセリ故ニ外國ニ向テ取ル所ノ方策ハ凡テ支那國ノ全力ヲ以テナセル所ニシテ外ニ向テ活潑ニ見事ナル所以ナリ而シテ其腐敗セル実況ヲ拵グンバーニシテ足ラザルナリ

今其腐敗ノ度ヲ知ラント欲セバ政治機關ノ腐敗ヲ見ルヨリ明ナルハナシ凡テ天下ヲ統一スルニハ必ズ一ノ政略ナカルベカラズ其政略ハ治乱存亡ノ由テ来ル本源ナリ而シテ公義多ク私利少ナキヲ以テ良政策トナル秦漢以降ノ政略ハ概シテ霸道ノ姿ニシテ私ヲ謀ルコト多ク國家ノ公義ヲ愛スルモノハ殆ド稀ナリ清國ノ政略如何ヲ觀察スルニ今ノ愛親覺羅氏ハ北方滿州ヨリ起リテ支那全國ヲ併呑セリ支那人ヨリ見ルトキハ滿州ハ外國ナリ外國人支那全國ヲ統一ス其支那人ヲシテ永ク其統御ノ下ニ置カントスルニハ必ズ之レヲ圧スル一ノ勢力ナカルベカラズ猶英國ノ印度ニ於ケルガ如シ此故ニ清朝ガ唯一ノ重キヲ置ク処ノ政略ハ万事滿ヲ以テ漢ヲ制シ人民ヲモ愚ニシテ之レヲ籠絡スル是レナリ今之レヲ清政府ノ組織法ニ依リテ徴スルニ其初メ明ノ制度ニヨリテ官制ヲ定メシモ其実施スルニ至リテハ滿漢併用シテ其權衡ヲ失セザルノミナラズ樞要ノ地位ニハ処トシテ滿人ヲ用ヒザル所ナシ即チ中央政府ニ重複ノ位官者ヲ置クノミナラズ地方ノ政治ニハ各主管スル所ヲ異ニシテ其權衡ヲ保テリ即チ總督ハ兵權ヲ握レドモ財政ノ權ナク巡撫ハ行政ノ權ヲ有スレドモ兵馬ノ權ナキガ如ク又兵糧ハ道台ノ權ニ屬セルガ如シ故ニ一人反意アリテ非望ヲ企ツルト雖モ容易ニ遂ゲ得ベキコトニアラズ然レドモ政務ハ日一日ニ怠慢ニ流レテ匡濟スベカラザルニ至レリ是レヨリ先ニ清朝ハ數千年来幾多ノ

革命ヲ経タル歴代ノ治乱ニ鑑ミ殊ニ明代ノ治ニ習ヒ朝野権勢平均ノ政制ヲ施シテ子孫万世ノ基ヲ開リ祖宗ノ注意尽クセリト云フ可シ然ルニ今日ニ至リテハ政治ノ機関弛緩シ冗員多ク偷安苟且ノ弊風充満シ諸事凝滞ヲ来タシ民力大ニ疲労セリ

支那ハ任官ノ弊亦甚ダシクシテ人材ヲ挙グルハ則チ愚人ヲ挙グルノ姿トナリ居レリ凡ソ官吏トナレバ利ヲ得ルノ易クシテ且ツ大ナルハ世間如何ナル事業モ之レニ及ブモノナシ「三年ノ清知府十万ノ雪花銀」ト云フ諺アルニ至レリ而シテ余其実際ヲ見ルニ清廉ナルモノト雖ドモ三年ニハ大抵三十万ノ金額ヲ有スルニ至ル清廉ノ知府猶然リ況ンヤ卑劣ノ知府ニ於テオヤ然リ而シテ其官吏トナルノ法如何ト云フニ正義ノ訓誥ト八股ノ文法ト其妙ヲ得レバ豆腐屋ノ子弟モ大臣ト為リ得ル仕方ナリ即チ朱子ノ集注ヲ暗誦シテ片言半句差違ナキトキハ及第ス又八股ノ文法トハ唯対句ヲ能クスルヲ以テ第一トシ實際ニハ活用ナシ若シ自身ノ意見ヲ書ニテ対策スルモノハ仮令如何ナル妙案ト雖ドモ零点トナルナリ

斯クノ如ク馬鹿ゲタル試験ヲ経テ知府知県トナルヲ以テ実地ノ事務ニ至テハ一モ為スコト能ハズ照会状ダモ認ムル能ハザルナリ故ニ事務ニ慣レタルノ庶吏ハ長ク一衛ニ在リテ事務ニ練達セルヲ以テ此愚知府ヲ愈々愚ニシ万事ヲ専ラニシ放肆只其意ノ欲スル所ノ儘ナリ「明ノ亡ブルハ安閑ニ在リ清ノ亡ブルハ庶吏ニ在リ」トノ俚言アルニ至レリ

右ノ事タル其弊害少ナカラズト雖ドモ猶之レヲ大ナル弊害アリ官吏ノ官金ヲ私シ賄賂ヲ貪リテ飽クコトヲ知ラザルコト上大臣ヨリ下小吏ニ至ルマデ皆然ラザルハナキ是レナリ上下相欺キ誅求至ラザル所ナリ賄賂アレバ如何ナルコトヲモ行ハレ賄賂ナケンバ不平ノ儘ニテ過ゴスヨリ外ナキナリ今左ニ二三ノ实例ヲ挙ゲテ之レヲ証セン

支那帝国ノ歳入ハ九千餘万兩即チ我一億三千餘万円アリ其内訳ヲ挙グレバ地租ニテ四千万兩塩税ニテ八百万兩釐金税ニテ一千二百万兩新旧兩関税ニテ千八百万兩其他雑税ニテ一千二百万兩トス而

シテ関税一千八百万兩ハ海外派遣ノ公使及ビ留学生ト税関トノ費途ニ充テ其餘剩ハ悉ク海防費ニ投ゼリ然ラバ則チ僅々タル七千万兩ヲ以テ一大帝国ノ政費トナシ中央政府ヨリ地方文武ノ費途ニ充ツルノ割合ナリ然リ而シテ大清会典ト称スル法アリテ租税ノ率ヲ定メタリ是ハ祖宗立ツル所ノ法ニシテ今俄ニ変改シテ増率スルコト能ハズ若シ一朝増税セント欲セバ民怨ノ恐アリ今日國費多端ノ際清廷ノ困難極マレリト云フベシ而シテ官吏ガ政府ト人民トノ中間ニ在リテ官金ヲ私スルノ高ハ現歳入ノ三倍ニ上ルナラン官吏若シ清廉ニシテ愛國ノ精神アラバ歳入増加シ人民敢テ困難ヲ感ゼザルベシト雖ドモ今ハ税源涸レ果テタリ米ヲ以テ上納スルハ二三省ニシテ他ハ大抵金納ナリ而シテ其納税額ハ二円位ナルモ税吏ハ六円位ノ割合ナリト伴リテ徴收ス又尚之レヨリ甚ダシキ困難ヲ人民ニ典フルモノアリ即チ一次ニ租金ヲ整ヘシト欲シ米ヲ売却スルガ為メ其相場頓ニ下落シ一円八十銭位ニテ売払フヲ得レバ最上トスル位ナリ且ツ収納スル金銭ハ大錢（小錢ハ長髮賊等ノ鑄造ニ係ルモノニシテ政府ニ於テハ小錢二枚ヲ以テ大錢トシ通用ス）ニアラザレバ通用セズ故ニ一石ノ租ヲ納ムルモノハ三石以上ノ米ヲ売ラザルヲ得ズ地租ハ其高甚ダ多カラズト雖ドモ其実際ハ甚ダ重歛ナリ故ニ今ニ至リテ之レヲ増加スルコト能ハザルナリ

漢口ハ一百七十二万八千坪ノ大都会ナリ此地ハ昔時蘆荻茂生セシ地ナリシヲ以テ彼ノ大清会典ニ依レバ蘆ノ税トテ二百兩ヲ納ムルノミ今ハ幾億万ノ富ヲ有シタル豪商富家連接シテ其税額モ亦幾百万兩ナルヲ知ラズ然ルニ旧ニ依リテ僅々二百兩ヲ中央政府ニ納メ餘ハ悉ク湖北ノ官吏打寄りテ配当セリ

兵備ハ一營ニ五百人アリテ一將官（我少將位ノ者）之レヲ統率ス而シテ平時ハ三百人位ヲ養成シテ二百人分ノ費用ハ將校等ノ私スル所トナル若シ一朝事アルノ時ニ当リテハ乞食車夫ノ別ナク一時雇ヒ入レテ兵員ヲ揃ヘルナリ

刑罰ノ点ニ至リテモ亦然リ盜ヲ訴フルモ賄賂ナ



ケレバ為メニ探索セズ逮捕スルモ詰問セズ賄賂アレバ始メテ之レヲ吟味ス若シ亦賄賂少ナキトキハ一時ニ究問セズシテ他日再ビ賄賂ヲ入ルヲ待テ之レヲ判決スルニ至ル剩ヘ盗人ノ親族中ヨリ賄賂ヲ贈ルコト多額ナルトキハ盗ハ忽チ無罪放免トナル故ニ人民ハ官ノ才判ヲ乞フコトヲ好マズ有徳ノ進士ニ至リテ之レガ判決ヲ受クルヲ常トセリ又會館トテ三四ノ進士アリテ才判スルノ風習アリ故ニ支那國ニ於テハ已ムヲ得ザルニ出ヅル自然ノ自治体ヲ形造レリ

都察院ノ官吏ニ至ルマデ今ハ腐敗シテ用ユルニ足ラズ現ニ一昨年ノ夏頃ナリシ余ガ漢口ニ在リシトキ湖南ノ巡撫ニ下宝禎ナル者アリ大ニ賄賂ヲ貪ルヲ以テ彈劾セラル依テ朝廷ヨリ御史ヲ遣ハシテ之レヲ取り調べシム御史至ルヤ下ハ之レニ二万兩ヲ贈ル御史曰ク一々承知セリト帰リ奏シテ曰ク彼レハ猶古ノ即墨ノ太夫ノ如シ彼ガ彈劾ヲ受ケシハ陛下ノ左右ニ賄賂ヲ行ハザルニヨレリト朝廷之レニ由リテ下宝禎ヲ賞シテ浙閩（浙江福建）ノ總督トナシ今日尚其職ニ在リ嗚呼今日ノ有様ハ實ニ腐敗ノ極点ニ達シ賈誼ノ所謂火ヲ投ジタル薪上ニ坐シ安然トシテ憂ヘザルモノ、如シト漢ノ當時ヲ評セシハ今日ノ清國ニ適當ナル評論ト云フ可シ今ヤ万年ノ基トシテ頼ミタル祖宗ノ法モ徒法ニ屬シテ憐レムベキノ境遇ニ陥レリ此危急存亡ニ際シテ外人ノ支那ニ對シ如何ナル考ヲ持チ如何ナル方策ヲ運ラシ居ルヤト云フニ魯ハ仏トカヲ合セテ長江以北ノ地ヲ押領セント欲シ英ハ之レヲ知り自カラ東部ヨリ進ンデ一人ノ手ニ入レンコトヲ務メリ而シテ獨ハ却テ支那人ニ結ビ彼ラノ方策ヲ害シ其外面ニハ甚ダ支那ニ親切ニシテ支那ノ為メニ尽スガ如クシテ其實ハ三国ヲシテ共ニ争ハシメ其疲ル、ヲ待チテ己レ之レヲ押領セント欲スルニ在リ然ラバ中原ノ鹿果シテ誰レノ手ニ落ツルナランカ

斯ク内憂外患交々至ルノ聞キニ臨ミテ尚今日其獨立ヲ保チ得ルハ如何ナル故ゾト云フニ廟堂ニ人傑アリテ一時ヲ弥縫スルニ由ルノミ（二十餘年間続キタル彼ノ回賊及ビ髮賊ノ大乱ヲ討平シ英仏連

合軍ニ當リタル人傑猶ホ生存シテ大厦ノ將ニ倒レントスルヲ支ユルニ抛ル）此等ノ人傑ハ剩餘幾許モナカルベケレバ今後ノ拳士ハ愚法ニヨリテ及第シタルモノト少シク英文ヲ解シ得ル位ノモノナリ我國人ノ知レル張佩倫、何如璋輩ノ如キノミ而シテ張氏ノ如キ福州ノ守令官トナリテ衆兵ヲ指揮セシガカールベーカー一発ノ砲声ニ驚キテ忽チ後峯ニ逃ゲ隠レタリ何氏ノ如キ張氏ノ跡ヲ尾シテ亡ゲ其艦体ハ悉ク沈没セラレタリ斯、ル小人輩ノミニテハ此大國ハ到底維持シ能ハザルナリ願テ我日本國ガ外國ニ對スル政略ハ如何ト問フニ一定ノ方針ナク又敢テ為スノ力ナク唯内政ニ就テ狼狽スルノミニシテ他ニ向テ為スノ餘力ナシ現今此アジアニ國スルモノ其數十餘個アリト雖ドモ能ク獨立國タルノ体面ヲ有スルモノハ日本ト清國アルノミ此兩國ノ内ニ於テ支那ハ以上論ズル所ノ如キ有様ニ陥レリ之レヲ救ヒテ東洋ノ平和ヲ維持スルモノハ日本人ノ責任ナリ（下略）

明治廿三年十一月一日荒尾精氏演述ノ要点

## 1.9 南清各地ノ概況

本編ハ山内崑氏ガ支那南方旅行ノ談話中ヨリ抜粹セルモノニシテ其旅行ノ□□ニ依リ各地ノ概況ヲ叙スルモノナリ

### 1.9.1 泗涇

上海ヨリ徐家匯ヲ經テ到ル処ニシテ河川縱横ニ流通シ運輸尤モ便ナリ物産ハ米及ビ錦ニ富メリ又材木屋甚ダ多シ且ツ此地方ハ在材ヲ使用スルコト夥シク橋ノ如キハ大ナル石ヲ以テ之レヲ架ス此等ノ石材ハ總テ會稽山ヨリ出ヅルモノナリ此地ハ元ト非常ニ繁華ヲ極メタル地ナリシガ今見ル影モダニナキ所トナレリ是ヨリ稍以南ニ至ルノ間ニハ「ニレ」及ビ鱸魚多ク又菱多クシテ其味甚ダ美ナリ原野ノ樹木ハ烏桕木ト稱スル一種ナリ此樹ハ秋候ニ至レバ紅葉ス支那人ノ常ニ紅葉ト稱スルハ楓樹ヲ云フニアラズシテ多ク此樹ヲ指シタルモノト知ルベシ人民ハ此樹ノ果実ヲ絞リテ油ヲ採取ス之

レヲ柏油ト云フ

### 1.9.2 嘉善県

松江ヲ距ル我十五里ノ処ニ在リ凡ソ支那ニ在リテハ水路ノ便ナキ所ニ限リ道路アレドモ其便アル処ハ道路絶ヘテナク為ニ陸行スルトキハ道ヲ蹈ミ迷フテ屢々困難ノ境遇ニ陥ルガ故ニ此地方ノ旅行ニハ陸路ヲ取ラズシテ水路ヲ最モ便トナス

嘉興府雁門県ニ石門（呉越戦争ノ時ニ建テタルモノニシテ其以外ハ互ニ侵伐スルコトナキヲ誓ヒタルモノナリ）アリ又孔子ノ廟アリ此地ハ山水ノ美アリ

### 1.9.3 杭州

文雅ノ地ニシテ古ハ臨安ト称シ又一ニ武林ト称ス赤穂四十七士ノ一人武林唯七氏ノ祖先ハ此地ヨリ出デタリト云フ此地ハ商業ノ盛大ヲ極メタル地ナリ其地質ハ砂交リニシテ風俗習慣モ亦上海地方トハ大ニ異ナレリ結髪ノ如キハ我国ノ土烏帽子ニ類似ス（支那婦人ノ足ニハ奇ナル習慣アリ即チ上海ハ先キ尖リ福建ハ馬蹄ノ如ク丸ク広東ハ前後尖リ杭州ハ細長キヲ貴ブ）此地ノ城廓ハ頗ル広大ナリ呉山ハ州ノ東南隅ニ在リ其上ニ子胥ノ廟アリ其南ニ西湖アリ風景佳絶ノ地ト称ス此湖ニ沿リテ蘇堤白堤ノ二堤アリ古昔ハ堤上植ユルニ楊柳ヲ以テセンシガ此等楊柳ハ人民ヲシテ文弱ニ陥ラシムルモノナリトシ今ハ悉ク切り去レリ此処ニ林和晴及ビ美人小蘇ノ墓アリ此美人ノ墓ノ傍側ニハ乞食常ニ群ヲナセリ又是レヨリ少シテ西ニ当テ岳飛ノ像アリ其前ニ秦檜繩ヲ以テ戒メラレタル処ノ像ヲ横置ス参拜ノ人必ズ之レニ溺ス呉山ノ東南隅ニ一ノ図書館アリ乾隆帝ノ凶書ヲ集メタル所ニシテ学者ヲ除クノ外何人ト雖ドモ此館ニ入ルヲ得ザルノ制規ナリ（支那ニ四大書院アリ就中白鹿書院及ビ養老書院ノ二ハ其最モ大ナルモノナリ）杭州ノ物産ハ糸、織物、団扇、扇、剪刀、小刀等トス此地ハ桑樹多クシテ其名ヲ拳桑ト云フ之レヲ培養スルニ肥料ヲ用ユルコトナク只秋候ニ至リ河底ノ土ヲ以

テ其根ノ周圍ニ置クノミトス此地ニ於テハ弄潮ト称シテ秋候ニ至レバ他ニ非類ナキ非常ナル潮アリ其美観ナルコト言語ヲ尽ス能ハズ遠近ノ人來リテ呉山上ヨリ之レヲ見ル

### 1.9.4 富陽県

杭州ヨリ浙江ノ川辺ヲ上リ此地ニ至ルノ間風景好シ此地方地質赤沙ニシテ有名ナル龍井ト称スル茶ハ此地ノ産ナリトス

### 1.9.5 蘭溪県

此地砂糖ヲ産ス富陽県ヨリ桐廬県ニ至リ川辺ヨリ山中ニ入り再ビ川辺ニ出テ関門ヲ過ギドングーヨリ水路ニテ多クノ灘（川ノ瀬）ヲ経テ至ルナリ

### 1.9.6 金華府

土質白沙ニシテ此地方川幅狭シ

### 1.9.7 江山県

金華府ヨリ遡リテ衢州府ヲ過ギ此地ニ至ル是ヨリ地勢稍高ク楓樹多ク其他烏桕、榭樹杉（杉ハ其皮ト枝トハ我国ノ種ニ似テ其葉ハ「モミ」ノ如シ）等アリ

### 1.9.8 浦城県

江山県ヨリ浙江閩江両河ノ水源タル仙霞嶺ヲ越ヘテ至ル所ニシテ此地ニ椎茸ヲ産ス

### 1.9.9 建寧府

人口三万許ナリ地質赤沙ニシテ山ニハ多クノ茶樹ヲ培植ス此地ノ茶二十斤七十両ノ高価ヲ有スルモノアリ其由来ヲ尋ヌルニ此地ニ一ノ寺院アリ該寺ノ和尚念仏ヲ唱ヘツ、茶ヲ摘取シ又全ジク念仏ヲ唱ヘテ之レヲ精製シタルニ由レリト云フ

### 1.9.10 延平府

此地ハ風致甚ダ好シ閩江是レヨリ大トナル此江ニハ有名ナル龍門及ビ蓮華ノ二大灘アリ此灘ヲ通



過スルニ当テ毎年十六艘乃至二十艘ノ沈没船アリト云フ此近傍ニハ水賊多ク為メニ船ハ常ニ二艘宛繋ギ合テセ通行ス而シテ乗客ノ数多クシテ水賊等勝ヲ占ムル能ハズト思ヘバ岸ニ在リテ吃烟シツ、船ノ通過スルヲ見居ルナリ然レドモ彼ヲ平ラゲントスル人トテモ絶テナシ仙霞嶺ヨリ此処ニ至ルノ間ハ風俗慄慄ニシテ婦人ハ常ニ竹鎗ヲ持チ男子ト同ジク労働ス又小児ハ遊獵ヲナス此近傍ニハ長枝竹アリ

#### 1.9.11 水口

此地ヨリ河流益々大トナル是ヨリ船ハ櫓及ビ帆ヲ用ユ

#### 1.9.12 福州

人民狡獪ニシテ婦人ハ其耳輪ノ大ナルモノヲ用ユ足ハ決シテ小ナラズ此地ニ至ルノ間即チ湾口及ビ清水駅ニ於テ鉄鉞アリ湾口ノ下ニ温泉アリ又同地西門内ニ二個ノ温泉アリ福州ノ土質ハ白沙ニシテ山々花崗岩ヲ産ス此近傍ニ於テ物産ノ重ナルモノハ密柑及ビ砂糖トス又此地ニ二大橋アリ万寿橋及ビ洛陽橋ナリ其長サ我東京ノ両国橋ニ比シ殆ド四倍アリ

#### 1.9.13 馬龍江

昔シ我大阪ノ人残党ヲ率ヒテ大ニ侵入セシガ支那人一種ノ船ヲ發明シテ遂ニ之ヲ平ゲタル所ナリ之ヲ名ケテ平倭船ト云フ蓋シ此江泥渥ニシテ通常ノ船ニテハ進行スルコト難シ故ニ其底ノ扁平ナルモノヲ製シテ勝ヲ占メタリ彼ノ海防要論ト称スル書ハ此時ニ成レルモノナリト云フ此地ハ砂糖ノ一大産地ニシテ商売ノ盛ナルハ即チ砂糖トス其他「セメント」ヲ産ス

#### 1.9.14 興化

此地ハ荒蕪ノ地ナリ

#### 1.9.15 泉州

此地西門外ハ道路清ケレドモ東門外ニハ墓頗ル多シ此地モ亦砂糖ニ富メリ

#### 1.9.16 同安

此地ノ山中ニ在ル農夫等西洋風ノ帽子ヲ戴キ或ハ靴ヲ穿ツモノナリ

#### 1.9.17 漳州

此地モ亦荒蕪ノ地ナリ其産物ハ「バナ、」トス「バナ、」ハ芭蕉ノ実ナリト云フモノアレドモ似テ非ナリ支那人之レヲ香蕉ト云フ

#### 1.9.18 龍巖

石炭、鉄、蘭、万年青、等ノ有名ナル産地ナリ

#### 1.9.19 平和県

龍巖ヨリ広東境ナル白河ヲ經テ至ル処ニシテ此地ニ一ノ奇木アリ其葉ハ柵ニ似テ枝ヨリ根ヲ生ズ又籐及ビ「シヤボテン」ヲ産ス人々「シヤボテン」ヲ家ノ周囲ニ植ヘテ生植トセリ此近傍ニ於テ耕作物中驚クベキモノハ甘藷ナリ其長サ二尺乃至三尺許ニ及ブ其耕作法大ニ我国ヨリ進化セルモノアリ即チ我国ニテ慈姑ヲ作ルガ如ク水田中ニ之ヲ作レリ

#### 1.9.20 広東省饒平県潮州

此地ハ韓退之ノ流サレシ所ニシテ楓橋ト称スル一橋アリ広東焼ト称スル有名ナル陶器ハ此地ヨリ産ス

#### 1.9.21 汀州

此地ハ地勢稍高シト雖ドモ險ナラズ

#### 1.9.22 瑞金県

此地ニ於テ耕作物中驚クベキモノハ蕪菁ナリトス我国ノモノヨリ薄ケレドモ大ニシテ甘味アリ甘草此近傍ニ産ス



## 1.9.23 粵都県

石炭ニ富ミ鉄山アリ

## 1.9.24 贛州府

粵都県ヨリ此ニ至ル其間凡ソ三十里道路黒灰ヲ撒ケルガ如キ状ヲ呈ス之レガ為メ足袋及ビ衣服ノ下部汚穢ス凡テ江西省ノ人民ハ其性甚ダ輕薄ナリ琵琶ヒキ理髮人等ハ多ク此省内ヨリ出ヅルモノナリ此地ノ人民ハ交際スルコト頗ル上手ナルモ久シク之レト交ハレバ我レヨリ彼ヲ嫌フノ心起ルナリ

## 1.9.25 万安県

嘗テ米國ノ某氏世界漫遊ノ時此地ニ来リテ非常ノ辛苦ヲ受ケシコトアリト云フ

## 1.9.26 吉安府

此地ハ文天祥ノ生レシ所ニシテ風景好佳且ツ繁盛ノ地ナリ物産ハ密柑トス

## 1.9.27 瑞州府

吉安ヨリ峽江県、新淦臨江ヲ経テ至ル所ニシテ此地ハ茶ヲ産ス

## 1.9.28 奉新県

此地ニ船橋アリ義渡ト称シテ政府ヨリ之レヲ設ケ無賃ニテ渡ス所ナリ

## 1.9.29 通山県

奉新ヨリ靖安県武寧ノ両県ヲ経テ湖北ニ出テ此地ニ至ル此地ハ菓甘藷茶ヲ産ス

## 1.9.30 咸寧県

此地ハ片石（石盤ナルナリ）ヲ産ス是レヨリ漢口ニ出口

明治廿三年十一月十五日

## 1.10 香港繁盛ノ理由

香港ハ今ヲ距ルコト五十年前英国ノ領地ニ属ス

其当時迄ハ非常ニ寂寞タル地ナリシモ今日ニ於テハ二十四万ノ人口ヲ有シ一億万円ノ巨大ナル資本ヲ以テ成立セル会社アリ家屋モ広大ニシテ実ニ欧州モ一歩ヲ譲ルガ如キ有様ヲ呈セリ其斯ク繁盛ニ至ラシメタルハ実ニ左ノ八原因ニ拠ルヲ信ズルナリ

第一、地理上ノ位置宜シキヲ得タルコト即チ東洋ノ中心ニシテ其周囲ニ商業ノ盛大ヲ来スベキ材料ヲ備ヘタル邦国若クハ島嶼アルコト

第二、港湾ノ善良ナルコト

第三、棧橋、倉庫及ビ船渠等ノ整頓セルコト

第四、自由港ニシテ税関ナキコト

第五、西洋ノ安直ナル資本自由ニ流レ来リテ金融ヲ拓メタルコト

第六、歐洲人已レノ國ニ營利ノ餘地ナキヲ以テ之レヲ求メテ移住シ来リタルコト

第七、港ニ関スル租税ノ廉ナルコト

第八、生活ノ自由ニシテ租税ノ廉ナルコト

等ニシテ又同地ニ於ケル工業ノ盛大ヲ来セル理由ヲ述ベシニ即チ左ノ如シ

第一、位置ノ宜シキコト

第二、資本金ノ多キコト

第三、安値ナル労力ヲ得ルコト

等以上ノ三原因ニ基クモノナルコト明ナリ

明治廿三年十一月廿二日

## 1.11 亜片ニ就テ

元明以来清國ノ風俗習慣中ニ就テ其弊ノ大ナルモノハ種々アレドモ其重ナルモノヲ挙グレバ第一亜片第二試験第三賭博及ビ之ニ属スル富籤等ナリトス今亜片ニ就テ左ニ之ヲ述ブベシ

外国貿易品中金巾亜片ハ輸入品茶生糸ハ輸出品ノ重ナルモノニシテ一千八百九十年ノ調査ニ依レバ亜片ハ七万六千〇五十二担ニシテ其価格二千二百八十一万六千〇六両金巾ハ二百十三万七千二百両茶ハ二千八百二十五万七千三百十四両生糸ハ二千四百七十八万三千二百九十両ナリトス実ニ亜片ハ輸入額ノ三分ノ一ニ超過セリ



罂片ハ重ニ印度ヨリ輸入スレドモ支那ニ於テモ亦タ多ク之レヲ産ス其産地ハ即チ左ノ如シ

第一ハ四川陝西ニシテ次ハ安徽ノ北隅次ハ湖北ノ西北隅雲南山東ノ西北隅貴州広西等トス而シテ其産額ヲ合スレバ外国輸入ノモノヨリモ多シトス

罂片ノ害毒タル実ニ甚ダシキモノニシテ林則徐ノ乱ヲ始メトシ其他種々ノ騒乱アリテ二十五六年間天下無事ナルコト能ハザリシ亦一ケ人ニ就テノ害毒ハ則チ癮ニシテ始メテ罂片ヲ吃スルトキハ我々ノ烟草ヲ始メテ喫スル時ト同ジク上火スルナリ然レドモ漸々慣ル、ニ從ヒ頗ル愉快ヲ覺ユルニ至ル支那人ノ罂片ヲ喫スル毎日七度ニシテ即チ夜明、洗面後、朝飯後、昼食後、夕食前、午後十時及ビ十二時頃トス而シテ其時間来レバ癮ヲ発シテ初メ発言スルコト能ハズ次ニ粟ヲ生ジ次ニ涎ヲ垂ラスニ至ル実ニ罂片ハ高価ノモノニシテ一筒煙ノ価格外国産七円内外混合ノモノ三円五十錢乃至四百円ナリ故ニ貧人ハ其癮ノ発スルヤ火酒ヲ用ヒテ之レヲ治ス然レドモ上等ノモノハ寢台ニ上リテ煙燈ニテ火ヲ付ケルヤ否ヤ忽チ非常ノ元氣ヲ発シテ言語ヲ発スルコト間断ナキニ至ル

我国元禄年間迄ハ烟草ヲ吃スルモノ稀ニシテ客ニ烟草盆杯ヲ出スコトナカリシガ當時ニ於テ烟草ヲ喫スルモノ増加セシト同ジク支那ニ於テモ罂片ヲ吃スルモノ逐日多キニ及ベリ随テ都鄙到ル処トシテ煙館ノ設ケアラザルハナリ当地英租界四馬路一層樓ノ最頂上ノ一室ノ如キハ罂片ヲ吃スルノ室ニ充テ数十名ノ男女常ニ之レヲ吃セリ當時ハ外人ノ此室ニ到ルヲ禁ゼリ

罂片ノ害毒ハ実ニ甚ダシク人ト挨拶スルニ当テ即ズ煙霞ノ癖アルヲ以テ働ケズ杯ト云ヒテ謙辭トナス又人ヲ訪問スルヤ主人先ヅ茶ヲ出シ四方八方ノ話ノ末炕上ニ設置セル罂片ヲ以テ吃大煙ヲ勸ムナリ

支那ニテ間人等ヲ称シテ江湖ト云ヒ旅行ニ慣レタルモノハ老江湖ト云フ若シ旅行スルニ当テ吃罂片者ト途ニ会スルトキハ非常ノ難ニ遭遇スルコトアリ戒ムベキナリ

又吃罂片者ニハ席ヲ讓ルベキ習慣アリ其一例ヲ挙グレバ夏日旅店等ニ休憩スル時吃罂片者入り来ルヤ彼ハ遠慮会釈モナク旅客ノ居室ノ窓戸等ヲ閉ヂ其客ノ寢台上ニ横臥シテ罂片ヲ吃スルナリ

罂片ヲ吃スルニ用ユル器具ハ則チ左ノ如シ

煙鎗（此器ハ古色ヲ貴ブ當時我国ニ於テメッシヨン〔メシヤム〕琥珀ノパイプヲ貴ブガ如シ）煙盆、煙盒子、煙燈、煙針水入、茶瓶、ツマミ出シ、石片等ナリ

罂片商ハ支那商人中最モ大ナルモノニシテ其店ニハ陳膏（陳上故ノ意ナリ）ト書シタル看板ヲ掲グ又土膏ト称スルハ粉ノ儘ノモノナリ

支那人罂片ヲ好ムコト甚ダシキモ其害ヲ恐レテ癮ヲ治スルノ藥ヲ求ムルモノアリ當時戒烟丸ナルモノアレドモ其効アルヲ見ズ真ニ断癮ノ良藥ヲ發明セバ一攫千金ヲ得ルコト明ナリ我国人宜シク諸究スベシ

政府ニ於テハ罂片ヲ吃スルコトヲ禁ゼザルニアラズト雖ドモ少シモ其効ヲ見ズ王番ナルモノ嘗テ言ヘルコトアリ政府ニ於テ之ヲ禁ゼント欲セバ吃罂片者ノ身首所ヲ異ニセシムルニアラザレバ能ハズト同人ノ如キモ非常ニ罂片ヲ好メルノ人ナリ若シ夫レ清政府ニ之レヲ禁ズルニ左ノ方法ヲ取ルアラバ漸次其跡ヲ絶ツニ到ルベキヲ信ズルナリ

第一、内地ニ於テ罂片ヲ耕作スル異ヲ嚴禁スベシ

第二、煙館及ビ煙商ニ重税ヲ課スベシ

第三、煙器制作場ニ重税ヲ課スベシ

第四、花柳社会ニ煙器ヲ備スルモノハ前項ニ準ズベシ

第五、密輸入ヲ嚴禁スベシ（広東ノ密輸ニ千万両アリト云フ）

第六、官吏、学生兵士等ニシテ吃煙スルモノハ嚴刑ニ処スベシ

第七、細民及ビ労働者会ニ吃煙スルコトヲ嚴禁スベシ

第八、大煙零売ヲ帳簿驗査等ニ依テ困難ニスベシ

斯クノ如クシテ漸次外国ノ談判ニ着手スベシ然ルトキハ例令一時ニ跡ヲ止メザラシムル能ハザルモ民生ヲ活達ナラシメ財政ヲ裨益スルコト少々ニアラザルベシ

明治二十三年十二月六日

### 1.12 支那商業地理ノ概要及運輸上ノ一般

支那帝国ハ亜細亞ノ東部ニ位スル大國ニシテ十八省ニ加フルニ新疆東三省ナドヲ合セテ広袤九十餘万方里北ハ魯領西伯利、南ハ安南印度緬甸ニ接シ西ハ葱嶺ヲ以テ土耳其斯坦ニ界シ東ハ支那海(渤海ヨリ東京灣ニ至ルノ間)ヲ隔テ、日本及ビ呂宋ト相對ス其屬地ヲ除キ本部ハ幅員二十七万方里人口三億六千万アリ物産豊饒ニシテ運輸ノ便ヲ極メ大小ノ都邑ハ五百戸乃至千戸以上ノ人家ヨリテ到ル処トシテ商業繁盛ナラザルナシ滿洲盛京省ノ如キハ其繁盛ナルコト本部ニ及バズト雖ドモ近來殖民大ニ増加セリ今其人口ヲ調査スルニ山東ヨリ移住セシモノ却テ土人ニ超過ス而シテ吉林府ノ如キハ愛親覺羅氏ノ根拠ノ地ニシテ人民ハ文事ヨリモ武事ヲ尊ビ文武官ノ設置殆ンド北京ト同ジク從テ繁盛ヲ極ム此地方タルヤ鋤山炭山等ノ天賦ノ財源ニ富ムト雖ドモ人民未ダ之ヲ利用スベキ開化ノ度ニ違セザルヲ以テ其富本部ニ一歩ヲ譲レリ然レドモ開港場牛莊ノ一港アルガ為メニ漸次此地ノ開化ヲ進ムルナルベシ

凡ソ滿州蒙古等ノ屬地ハ甚ダ寂寞タル荒野ニシテ唯游牧人種ノ居住スルニ過ギザルヲ以テ今日ニ於テ貿易上研究スベキ必要ナシ故ニ之ヲ省キテ本部各省ノ地理ノ概略運輸ノ一般ヲ述ベン

#### 1.12.1 (山脈)

支那ノ山脈ハ中央亞細亞ノ高地ヨリ起リテ東ニ走り四川ノ境ニ至リテ四方ニ蔓延シ雲南貴州山東山西陝西甘肅等ノ各省ニ至レリ内ニハ深山高嶺ヨリ丘岡アリテ一言スベカラズト雖ドモ概シテ之レヲ言ヘバ西北及ビ西南ノ各省ハ深山高嶺多ク東部ノ各省ハ平地ニシテ沃野數百里ニ亘ル然レドモ福

建省ハ唯獨リ其趣ヲ異ニシ至ル処トシテ山ナラザルハナシ此地ノ地勢タルヤ漸次高クナルヲ以テ偶々此地ニ至ルモ其地勢ノ左迄高キヲ思ハザレドモ實際之レヲ測量スルトキハ非常ニ高キヲ知ル此一省ハ言語人情風俗等自ラ他省ト異ナレリ又東南及ビ東北ノ各省ハ沼沢地多クシテ中央ノ各省ハ沙原多シ又山東省ハ其東部山地ニシテ西部ニ反ツテ平原アリ

支那ノ山脈ヲ大別シテ三トス即チ左ノ如シ

- 一、雲南貴州廣西廣東湖南江西福建ニ亘ルモノ
- 二、四川湖南湖北貴州ニ亘ルモノニシテ鋤山多シ
- 三、四川甘肅陝西山西山東ヨリ直隸ニ至ルモノ

#### 1.12.2 (河川及ビ湖沼)

大河小川到ル処ニ縦横シ又湖水アリテ運輸ノ便ヲナスト雖ドモ其最モ水運ノ便アルハ中央部即チ長江一帶ノ地トス就中江蘇浙江ノ二省ヲ以テ第一トス此中央部ニ次グモノハ南部ニシテ北部ハ遙ニ之レニ及バズ

#### 1.12.3 (陸路)

支那人ハ實ニ新事業ヲナスニ魯鈍ナルヲ以テ道路ノ如キモ南方ハ水運ノ利盛ナルニヨリ甚ダ不完全ナリ而シテ都邑ト都邑トノ間ニ官道ノ通ズルアリト雖ドモ其大ナルモノ三尺ニ過ギズ之ニ反シテ北方ハ水運ノ利乏シキニヨリ道路廣大其幅五六間乃至十間アリテ其最モ広キ所ハ牛馬車四五輛ヲ併馳シ得ベシ然レドモ今日ニ於テハ道路ヲ修繕スルコトナキヲ以テ車輪及ビ馬蹄ノ跡甚ダシクシテ其深キモノハ二尺許アリ且ツ道路ハ他ノ地面ヨリ低キヲ以テ雨天ノトキニ於テハ四方ノ水流レ来リテ恰モ河川ノ狀ヲナシ運輸交通ヲ妨グルニ至ル

以上記セシ如ク南方ハ水運ノ利アリ北方ハ陸路ノ便アルヲ以テ南船北馬ノ諺アリ

#### 1.12.4 (陸運)

陸運ヲ分テ三トス即チ左ノ如シ



#### 1.12.4.1 一、車運

北部物貨ノ運搬ハ皆車運ニシテ車ハ長サー丈五尺巾九尺ニシテ牛ト馬トヲ混合シテ十頭許リ繋ギ之レヲ牽カシム又車上小屋ヲ作りテ人之レニ起臥シ其帆ヲ用ヒテ牛馬ノ勞ヲ助ケ馭者ハ一名若クハ二名ナリ北地ノ牛ハ其体大ニシテ馬ト同ジク馳走スルナリ又小車アリテ一人車後ヨリ押シテ之レヲ送ル又他ニ一人ノ綱ヲ用ユルコトアリ大車ハ一日ノ速力六十清里乃至八十清里ヲ走ル而シテ其運賃百清里ニ付三兩乃至四兩ニシテ小車ハ貨物ヲ積載スルコト三百斤乃至四百斤トス大車ノ運搬ハ北方ノ各省即チ盛京直隸山西山東陝西甘肅河南等ニ行ハル小車ハ南方ニ行ハル

#### 1.12.4.2 二、馬又ハ駱駝ノ運輸

是レ重ニ北方ニ行ハル、モノニシテ其積載高馬二百斤内外駱駝四百斤乃至四百五十斤ニシテ速力ハ共ニ一日八十清里ヨリ百二三十清里運賃ハ馬銀四匁駱駝七匁内外ナリ

#### 1.12.4.3 三、人肩ノ運輸

雲南貴州等ノ如キ西南ノ地ハ高山峻嶺ノ間ニ在ルヲ以テ車舟ヲ通ズルヲ得ズ為メニ人肩ノ運輸行ハル斯ク不便ノ地ナルヲ以テ貨物ノ出入少ナク隨テ商況沈静セリ人肩運ニ二種アリテハ貨物ヲ背負ヒ一ハ天秤棒ヲ以テ担グモノ是レナリ而シテ後者ハ南方ニ行ハル其重量ハ九十斤内外ニシテ運賃ハ銀四兩ナリ

以上陳述シタルガ如ク北部ノ運搬ハ車馬ニ依リ山谷ノ間ヲ通過スルヲ以テ荷造方最モ堅固ナルヲ要ス今支那人ノ荷造方ヲ説カンニ漢口ヨリ蒙古地方ニ送ルノ磚茶ヲ荷造ルニ先ヅ錫ニテ包ミ之レヲ箱ニ入レ然ル後「アンペラ」ヲ以テ之レヲ包ミ籐蔓ヲ以テ之ヲ卷キ又其上ヲ綱ニテ網形ニ縛シ又之ヲ「ベルツ」(竹ニテ編ミタルモノ)ニテ包ヨリ其堅固ナル實ニ至レリト云フベシ然レドモ其蒙古ニ達スルヤ漸ク板ノ箱ヲ存ズルノミニ至ル又支那

人此荷送ニ錫ヲ用ユルハ蒙古地方ニ於テ錫ノ価高クシテ茶ト相半バサルニヨルト一挙兩得ノ策其注意實ニ至レリ尽セル哉因ニ記ス磚茶トハ茶ヲ瓦ノ形ニ固メタルモノニシテ蒙古地方ニテ非常ニ貴重セラレ貨幣ノ代用ヲナセリ

#### 1.12.5 (水運)

水運ニ内河外何ノ區別アリ

##### 1.12.5.1 一、内河運漕

内地ノ河川ニ支那形船ヲ以テ運漕スルモノニシテ支那人ノ風力ヲ用ヒテ帆ヲ利用スルハ遙カニ他邦人ノ及バザル所ナリ且ツ内地ノ河川ニハ高低非常ノ差ヲナス所アリテ之レニ瀾ナル者ヲ設ケ万カヲ兩岸ニ備ヘテ舟船上下ノ便ヲ図ル而シテ川ト川トノ間ニ水路ノ通ゼザルモノアレバ貨物ヲ卸シ牛馬ヲシテ船ヲ牽カシメ以テ他ノ河ニ称ス凡ソ内河ニ用ユル所ノ帆船ノ積載高ハ貳拾万斤乃至五千斤ニシテ其速力ハ順風ニテ一日ニ二百清里逆風ノ時ニ在テハ同里程ヲ走ルニ十日乃至一ヶ月ヲ要ス其運賃ハ一定シ難シト雖ドモ最モ瀾多クシテ舟行ノ困難ナル宜昌ヨリ重慶迄即チ一千八百清里ノ間ニ於テ上リ四十日下リ六日ヲ要シ其上リノ賃錢百斤ニ付貳円ナリ他ノ各処ハ推シテ其廉ナルヲ知ルベシ又竹船倭船等ヲ用ヒテ如何ニ淺キ河川ト雖ドモ其水利ヲ利用ス

##### 1.12.5.2 二、外河運漕

長江ノ往復并ニ沿海ヲ運漕ニシテ皆汽船ノ便アリ以テ二十三ノ開港場ヲ往復ス汽船会社ハ上海香港間ニ往復スルモノ二十社船数数百艘以上アリ此等ノ会社ハ皆上海ニ在ルモノニシテ此社ノ中ニ於テ長江沿岸ヲ寄港スルノ船ヲ有スルモノハ八社アリ即チ招商局、太古、怡和、麥辺、和興、仁記、華友、禪臣トス漢口迄ハ八会社ノ船何ツレモ至ラザルモノナシト雖ドモ宜昌迄航行スルハ独り招商局ノミ而シテ此会社ノ長江往復ニ用ユル汽船ハ總計四十艘ニシテ其噸数ハ二三百噸乃至八百噸トス

又帆船アリテ此各港間ヲ往復ス天津ヨリ上海迄蓬船（支那形大帆船）ニテ十日乃至一ヶ月ヲ要シ百五十噸乃至二百噸ヲ積載ス運賃ハ時々ノ相場ニヨリテ異ナリト雖ドモ会社所有ノ汽船最モ高ク一己ノ私有汽船之二次ギ貨物ノ多キトキニ限り臨時発船スル所ノ野鷄船ヲ最廉ナリトス

支那ハ廣大ノ土地ナルガ故ニ氣候モ亦各地同ジカラズ從テ物貨ノ商況等ニ又期節アリテ其盛衰ヲ異ニス故ニ商人タルモノ尤モ茲ニ注意セザルベカラズ今一ニ例ヲ挙ゲテ左ニ之ヲ述ブベシ

漢口ヨリ雲南四川行ノ荷物ヲ発送セント欲セバ九月ヨリ翌年二月迄ノ間に於テセザルベカラズ是レ河水ノ奔流ハ三月ヨリ八月迄ノ間に在リテ此地方ノ急流ニハ航行ニ困難アルヲ以テナリ

天津ノ如キハ十一月ヨリ翌年二月ノ末迄ハ氷結スルヲ以テ航行スルコト能ハズ從テ其間商況不振ナリ然レドモ三月ノ初ニ至リ白河ノ開クルヤ各船争テ入港ス是レ第一着ノ船ニハ政府ヨリ三百兩ノ賞金ヲ与フルノ挙アレバナリ茲ヲ以テ商況大ニ活動ヲ極ム故ニ此等ノ期ヲ失セザルノ準備ナルベカラズ

牛莊地方ハ沼沢多クシテ夏季ハ瘴癘ノ氣起リ通行ニ不便ナルヲ以テ嚴冬湖水ノ氷結スルニ乗ジ機ヲ利用シテ貨物ヲ運搬ス古昔ジンギスカン等ノ此地方ニ兵ヲ動カスニ必ズ嚴寒ノ候ニ於テセシハ右ノ原因ニ由ルナルベシ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ其以前ニ於テ貨物ヲ同地ニ運搬スベシ

支那東南沿海及ビ長江沿岸ノ開港場二十二港ノ内ニ於テ日本商人ノ最モ望ヲ属スベキ場所ハ何レナルヤ之レヲ知ル實ニ必要ノコトナレバ左ニ之ヲ陳述スベシ

廿ニ開港場中上海香港廣東漢口天津ノ五港ハ運輸甚ダ便ニシテ尤モ繁盛ヲ極ム就中上海ハ長江一帶各地ノ分輸ヲ司リ香港ハ福州江南ノ分輸ノ地ナリ斯クノ如ク右ニ港ヘ通貨貿易甚ダ盛ニシテ内地ノ取引売買ニ於テ全ク望ヲ属スベキノ地ニアラズ然ラバ何ヅレヲ最モ重要ノ港トナス廣東漢口天津ノ三港ヲ以テ吾輩純ナル日本商人ニハ適當ノ所

ナリト謂フベシ今重要諸港輸出入ノ總計ヲ示サシ就テ見バ其商況ヲ察スルニ足ルベシ

千八百八十九年輸出入總計貳億千七百八十三萬二千八百七十七兩ノ内ニテ

上海	一〇〇、七九二、三二五兩	香港	七四、五九八、二三六
廣東	三七、四四五、〇四九	廈門	一〇、二〇六、八〇五
福州	八、六六五、〇八八	漢口	五、五八一、六九五
天津	五、五一七、〇一四		

備考 本表中ニ於テ福州廈門ハ砂糖ノ輸出多額アリテ輸入額ト大差アリ故ニ輸入商ノ着目スベキ所ニアラズト知ルベシ

明治二十三年十二月十三日

### 1.13 直隸張家口貿易ノ景況

張家口ハ直隸省宣化府ニ属スル長城ノ門中ニシテ支那貨物ヲ蒙古及ビ露領西伯利ニ運送シ内地ヨリ貨物ヲ支那地方ニ運ビ來ル陸地貿易ノ要口ナレバ曾テ同地ニハ監督官ヲ置キ其稅ヲ調べ露國ト陸路通商ノ條約アリシヨリ全体ノ景況日々ニ盛ニシテ今日清國陸路貿易ノ最モ盛ナル地トナリシガ故ニ我國人モ亦之レニ注目セザルベカラズ我九州地方ニ産スル番茶ヲ天津ニ輸出スルモノハ悉ク此口ヲ經テ蒙古露國ニ向フモノナレバ其販路ノ如何ヲ視察スルハ今日ノ要務ナリ又磚茶ノ支那地方ニ産スルモノハ總テ同地方ニ向フト謂フモ不可ナキモノナレバ茶葉ヲ營ムモノ及ビ天津向キノ貨物ヲ取扱フ人ハ宜シク蒙古露國ニ至リテ同口ノ商情ヲ熟知シテ日常ノ商売ヲ勉メザルベカラズ然レドモ同口ハ他ノ開港ト異ナリ天津ヲ距ルコト殆ド五六百清里ノ内地ニ在リテ露商ヲ除ケバ他ノ外國商ハ未ダ直接ニ此地ノ貿易ヲ試シタルモノナキ程ナレドモ現ニ清國ヨリノ輸出品ヲ重ナルモノハ茶鉄器及ビ織物ノ三種ナリトス兼テ同口ニハ大ナル清商ノ茶問屋五六軒アリテ年ニ其取扱茶ノ高ハ凡ソ三萬箱以上ニ及ビ其中磚茶ハ重ニ蒙古人ノ需用スルモノナルガ其輸出ノ高ハ割合ニ少ナク白毫茶（紅茶ノ一種）ノ輸出ニ比スレバ僅ニ十分ノ二位ナリト云ヘリ此磚茶ニハ其種類三アリ上等ハ大塊ニシテ二七ト稱ヘ即チ二十七塊ヲ以テ一箱トナシ一塊ノ価大概天津錢一吊八十文ニ売捌ヲナシ居レリ又其

重サヲ量ルニ三斤二両アリ是レハ相応ニ良質ノモノト見ヘ支那人モ旅行用杯ニ之レヲ携フルモノアリト云フ中等ハ三六ト称ヘ三十六塊ヲ以テ一箱トナス一塊ノ重サハ一斤ニテ其価ハ通例ハ天津錢ノ五百四十文位ナリ下等ハ六七ト称ヘ一箱ニ六十七塊ヲ入レ一塊ノ重サハ大概一斤半モアリ其価ハ通例四百八十文前後ナリ又白毫茶モ其種類四五種ニ分チ最上ナル分ハ一斤天津錢二吊四百文中等同一吊四百文下等一吊二百文位ナリ其最下等ナルモノハ恰克図地方ニテハ哈喇、回絨、哦噎油、嘩噤等ノ毛織物ヲ織ルノ染料ニ用ユル由ニテ輸出高ハ頗ル多キモノナリ右等茶商ノ外ニ元宝山ト云ヘル所ニ茶ヲ取扱フ露商二三軒アリテ専ラ露領西伯利亞ニ輸出スル白毫茶ト蒙古人ガ用ユル磚茶トヲ販売シ其取引ハ頗ル盛大ナルモノニテ右ニ二種ノ茶ヲ合セ一ケ年凡ソ四十万箱ヲモ販売スルト云フ此露商ハ同口ニ開店セシハ今ヨリ凡ソ二十七年以前ニテ其始メハ營業モ思ハジカラザリシガ次第ニ勉勵シ目下ハ紳商等モ其勢ヲ制スル能ハザルノミカ年中其取引ヲナス所ノ茶ノ高ハ此露商一軒ノ半ニモ及バザル位ナレバ北京政府モ頗ル同口貿易ノ模様ニ顧慮スル所アルモノ、如シ鉄器ヲ取扱フノ商家ハ三十軒モアリテ何レモ屈指ノ豪商ナリ輸出品ハ紬緞綿布ノ類ヲ同地方并ニ蒙古ニ販売スルノ外ニ一種ノ垢付タル古衣ヲ紅黃藍黑等ノ色合ニ染メ直シ蒙古人ノ需用ニ供シ居レシ同口ノ輸入品ハ輸出品ト異ナリ遥ニ上等ノモノニテ其重ナルモノハ哈喇、回絨、哦噎油、嘩噤等毛織物ノ外塩土碱及ビ駱駝羊ノ毛并ニ野獸ノ皮ナリ毛織物ハ恰克図ヨリ同口ニ送り更ニ之ヲ直隸省通州ニ出シ通州ヨリシ支那各地ニ分輸セリ食塩ハ蒙古京棚、黒石灘、及ビ哈達ノ地ニ産シ其種類ハ二様アリテ一ハ塊形ニシテ之ヲ甄塩ト称シ一ハ粉末ニシテ之レヲ末塩ト称セリ其価ハ同口ニテ甄塩ハ一斤天津錢四十文末塩ハ一斤同三十二文ニテ売買ス此等ノ塩ハ産地ヨリ同口ノ東北八十五里ナル石灞兒台ト云ヘル所迄牛馬ニテ送付シ同地ヨリ大車ニ積ミ替ヘテ同口ニ至ル此大車ノ積量ハ凡ソ三百斤ヨリ四百斤ニ至リ

同口ノ関門ニテ一車ニ付銀二匁ノ税金ヲ取立テ居レリ此土塩ハ海塩ヨリモ其品質不良ナルモノニシテ重ニ直隸ノ長城外并ニ山西省地方ニ販運スルモノナリトス土碱ハ酸化曹叟母〔曹胃母〕ノ類ニテ天然ニ産スル塩タリ大察爾地方ヨリ同口ニ輸入シ支那本部各地ニ於テ其需用最モ広キモノニシテ之ヲ精製シテ甄形ニ作り染料或ハ饅頭ヲ製スルニ用ユルト云フ又衣服ノ洗濯ニハ最モ宜シク何レモ石鹼ヲ代用ス同口此土碱ヲ取扱フ商家十軒アリ其取引ハ甚ダ大ナルモノニシテ一軒ニテ一ケ年ニ買入ル、高ハ牛車ノ四千輛ニモ及ビ一斤ノ価大約天津錢二百四十文位ニテ一車ノ積量四百斤ヨリ五百斤ノ間ナレバ今一ケ年十軒ノ商家ニテ買入ル、高ヲ概計セバ牛車四万両ノ斤量凡ソ一千六百万斤ニテ其ノ価格ハ天津錢ノ三百八十四万吊此銀百二十万両ナリ実ニ盛大ノ營業ト云フベシ尤モ此土碱シハ食塩ト同一ノ規則ニシテ人民ニ自由ニ之レヲ取扱フコトヲ禁ジ一官許ノ票子ヲ以テ其取引ヲ為シ居レリ又獸皮問屋ハ同口ニノミ十餘軒アリ重ニ烏魯木齊、烏里雅蘇台、恰克図及ビ伊犁等ノ地方ヨリ輸送シ來ル所ノ毛皮ヲ買取シ更ニ各地ニ輸出セリ其皮ハ虎、豹、狐、羊、羔、川嵐等ノ類ニテ其中山羊ノ皮ハ從來一枚ノ価僅ニ銀二匁五分位ナリシモ欧州ニ輸出スルモノ次第ニ盛ナルヨリ遂ニ一枚ノ価ヲ銀四匁以上ニ迄引キ上ゲタリト云フ

明治二十三年調査

#### 1.14 支那人反古紙ヲ重シスル事

支那人ハ文字ヲ書キタル紙ヲ大切ニスルコト敢テ其紙質ノ精粗ニ拘ハラズ又文字ノ大小種類ニモヨラズ上流下流共ニ一種一様ノ風ヲ為シテ外国人ノ目ニハ奇異ノ思ヒアル程ナリ蓋シ文字ヲ尊ブヨリ起リシニハ疑ヒナケレドモ南北到ル処ノ民間ニ惜字局若クハ惜字會ヲ設ケザルナリ其局ニテハ常ニ人夫ヲシテ書損不用ノ紙又ハ隔壁ニ張り付ケタル旧キ廣告紙等ヲ搔キ集メシノ積ンデ山ノ如キニ至レベ之レヲ大ナル火炉ニ投ジテ灰トナシ其灰ヲ袋ノ内ニ詰メ最寄リーノ船便ニ托シテ河海ノ中心

ニ放流スルヲ例トス其手数ト云ヒ勿体ト云ヒ功德ヲ思フニモ程コソアレド実ニ馬鹿々々シキ感アリ天津ニハ徐其ト称スル慈善家アリテ私費若干ヲ投ジテ惜字局ヲ設ケ沿街又ハ近郷ノ四辻等へ数千ノ紙屑籠ヲ掛ケ置キ人夫ヲシテ之レヲ蒐集セシム其規則手續ナリトテ所々ノ紙屑籠其他ニ張り出シテ広告セル筒条ハ左ノ如シ

一、人家ニ於ケル反古紙ハ何時ニテモ本局ニ通知アレバ幾分ノ割合ヲ以テ新シキ紙ト交換スベシ

一、商店ニテ物品ヲ包ム字紙ハ丁寧ニ取扱フテ損壊スベカラズ

一、祖先ノ墓ヲ祭ルニ紙錠（両ノ形ニ製シタル金箔紙）ヲ焼クトキハ其灰ヲ踏棄スベカラズ

一、学塾ニ於テハ教師タルモノ自ラ字紙ヲ監檢シテ廃筆ノ軸及ビ碎ケタル磁器茶碗等ナリトモ文字ノ存ズルモノハ貯ヘ置クベシ

一、万一汚穢ノ場所ニテ勿体ナクモ字紙ヲ見出シタル時ハ直ニ香灰ヲ和シタル水ニテ丁寧ニ洗ヒ乾シタル紙屑籠ニ納メ置クベシ

一、局中餘裕アレバ風俗ヲ紊乱スル書画又ハ古本ヲ買取シ之レヲ焚クコトアルベシ

### 1.15 香港ニ於ケル日本雜貨ノ景況

日本雜貨目下ノ景況ヲ概言スレバ高価ナル美術品ハ全ク販路ヲ杜絶シ廉価ナル室内裝飾具ハ依然需用アリ又日常必需品ニ至リテハ追々其売行ヲ増スベキ有様ナリ現今当港中等以上ノ佳家（支那人ノ家ヲ除ク）ニハ其室内飾物ノ大部分ハ日本美術品ヨリ成立シ既ニ大抵其需要ヲ充タシタレバ新タニ家ヲ構ヘルモノ、外ハ之ヲ購フモノ甚ダ少ナク仮令真ニ日本美術品ヲ愛スル好事家アリトモ是等ハ避暑ヲ兼テ日本へ漫遊ノ折其製造元ニ就テ求ムルノ傾アルヲ以テ隨テ当地ノ売店ニハ顧客ノ數ヲ減シタリ一昨年来込ハ当地ニテ日本美術品ヲ鬻グ大店二軒アリ内一軒ハ日本商日下部平次郎ノ開キシ所他ノ一軒ハ支那商綠興ノ營業ニシテ共ニ一時ハ相應ノ利益ヲ得タルモノナルガ日下部ハ昨年ノ始メニ所持ノ残品ヲ競売ニ付シテ閉店シ純然タル

仲買商ト變ジ綠興ハ今ニ閉店セザレドモ商売至ツテ緩慢ナル様子ナリ又昨年六月頃在横浜ノ匈牙利人ターナル者当地ニ支店ヲ構ヘ主トシテ高価ノ日本贅沢品ヲ陳列シタルガ開業ノ始メヨリ昨今迄ノ内情ヲ聞クニ景氣甚ダ面白カラズト云ヘリ以テ高価ナル日本品ハ目下当地ニ需要少ナキヲ知ルベキナリ畢竟当地ニ於テ日本贅沢品ヲ愛玩スルハ西洋人ニ限り而シテ其數甚ダ寡少（香港現今ノ人口二十万ノ内十九万ハ支那人ナリ）ナレバ需要高ニ限りアリ況ンヤ已ニ過半其需要ヲ充タシタル今日ナレバ到底支那人中ニ之レヲ愛スルノ念生ゼザル内ハ今後当地方へ多分ニ輸出スルノ見込ナカルベシ之ニ反シテ廉価ナル室内裝飾ハ引續キ需要アリ是等ハ重ニ西洋人中等以下ノモノ、購買スル所ナレバナリ目今当地ニテハ如何ナル住家（支那人住家ヲ除ク）ニテモ必ズ日本屏風一二隻ヲ備ヘ壁間ニ二三ノ掛物ヲ掛ケアラザルハナシ当港ノ如キハ殖民地ノ常トシテ中等以下ノ外国人ノ来リテ此地□ニ産ヲ求ムルモノ新陳交代極リナク而シテ欧米ノ都府ト事變リ下宿住ヲナスモノ至テ少ナク新来ノ輩ハ一人若シクハ清人申合セ必ズ一家ヲ構ヘルノ風ナルヲ以テ其一家ヲ構ヘルニ當タリ室内ノ裝飾具トシテ最モ廉価ニシテ見栄ヘアルハ日本品ニ如カザレバ廉価ナル裝飾品ノ需要ハ決シテ断ズルコトナカルベシ而シテ其内最モ望ヲ属スベキモノハ屏風、櫛物、炉隠シ、提灯、灯籠、簾、植木鉢、竹細工物等ナリトス目今当港ノ於テ主トシテ廉価裝飾品ヲ販売シ居ルハ日本店二軒支那店十數軒アリ多クハ神戸仕入ノモノニシテ売価ハ平均仕入価ノ三割増ナリト云フ右ノ如ク廉価ナル日本裝飾具ハ依然需要アレドモ是等ハ重ニ西洋人向キナルヲ以テ其需要高ニ限りアリ然ルニ日常必需品ニ至リテハ其消費者ハ重ニ支那人ナルガ故ニ其売高頗ル多額ナリ今其内望ミアルモノ拳グレバ手拭、木綿縮、莫大小足袋、洋傘、摺附木、石鹼、齒磨、香水、小楊子、玩具、陶器、小皿、茶、呑碗、図扇等ナリトス又支那人モ近来追々外国器物ノ便利ナルヲ曉リ漸次之ヲ使用スルノ傾アリテ日用必需ナ



ル西洋小間物ノ流行ハ日ヲ追テ盛大ニ赴クヲ以テ日本ヨリ模造西洋品ヲ廉価ニ輸入シテ遠ク歐洲ヨリ積ミ来ルモノヲ压倒スルハ敢テ難キニアラザルベシ而シテ香港ハ即チ南清地方ノ門口ニ位スルヲ以テ当地ニ雜貨貿易ヲ開カント欲スルモノハ自今宜シク贅沢品ヲ止メテ日常必需品ニ眼ヲ注グコト肝要ナルベシ然ルニ日本商人中尚ホ往々贅沢品ヲ輸出シテ奇利ヲ博セント試ムルモノアリ現ニ陶器銅器漆器類ヲ当地ニ持チ越シテ是ヲ競売ニ附シ直ニ帰国セルモノアリ是等ハ其売上高ヲ以テ往復ノ旅費ヲ購ヒ尚幾分ノ餘利アリテ自家ノ満足ヲ来スカハ知ラザレドモ其結果タルヤ既ニ此荷嵩ヨリナル市場ニ於テ益々日本品ノ声価ヲ落スノミ茲ニ最モ希望スル所ハ相応ノ資アル日本商人ノ手ニテ当地中央区ニ成ルべく大店ヲ借り受ケ勸工場ノ如キモノヲ設置シ其店内ニハ勿論高価ノ美術品ヲモ幾分展列シテ人目ヲ引クベキモ主トスル所ハ廉価ノ裝飾具ト日用必需品ヲ鬻ギ傍ラ廣ク日本製造者ヨリ依託販売ヲ引受ケ当地ニ於テ卸小売ヲナスニアルベシ目今当地ニ専ラ依託販売ヲ行フ日本店ナキハ一大欠点ト云フベシ勿論現ニ開キ居ルーニ日本商店ハ諸般ノ依託販売ヲ引受ケベキモ右商店等ハ各特殊ノ業務アルコトナレバ夫ノ雜貨商売ニ最モ必要ナル稠密ノ注意ト面倒ヲ厭ハザルノ事ニ至リテハ專業家ノ如キヲ得ザルヲ如何セン故ニ仮令領事館等ノ手ヲ經テ諸般ノ日本品ヲ試売シ其結果善シトスルモ当地ニアル買手ト本邦製造者トノ間ニ立テ周旋スルヲナキヲ以テ不便少カラズトス固ヨリ直接注文ノ法モアレドモ日本ハ製造者ハ海外事情ニ暗キ故カ直接注文ヲ受ケテ之レニ応ズルコト能ハザルノ例多シ之レ当地ニ日本雜貨店ヲ設クルノ必要ヲ感ズル所以ナリ今試ニ前記ノ如キ商店ヲ設クルノ費用ヲ左ニ掲ゲテ参考ノ一端トス

家賃（店ノ位置ハ西洋人支那人双方ニ便ナル地ヲ選ブ）一ヶ月	百弗
出張社員五名（仮リニ店ノ一隅ニ住ムトス）食料諸掛共一ヶ月	五十弗
支那番頭一人月給	三十弗
支那雇人二名月給六弗宛	十二弗
広告引札其他雜費	十五弗
毎日出費總高	二百七弗

明治二十四年三月調査

## 1.16 上海諸般ノ情況

### 1.16.1 （上海港ノ景況）

内ハ支那十八省ヨリ外ハ五大洲ニ至ルノ衣冠人物商賈農工粉黛僕隸ヲ驅テ一彈丸ノ地ニ集メ昼トナク夜トナク船舶往来シ冬トナク夏トナク物貨出入スルハ東洋第一ノ貿易場タル上海港ノ景況ナリ抑モ上海港ハ清国江蘇省松江府上海縣城ノ在ル所ニシテ英浦（一名申江ト稱ス相伝フ楚ノ春申君ノ鑿ツ所ナリト）吳淞兩江ノ会流スル所ニ在リ古禹貢揚州ノ城ニシテ周ノ時ノ吳ノ地ナリ当港ハ千八百四十二年彼ノ歴史上ニ有名ナル阿片戰爭ノ和議成リシ時ニ開キタル互市場ニシテ英浦ノ岸ニ沿ツテ吳淞江ニ至ル迄方一英里餘ヲ英租界ト云ヒ吳淞城外ヨリ洋涇浜迄ヲ法租界ト云ヒ黃浦ノ左岸長サ四里ノ地ヲ美租界又虹口ト云フ三租界共皆街衢広寬ニシテ縱横ニ通達シ大厦空ニ聳ヘテ層樓雲ヲ突キ各々豪ヲ鬪カハセ華ヲ競フモノ、如シ各国ノ領事府及ビ商行会社等皆此内ニ在リ而シテ其諸商行ノ店頭ニハ貨物ヲ安搬シテ買客ノ縦覽ニ供スルガ故ニ西洋雜貨ノ店ナドニ入ルトキハ貨物燦爛トシテ殆ンド人目ヲ眩セシム然レドモ是レ本通りノ景況ナリ若シ裏店ノ内幕ヲ窺フトキハ其狹隘ニシテ汚穢ナルコト実ニ名狀ノ限リニアラズ大抵裏店ハ支那人ガ始メトシテ五大洲ノ人民中最モ下等ナル種族ノ居留スル所ニシテ卑陋ナル長屋ノ内ヲ幾軒トモ仕切りテ其内ニ幾家族トモナク住居セリ若シ五大洲ノ風俗人情ヲ一眸ノ下ニ觀察セント欲セバ上海ニ遊シテ此裏店ノ内ヲ見ルニ若カズト或ル人ノ戲言ナレドモ實ニ穿チ得フ妙ナリト云フベシ而シテ日本人ノ住居スル所ハ多ク此域内ニアルヲ思ヘバ此地ニ留学セル余輩モ亦大ニ膺臂ノ縮マルヲ覺ヘタリ数年前迄ハ此内ニテ諒ヲ鬻ギ色ヲ売ルハ無廉恥女甚ダ少ナカラザリシ由ナレドモ今ハ其筋ノ取締嚴重ナルヲ以テ不行届ノモノト見ユルハ未ダ全く其跡ヲ払ヒ去ルニハ至ラザルモ大ニ減少セシゾ何程カノ仕合ト云フベシ



港口ノ兩岸ニハ船渠及ビ各種ノ製造場アリテ烟突ニ聳ヘ炭烟天ニ漲リ鍛鉄ノ響伐木ノ声殆ンド人ノ耳ヲ聳セシム其規模ノ宏大ニシテ其事業ノ繁盛ナルコト実ニ驚嘆ニ堪ヘザルナリ而シテ此等ノ事業ハ皆欧米人ノ管理スル所ニシテ此等ノ場所ハ皆欧米人ノ所有スル所ナリ嗚呼欧米諸国ノ海ニ無数ノ戦艦ヲ泛ベ陸ニ百万ノ兵士ヲ畜ヘ今ハ一國ノ独立ヲ保チ出デリ天下ノ衝ヲ争フモノハ其國豈ニ偶然ナランヤ

港内ハ頗ル広濶ニシテ自然ニ湾形ヲナス湾頭ニ沿フテ棧橋アリ県城小東門外ヨリ起リテ下海浦ニ至ル此内招商局及ビ太古怡和ノ兩行ハ局面最モ大ニシテ棧橋モ亦最モ多シ其他馬立師、麦辺及ビ我郵船会社モ亦共ニ棧橋アリ而メ郵船会社ノ棧橋ハ日本領事館ノ隣リ郵船会社支店ノ前ニ在リ汽船棧橋ニ着スルトキハ直ニ領事館頭ノ旭旗ヲ見ルヲ得ベシ凡ソ船舶ノ港ニ着スル時ニ当リ船内ノ雜沓スルハ各地皆ナ同一ナリト雖ドモ就中清國ノ諸港ニテハ其喧囂混雜実ニ名状スベカラズ一船埠頭ニ到ラントスルヤ何クヨリカ頭ハレ出デケシ弁髪ヲ頭ニ纏ヒ浅黄色ノ長袖ヲ被タル無数ノ役夫ハ天秤棒ト細繩トヲ持チ岸上ニ群レ立チ船漸ク岸ニ着ケバ先ヲ争フテ船内ニ乗入り船客ノ荷物ヲ運び出サントアセゲドモ埠頭ニハ檢繩ヲ張り容易ニ船内ニ近ケズ若シ繩ヲ切テ立入ラントスレバ船員繩内ニ在テ大ナル棒ヲ振り廻ハシテ之ヲ遂ヒ払ヒ払ヘバ又集リ集マレバ又払フ其五月蠅キコト言ハン方ナシ斯リテ船体全ク埠頭ニ着キ船員檢繩ヲ解クトキハ彼ノ無数ノ蠅社会ハ一時ニドット団ヲ造リテ闖入シ船客ニ迫リテ荷物ヲ運び出サンコトヲ求ム其喧囂雜沓殆ンド人声ヲ弁セズ此際船客ニシテ少シク不注意ナルトキハ往々行李ヲ持チ逃ゲラル、コトナキニアラズト云フ是レ支那ニ來ルモノ、最モ注意スベキ所ナリ又港内ニハ汽船碇泊スルコト常ニ七八十艘ニ下ラズ支那式ノ江航海船ハ大小数千艘輻湊シテ帆檣林立為メニ対岸ヲ見ル能ハズト云フモ敢テ過言ニアラザルヲ信ズルナリ

日本領事館ハ美租界ニ在リ日本人モ亦多ク此近

街ニ居留セリ

### 1.16.2 (居留地内ノ支那人)

清人ノ此居留地内ニ住居スルモノハ目今十五万許ニシテ各々種々ノ職業ヲ營メルガ内ニハ巨商家富十数万ノ資本ヲ擁シテ欧米ノ商人ト商業ノ衝ヲ争フモノモ亦少シトセザルナリ而シテ此徒ハ大抵廣東福建浙江ノ三省ヨリ出デシモノニシテ其氣象頗ル勇敢ニシテ大ニ他省ノ人民ニ異ル所アリ殊ニ廣東人ノ服装ハ男女トモ一種異様ノモノヲ用ヒ稀ニハ髪ヲ薙シ靴ヲ穿チテ洋服ヲ着シ一見日本人ニ異ナラザルモノアリノ故ニ日本人ニシテ深く内地ニ入ルトキハ往々廣東人ト誤認セラル、コトナキニアラズ蓋シ此三省ハ地皆海ニ瀕シテ夙ニ海外ノ交通ヲ開キシヲ以テ其風俗人情自ラ變化セシルモノナラシカ此等清商ノ營業ハ一々之ヲ窺ヒ知ルベカラズト雖ドモ思フニ鴉片洋布棉花人參茶海産物其他西洋雜貨等ヲ商フモノ最モ多キガ如シ元來清人ハ居留地内ニ居留スル権利アルニアラザレドモ千八百五十四年ヨリ六十年ニ至ルノ間県城及ビ蘇州ノ人民乱ヲ外人ノ保護ノ下ニ避クルモノ陸続トシテ絶ユルナク且ツ清官ノ収斂ヲ免ガレンガ為メ移住スルモノ多ク而シテ外人ハ其地価騰貴スルヲ利トシテ之レヲ峻拒セザルガ故ニ漸次其數ヲ増加シテ遂ニ今日ノ盛ンニ及ベリト云フ嗚呼政府ノ下ニ雨漏リテ我身ノ権利ト安全ノ保護ヲ托スルニ処ナク空シク外人ノ法律ノ本ノ下蔭ニ宿リスル清國民ノ身ノ上コソ憐レ墓ナキ次第ナリ

### 1.16.3 (居留日本人)

然レドモ願ミテ我国居留民ノ有様ヲ一見スルトキハ実ニ慨然涙ヲ垂レザルヲ得ザルナリ現今我國民ニシテ稍商估ノ体裁ヲ為スモノハ僅ニ三井物産会社支店郵船会社支店及広業商会出張店等ノ二三アルノミニシテ其他ハ売薬写真雜貨ノ小売旅舎又ハ雇人諸宿等ニ過ギザルナリ而シテ街上ヲ通行スルモノヲ見ルニ体貌矮陋ニシテ衣裝疎ニタルモノハ即チ我ガ同胞ナリ稀ニハ日本人ニシテ輕車ニ駕



シ肥馬ニ鞭ヲ揚ゲ馳驅スルモノアリ是レ豈ニ紳士ノ出遊ナラシカト仰ギ望メバ思ヒキヤ彼ノ三界ヲ股ニカケ諸方ヲ高飛シテ碧眼児ノ妾トナリ恥モ營モアラシヤメン□…□簿名ヲ取りシ女ナリ嗚呼日本ノ男子ヲシテ悉ク此ノ如キ婦人ヲラシメバ洋人ヲ股掌ノ間ニ弄スルコト豈ニ旋シトセンヤ呵々

#### 1.16.4 (某紳商ノ日清貿易談)

余一日当地ニ久シク居留セル我国ノ紳商某氏ヲ訪ヒ談偶々日清貿易ノ事ニ及ビシガ某氏曰ク我国商人ニシテ是迄往々当地ニ開店ヲ試シタルモノナキニアラザレドモ忽チ興リ忽チ負レ遂ニ能ク卓然樹立セシモノナシ是皆当地ノ事情ニ明ナラズシテ前後左右ノ分別ナク無闇ニ飛ビ出スノ致ス所ナリトハ云ヘ全ク資本薄弱ニシテ勞力足ラザルガ為メナリトス例令バ外人ガ一万ノ資本ヲ投ズル所ハ我国ノ商人ハ一千ニテ是レニ当ラントシ外国ガ一日ニテ為シ得ベキ事ハ我国ノ商人ハ二日ヲ費スト雖ドモ之レヲ為シアラズ是レ一時開店スルモノアリト雖ドモ優勝劣敗ノ数遂ニ失敗ヲ取ラザルヲ得ザル所以ナリ故ニ我国商人ニシテ其資本充分ニシテ其勞力外人ト抗敵スルニ足ルモノガ宜シク当地ニ開店シテ一勝負ヲ試ミルモ可ナリト雖ドモ其資本充分ナラズ其勞力外人ニ敵スルノ見込ナキモノハ当地ニ開店スルノ念ヲ起サンヨリハ寧ロ自國ニ在リテ盛ニ物産ヲ作り出スノ道ヲ講ズルニ若カザルナリト惘然トシテ物語タリ其言固ヨリ尋常ノ談ニ過カズト雖ドモ亦以テ我国商人ノ此地ニ勢力ナキヲ見ルベキナリ嗚呼上海ハ東洋第一ノ互市場ニシテ各國商估ノ競争場ナリ而ルニ其商業ノ実利ハ悉ク欧米人ニ占有セラレ其商業ノ実権ハ悉ク欧米人ニ掌握セラレ東洋ノ商估ハ徒ニ其殘物ヲ食シ其餘瀝ヲ啜ルニ過ギザルナリ假令山河未ダ割裂セラレズ貨財未ダ掠奪セラレズト雖ドモ豈ニ能ク東洋獨立ノ体面ヲ保ツモノト云フヲ得ベキヤ思フテ茲ニ至ルトキハ實ニ慷慨長歎ニ堪ヘザルナリ

#### 1.16.5 (上海京城)

上海京城ハ黄浦江ノ西岸ニ在リ周圍ニ里餘ニシテ郭門七ツアリ大東、小東、大南、小南、西川、老北、新北ト称ス城壁ハ煉瓦ヲ以テ之ヲ築ク高サ丈餘アリ城内ハ支那人ノ居住スル所ニシテ街路僅ニ一間餘ニ過ギズ其狹隘言フベカラズ加フルニ家屋卑陋ニシテ雜店相接シ塵芥堆ク積シテ臭氣鼻ヲ撲チ人ヲシテ殆ド逡巡進ム能ハザラシム余ハ一日城内ニ遊バント欲シ鏡ヶ江氏ニ同行ヲ求メシニ余ニ城内不潔ノ状ヲ語りテ余ノ遊行ヲ諫メ止メシモ恐ル、モノハ見タキモノニテ余ノ遊意動ジズトシテ止ムベカラザルヲ知り然ラバ香水ヲ買フテ手巾ニ漉ギ防臭ノ用意ヲナスベシト教ヘラレシカバ余ハ其言ニ從テ一壘ノ香水ヲ購ヒ同行ノ諸氏ト之レヲ分テ滴タラセ計テ手巾ニ漉ギテ□、行キシガ先ヅ仏租界ヲ經テ城門ニ入り行クコト未ダ數十歩ヲ過ギザル、早ヤ手巾ハ余ガ鼻ヲ扼シタリ凡ソ人ノ常ニ遊バザル地ニ遊バントスルトキハ必ず先ヅ其前遊ノ人ニ就キ其地ノ模様ヲ聞キ其境ノ風景ヲ問ヒ種々ノ想像ヲ胸中ニ齎ラシテ始メテ遊行ノ途ニ上ルモノニシテ余ノ城内ニ入ルトキハ其不潔ノ模様ト分量トハ鏡ヶ江氏ノ談ニヨリ略ボ予想セザリシニアラザレドモ其實地ノ斯クモ不潔ナラントハ實ニ夢ニダモ思ハザリシ所ナリ軒下ニ塵芥ヲ棄テ街上ニ乱溺スルハマダシモノコトニテ其甚ダシキハ一町内ニ共同雪隠ナルモノアリテ一町内ノモノ其便所ヲ共有ニスルコトナリソレトテモ蓋又ハ遮ギリ物ノアルトキハ猶可ナリト雖ドモ大抵ノ雪隠皆公開ニシテ一モ秘密ニ附セザルハ實ニ閉口ノ外ナキナリ且ツ城内ニハ良好ノ飲料水ナク居民ハ河水ヲ汲ミテ飲用水トナシ来レドモ河水ハ汚濁ニシテ其儘ニ飲料トナスベカラズ多クハ明礬ヲ加ヘテ之レヲ澄マシムルナリ故ニ給水者トテ河水ヲ汲テ販売スルヲ業トスル者アリ又湯ヲ沸カシテ一般ノ需用ニ応ズル者アリ市中ノ者ハ皆之レヲ買フテ飲料ニ供スルナリ斯ク不潔ニシテ不自由ノ境界ニ在リナガラ平氣ノ平左エ門ト濟マシ込ミ少シモ顧リミ陋ム色ナキハ支那人ノ持前ナリトハ云ヘ又以テ

習慣力ノ強大ナルヲ見ルベキナリ併シ習慣ハ道理ニ勝タズ毎年虎列刺病患者城内ニ発生スルトキハ其毒忽チ四方ニ伝播シテ其勢恰モ燎原ノ火ノ如ク容易ニ撲滅スベカラズト云フ彼等自カラ称シテ中華ト云フ中華ノ字ハ果シテ那邊ニ存ズルヤ聞カマホシキモノニゾアル

#### 1.16.6 (居留地ノ制度)

上海居留ノ各国人民ハ他ノ開港場ト同ジク皆其国々領事ノ直轄ニ属スルモノナリ而シテ居留地一般ノ取締ハ地方公会ナルモノアリテ租界条例ニヨリ之ヲ執行セリ租界条例ハ一千八百四十五年英国領事始メテ之ヲ制定シ爾後数回ノ改正ヲへ経テ完全ノ条例トナリシモノナリ而シテ地方公会ノ常務ハ分テ防務財務警務工務ノ四種トナシ其職員ハ毎歳一月家租三百兩以上ノ戸主又ハ地価一千兩以上ノ地主之ヲ選挙シ九名ヲ以テ定員トス又仏租界ノ地方公会ハ一千八百六十二年始メテ之ヲ設立シ仏人四名外人四名ヲ以テ之ガ議員トナシ而シテ其選挙ハ毎二年ニシテ其半数ハ毎年更迭スル法ナリ選挙権ヲ有スルモノハ租界中ノ地主及ビ家租一千仏銀ヲ納ムル戸主又ハ四千仏銀ノ歳入アル者ナリトス故ニ兩租界殆ド選挙権ヲ有セザルモノナキガ如シ議員タルベキモノハ英仏兩租界共地価五千兩以上ノ地主又ハ家租五百兩以上ノ戸主ニ限レリト云フ故ニ上海居留地ノ取締ハ殆ド一ノ共和政体ニ似タルモノニシテ更ニ他ノ牽制ヲ受ケザルナリ嗚呼彼ノ洋人ノ此地ニ在ル猶寄生動物ニ異ナラズ然ルニ人ノ土ニ住ミ人ノ土ニ食ヒ朝ニ牙籌ヲ授ケテ利ヲ市上ニ争ヒタニ美姫ヲ携ヘテ月ヲ「ガーデン」ニ賞シ貨殖風流兩ツナガラ之ヲ掌握ス彼等ノ住ム所ハ真ニ是レ自由楽郷ナルカナ人間到處有青山ト此句真ニ人ヲ欺カザルナリ

#### 1.16.7 (徐家匯天主堂及ビ仏蘭西学校)

清国ニハ百餘年前ヨリ天主教師渡来シテ大ニ其力ヲ用ヒシモノト見ヘ現今江南ノ一方ニテモ其教ノ伝播ヲ図ラザルナシ而シテ其最モ大ニシテ最モ

盛ナルモノヲ徐家匯ノ天主堂公学ト美租界ノ仏蘭西学校トス兩校共ニ仏人ノ設立スル所ニシテ其教師ノ如キハ常ニ相往来シテ共ニ画策ヲ同クスルモノ、如シ余一日徐家匯天主堂ニ至ル徐家匯ハ上海県城ノ西里餘車馬ヲ馳ルトキハ頃刻ニシテ達スベシ公学ニ日本人士橋某ナルモノアリト聞キ面会ヲ求メテ案内ヲ頼ミ入レタリ某ハ東京ノ人ニシテ数年前ヨリ此地ニ留学シ姓名ヲ変ジテ高安仁ト呼ビ弁髪シテ支那服ヲ着テ一見宛然タル清人ナリ某ノ懇切ナル案内ニ従ヒ教堂学校、天文台、育兒院等ヲ巡覽シタリシガ孰レモ皆宏大ノ仕掛ケニテ見ルトシテ目ヲ驚カシ神ヲ動カサルモノナシ蒼卒ノ際同堂設立ノ紀元ト来歴トヲ聞クコトヲ忘レタリシハ誠ニ遺憾ナルコトナカリシガ現在模様ニ就テ之ヲ推測スルニ蓋シ数十年前ニ起リ幾多ノ難境ヲ経過シテ遂ニ今日ノ盛ヲ致シタルモノナラシカ教堂ハ正門ヲ入りテ直ニ行キ当リタル所ニアリ学校ハ分レテ二トナリ甲ハ教堂ノ周囲ニ在リ乙ハ教堂ヨリ数十間ヲ隔テタル所ニ在リ甲ハ学業ヲ教ユル所ニシテ乙ハ職業ヲ授クル所ナリ生徒ハ六七歳ヨリ二十四五歳ニ至ル尤モ職業学校ノ方ニテハ間々三十餘歳ノモノアルヲ見受ケタリ甲ノ学校ニテハ漢学及ビ外国語学ノ二科ヲ授ケ其学資ハ生徒ノ自弁アリ又学校ヨリ之ヲ給スルアリ聞ク所ニヨレバ同校ヨリ出デ、郷試ニ応ジ秀才ヨリ拳人ニ拳ゲラレシモノ甚ダ少ナカラズト云ヘバ其根底ノ清土ニ盤ルハ思フニ必ズ遠キニアラザルベキカ乙ノ学校生徒ハ皆幼ヨリ学校ノ為メニ鞠育セラシタルモノニシテ各々其才ノ有ル所ニ従テ事業ニ服スルモノト見ヘ大工アリ左官アリ或ハ彫刻スルモノアリ或ハ絵画スルモノアリ裁縫スルモノアリ印刷スルモノ製本スルモノ皆堂ヲ異ニシ部ヲ分ケテ孜々勉強セザルモノナシ而シテ其彫刻ナリ絵画ナリ裁縫ナリ印刷ナリ製本ナリ皆技術ニ精巧ニシテ作業ニ手広ク四方ノ要求ニ応ジテ之ヲ売出スモノ実ニ莫大ナリト云フ其収ムル所ノ全ハ他ノ教育費ニ充フルナラシカ教師ハ皆仏ノ宣教師ニテ支那服ヲ着テ弁髪ヲナス勉メテ其俗ニ従ヒ其教ヲ布クノ状歴々見



ルベシ天文台ハ教堂ノ門前ニ在リ仏人一名之ヲ管  
ス余等ノ至ルヲ見テ頗ル喜色アリ鑰ヲ貸シテ其氣  
象台及ビ機関室ヲ巡覽セシメタリ」

育児院ハ職業学校ノ前ニ在リ清人ノ女兒ニシテ  
棄子孤兒及ビ貧家ニ生レ養育スル能ハザルモノヲ  
拾ヒ上ゲテ之レヲ鞠育スル所ナリ院中ニ養ハル、  
モノハ二歳位ヨリ二十歳ニ至ル其数百餘名トモ覺  
シク年齒ニ從ヒ居室ヲ異ニシ幼弱ノモノニハ一人  
若クハ二人ノ褌姆ヲ附ス褌姆モ亦院内ニ生長シタ  
ルモノナリ教育者ハ皆仏ノ尼ニシテ熱心ト親切ト  
ノ情拳動ノ上ニ溢ル、ヲ覺ヘタリ余等ノ同院ニ至  
リシ時ハ正ニ午前十一時頃ニシテ午餐前トモ覺シ  
ク十二三歳ヨリ二十餘歳ニ至ルノ女子ハ各々一室  
ノ内ニ集マリ基督ノ像ニ向ヒ贊美歌様ノモノヲ声  
高ラカニ唱ヘツ、アリ又幼兒ハ竹ニテ作りタル最  
モ細カナル椅子ニ憑□…□何カ戯レツ、アリシガ  
尼ノ余等ヲ導キ至ルヲ見テ皆一齊ニ椅子ヲ離シ尼  
ニ向テ腰ヲ屈シ拝礼ヲナシ交々来リテ尼ノ胸間ニ  
吊シタル十字架ヲ吸ヘリ其状殆ンド慈母ノ傍ニ在  
ルガ如シ思フニ素訓ノ深く行キ届クニアラザレバ  
決シテ此ノ如キニ至ルヲ得ザルナリ而シテ甲乙ノ  
学校ナリ育児院ナリ各室ノ出入口ニハ基督ノ像及  
ビ天主教ノ為ニ斃レタル人々ノ像ヲ掲ゲ仰ギ見ル  
モノヲシテ肅然景望尊崇ノ念ヲ起サシム此内ノ生  
徒ニシテ出入之レヲ仰望スルモノ基督ノ事ヲ思ヒ  
出サバラシトスルモ豈ニ得ベケンヤ其意ヲ薰陶ノ  
上ニ用ユルコト実ニ深ヒ哉」

天文台ノ傍ニ一屋アリ博物学教師ノ住スル所ナ  
リ教師ハ歳六十トモ覺シク粗末ナル支那服ヲ着シ  
粗末ナル白帽ヲ蒙リ宛然博物学界ニ逍遙シテ世間  
ノ塵俗ヲ超脱セルモノ、如シ余等ノ至リシトキハ  
偶々数十頭ノ鹿ヲ放チタル園内ヲ逍遙シツ、アリ  
シガ余等ニ鑰ヲ貸シテ其室ニ入り其内ニ陳列スル  
所ノ博物品ヲ見セシメシニ大ハ象及ビ鯨ノ骨ヨリ  
小ハ貝蟲ノ干物ニ至ルマデ珍禽奇獸異人ノ怪蟲一  
モ網羅授業セザルナシ其数殆ンド幾万タルヲ知ル  
ベカラズ皆棚ヲ架シ箱ヲ設ケ掩フニ硝子板ヲ以テ  
ス排列井然一々歴覽スベシ思フニ此ノ如キ多数ノ

標品ニシテ若シ一々金ヲ費シテ是レヲ購求シタル  
□…□定メテ少々ノ費用ニアラザルベシ而シテ此  
多数ノ標品ハ皆此博物学師ノ独力網羅セシ所ニシ  
テ嘗テ他ノ補助ヲ受ケザリシ由ナク物ハ其好ム所  
ニ集マルモノナリト云フ其採集ノ艱難豈ニ輕少ノ  
事ナランヤ要スルニ一境ハ一境ヨリ一番ハ一番ヨ  
リ見ルモノヲシテ感動置ク能ハザラシムルモノハ  
此徐家匯ノ天主堂ナク若シ我國仏教者及ビ教育家  
ヲシテ之レヲ一覽セシメバ其感ノ深淺定メテ如何  
ゾヤ

又一日米界ノ仏蘭西学校ニ至ル校舍ハ長サ三四  
十間横八九間トモ覺シキ四層ノ高厦ニシテ教場寢  
室食堂遊戯場等皆井々区画アラザルナリ其万事ノ  
善ク整頓シタル様ハ以テ其教育ノ完備ニシテ校運  
ノ盛大ナルヲ想見セラレタリ

#### 1.16.8 (纏足ノ風)

支那ニハ奇異ノ風俗種々アルガ中ニ婦人ノ足先  
キノ細キ程外国人ヲシテ驚嘆セシムルモノハアラ  
ザルナリ元來清國ノ風俗ハ婦人ノ足先ノ細キヲ尚  
ブガ故ニ父母ハ女子ノ幼少ノ時ヨリ最小ナル履ヲ  
穿タテ緊シク其足先キヲ縛リテ之レヲ灣屈ナラシ  
メ其小ナルヲ以テ人ニ誇ルナリ故ニ此風ノ尊貴ナ  
ル者ニ從フテ益々甚ダシク有官或ハ富豪ノ婦女ハ  
往々数人ノモノニ助ケラレ僅々歩行スルヲ得ル位  
ナリ楚王細腰ヲ愛シテ宮中餓死スルモノ多カリシ  
ト云ヘリ聞ク此風ハ南唐李後主ノ時ニ起リタルモ  
ノニシテ馴致シテ清朝ノ世トナレリ一時令ヲ下シ  
テ之レヲ嚴禁シ犯スモノハ辺地ニ竄謫スルノ法ヲ  
立テシモ從テ謫スレバ從テ犯スモノアリ遂ニ如何  
トモスル能ハザルニ至リタリト云フ蓋シ因襲ノ久  
シキ牢トシテ破ルベカラザルモノナルベシ

#### 1.16.9 (罍片)

罍片烟ノ人ヲ害スルコト洪水猛獸ノ害ヨリモ甚  
ダシ若シ之ヲ吃スルトキハ精神ヲ糜シ身体ヲ損ヒ  
遂ニ死ニ至ルモノナリレドモ一タビ之ヲ喫スルト  
キハ亦廢スベカラズ若シ之ヲ廢スルトキハ神氣不

快ニシテ却テ身神ノ衰弱ヲ致スガ故ニ一タビ其毒淵ニ溺ル、モノハ復タ自カラ脱スルヲ得ザルナリ而シテ清朝ノ姑息敢テ之ヲ禁ズル能ハズ清民ノ昏暗敢テ之ヲ廢スル能ハズ多ク之ヲ吃スルモノハ一ヶ月七日以上十五日餘ヲ費スモノアリ而シテ之ヲ喫スル者ハ独リ無知ノ賤民ノミナラズ現ニ清国ニテ學問文書ノ聞ヘ高キ王紫詮ノ如キモ亦此ノ毒ニ罹リ自カラ改ムル能ハズト云フ浩落タル四百州行ク々々將ニ毒烟ノ瀰漫スル所トナラントスルカ

#### 1.16.10 (教育法)

清国ニハ完全ナル教育法アルニアラズ今現行ノ者ニ就テ之ヲ言フトキハ概子試ニ応ジタ官ヲ求ムルノ準備ヲ為メニ外ナラザルモノ、如シ蓋シ清国ノ制ニテ仕官ノ途ハ只郷試ニ応ズルノ一条アルノミ稀ニハ試験ヲ經ズシテ仕籍ニ上ルモノナキニアラズト雖ドモ是レ正途ニアラズシテ変則ナリ而シテ其試験ナルモノハ郷試会試殿試等ノ諸階アリテ皆漸次之ヲ經歷セザルベカラズ又試験ノ科目ハ詩文論策ノ三者ニシテ三者ニモ各一定ノ格法アリ決シテ之ヲ乱ルベカラズ故ニ師モ此標準ニ從フテ教育ヲ施シ子弟モ亦此標準ニ從フテ教育ヲ受ケ区々文字章句ノ間ニ拘泥シテ一モ活眼ヲ開キ活書ヲ講ズルモノナシト云フ今其学制ノ大略ヲ聞クニ各府州縣各数名ノ學官ヲ置キ管内ノ書生ヲ督シ兼テ後進ノ誘導ヲナサシメ其外各地ニ書院ヲ設ケ名士ナルヲ院長トナシ書生ヲ集メ人材ヲ養シメ又殊ニ下民ノ化シ難キヲ慮リ州縣城邑ニ宣講堂ナルモノヲ設ケ郷紳ヲ聘シ時々人民ヲ集メテ聖諭広訓十條ヲ講説セシメ愚民ヲシテ其適從スル所ヲ知ラシム然レドモ是レ徒ニ虚礼ニシテ実効アラザルナリ各府州縣ノ儒官教官ハ皆國家ノ俸ヲ食シ管内ノ士女ヲ卒勵シ其學術優等ナルモノニハ廩米ヲ給シ以テ之レヲ勵マス又各地ノ書院ニ至テハ書生ハ皆院内ニ寄宿スルコトニテ院長ハ期ヲ按シ題ヲ課シテ諸生ノ優劣ヲ考シ其優等ナルモノニハ院ヨリ學資ヲ助ケテ之ヲ勵マス又院長ノ給料ハ該管ノ地方官ヨリ之ヲ給与ス而シテ院中ノ諸費ハ地方郷紳ノ義捐ヲ

募リテ其用ニ充ツ又地方官ハ必ズ之ヲ保護シテ其事ヲナサシムベキ責ヲ負フモノナリ而シテ概子皆義捐金ヲ以テ學田ヲ購フ學田ハ國租ヲ免スルモノトス讀書學堂ニシテ初學ノモノニ入門スル所ヲ蒙館ト云ヒ小児ノ初メテ學ニ就カントスルモノハ贊儀ヲ携ヘ塾ニ至リ先生ニ謁シ香燭ヲ燒キ孔子ヲ拝ス初メニハ百家姓及ビ三字經ナドヲ讀ミ次ニ四書五經ノ讀法ヲ學ビ必ズ之ヲ暗誦スルコトトシ傍ラ書法對句等ヲ學バシメ漸次書義ヲ解スルニ至レバ八股ノ時文ヲ學ブ富貴ノ家ニテハ其子弟ノ為メニ別ニ師ヲ延キ專ラ教育ヲナサシムルモ通常ノ蒙館ニテハ每塾十人乃至二十人ノ生徒アリ是皆學業未熟ニシテ其志ヲ得ザルモノ輩ガ自ラ糊口ノ為メニ設ケル所ナリ毎年端陽仲秋及ビ年節等ニハ弟子タルモノヲ師ニ贈ル其多少同ジカラズ又義學ナル者アリ其設立ハ郷中ノ紳士ヨリ成リ專ラ官民ノ寄付金ヲ以テ之ヲ維持ス其先生ノ節禮ヨリ學生ノ筆墨書籍ノ類ハ皆學堂ヨリ之ヲ給与ス是レ專ラ無資ニシテ課讀スルニカナキモノ、為メニ設ケタル所ニシテ其課程ハ百家姓及ビ四書ノ讀法等ニ過キザルナク又經館ナルモノアリ前者ヨリハ遙カ高尚ノモノニシテ知名ノ士ヲ聘シテ之レガ師トナシ專ラ經義ヲ講ジ時文時賦ヲ改刪セシム概子毎月三八ノ日ヲ以テ作文作詩ノ課程トス生徒ハ大抵通學ナレドモ間々寄宿スルモノアリ既ニ經籍文理ニ通曉スレバ歲考トテ試験アル時期ヲ待テ府考ノ試験ニ応ズ之ヲ童試ト稱ス府考ヨリ府考ニ至リテ終ル期ニ至レバ學政(各省皆各考主管ヲ設ケ學政ト稱シ試験ヲ司ラシム)全省各府ヲ巡リ以テ考試ヲ舉行ス府考ニ及第スレバ之ヲ士子ト為ス學生ノ新ニ及第スルモノアレバ其先生ハ數十兩ノ謝金ヲ受ク是レ即チ先生教育ノ勞ヲ謝スルノ意ナリ此童試ヨリ郷試會試殿試ヲ經ルトキハ秀才舉人進士翰林院等ノ學位ヲ得ルコトニテ仕官スルモノハ皆其支度ニ汲々トシテ又他ヲ顧ミルノ暇ナシ故ニ其孜々トシテ誦讀スル所ノモノハ古人ノ詩賦文章ニシテ其講究スル所ハ經義ノ異同ナリ歷代ノ史當朝ノ政ノ如キニ至テハ朦々トシテ一モ知ラザルモノアリト云



フ昔ハ秦皇書ヲ焼テ天下ノ民ヲ愚ニセント欲シ今ヤ清朝時文ヲ以テ天下ノ民ヲ愚ニス其手段同ジカラズト雖ドモ其意肯ノアル所ヤ一ナリ然レドモ此ノ如キ書生ニシテ湍々人ノ上ニ立チ治民ノ職ニ当ルコトトセバ其施ス所ノ政略モ亦タ推シテ知ルベキナリ清朝ノ人ヲ愚ニスルモノハ即チ自ラ愚ニスル所以ナルカナ

### 1.16.11 (農工商子弟ノ教育)

農商ノ子弟ニ至テハ文祖ノ通伝ニヨリ幼時ヨリ各其業ヲ学習セシム即チ農ハ家ニ在リテ父兄ヲ助ケ以テ漸々其事ノ全体ヲ會得セシメ商ノ如キハ幼時ヨリ之ヲ他ノ商店ニ托シ之レヲシテ漸々其業ノ方ヲ学バシム之ヲ学徒ト称ス学徒既ニ商業ノ方へ通ズレバ各其主店ヲ辞シテ家ニ歸リ父兄ヲ助ケテ業ヲ営ムモノトス然レドモ若シ其学徒ノ家貧ニシテ自カラ商賈ヲ営ムベカラザルモノハ猶其主店ニ在テ商業ニ従事シ毎月数回一兩ノ俸給ヲ得漸次之レヲ積立テ他日自カラ独立ノ業ヲ営ムノ地トナス工ノ如キモ商ト同ジク一事一業ヲ学バント欲スルモノハ必ズ幼時ヨリ工廠(工師ノ家)ノ主ヲ拜シテ師トナシ其業ヲ受ク業已ニ成レバ去テ独立業ヲナスモ留テ師ニ仕へ多少ノ俸給ヲ受ケテ他日ノ計ヲナスモ皆勝手ナリス最モ感ズベキハ農商子弟ノ儲蓄心ニ厚キコト是レナリ支那人ノ風トシテ一般ニ利ヲ見テ義ヲ忘レ錢ヲ愛スルコト身命ヨリ重キガ如キハ実ニ慨スベキ鄙ムベキコトナガラ一ヨリ之レヲ見ルトキハ支那人ノ商機ニ敏クシテ貨殖ヲ致ス所以ノモノハ亦此貪利ノ心盛ニシテ儲蓄ノ念厚キニ出デズレバアラズ而シテ此風延テ其少年子弟ヲ薰陶シテ漸ク儲蓄ノ念ヲ養成スルヲ以テ内ニ在リテハ一金ノ微モ敢テ漫リニ贅スコトナク外ニ出デ、バ必ズ手ヲ空シテ歸ルコトナク寸積毫蓄シテ遂ニ一身ノ独立ヲ為スニ至ルモノ皆是レナク儲蓄心ニ厚キ一事ハ何卒我國ニモ移植シテ上下一般ノ風習トナシタキモノナリ

## 2 在清見聞録 第二

### 2.1 匪情一斑

#### 2.1.1 哥老会ノ起原目的人員所在及其組織

抑モ同会ノ起原ハ其来ル甚ダ遠カラズ今ヲ距ルコト□□四年前髮逆ノ乱始メテ平ギ天下ノ事漸ク定マルヲ以テ臨時募集ニ係ル常額外ノ兵勇ヲ解散シ武弁ノ冗員ヲ沙汰セシ後是等ノ輩中無頼定業ナキノ徒窮困不平ノ餘遂ニ此会ヲ創設セシモノニ係リ初メ四川ニ至リテ英雄会ト称シ後改メテ哥老会一名江湖会ト云フ其目的タル現政府ヲ顛覆シ一新政ヲ行ハントスルニ在リ其当初ニ在ツテハ其数約一千以内ニ過ギザリシガ年一年漸ク蔓延シ今ヤ已ニ長江以南ノ各省ニ瀰リ総員殆ンド四十五万乃至五十万ノ多キニ至レリト云フ其巢窟トスル所ハ福建省ニシテ其所在地方中ノ黨員ノ最モ多キハ福州、延平、汀州、漳州、建寧ノ諸府、之ニ亜グモノヲ江西、湖南、湖北、安徽、江蘇ノ諸省トス而シテ同会ノ組織タル每地方ニ一團ヲ編ム團ハ大小同ジカラズ小ハ三十人ヨリ大ハ五六千ニ至リ其席序ヲ定ムルヤ皆長幼尊卑ヲ論ゼズ唯衆人ノ推ス所ヲ以テ兄長トシ逐次投票ノ数ニ応ジ多キヲ兄トシ少ナキヲ弟トシ更ニ各團ヲ集メテ一大團ヲ成ス而シテ之レヲ十個ニ分チ名ケテ頭排、二排、三排、五六八九十排公排滿排ト云フ會中四七ノ二字ヲ忌ミ易充ニム滿ノ二排ヲ以テ頭排ノ稱シテ大哥或ハ帽頭ト云ヒ自ラ稱シテ座堂太爺ト云フ頭排中又聖賢太爺明正太爺ナルモノアリ二排ヲ陪座太爺三排ヲ当家三爺五排ヲ管事五爺六爺ヲ紅旗六爺ト称シ八九ノ二排ヲ閑排ト云ヒ而シテ十排及ビム滿ノ二排ヲ小賢ト云ヒ専ラ使役ニ供ス一事アル毎ニ功ヲ論ジ賞ヲ行フ賞ハ昇排罰ハ斬杖隆革ニシテ每團適宜ノ地ヲ選ンデ集會盟約ノ処トス其不便ノ地ニ在テハ堂ヲ建テ神ヲ祭り名ケテ忠義堂或ハ精義堂ト云フ水滸伝ニ所謂志士梁山ニ忠義堂ヲ建テ、衆ヲ集ムル所トナスト蓋シ之ニ倣フナリ初メ締盟ノ時ハ血ヲ啜リ神ニ誓ヒ各一紙ノ結盟書ヲ帶ブト云フ同会中又別ニ一種ノ言語ヲ作り暗号ヲ以テ互ニ

通報シ以テ機事ノ漏洩ヲ防グト云フ又同徒ニハ起居飲食等ノ其動作ニ一定ノ規矩アリテ党外ノモノハ之ヲ解得スル能ハザルモ其黨員中ニ在ツテハ一見直ニ之レヲ認シ得テ以テ氣脈ヲ通ズルノ便トナス蹤跡甚ダ奇秘ニシテ其実情ヲ端睨スルニ最モ困難ナリト云フ聞ク哥老会ニ四大欠点アリ曰ク目的確實ナラズ曰ク統領其人ナシ曰ク約束嚴明ナラズ曰ク順序其宜シキヲ得ズト今左ニ這回長江沿岸ノ暴動ニ於ケル被害地及ビ其景況ノ全豹ヲ記シ読者ノ参考ニ資ス

### 2.1.2 揚州府（五月二日）

江蘇省ニ屬シ府ハ長江ヲ隔テ鎮江府ト対立ス天主堂ハ其府城ノ欠口ニ在リテ聖母堂ヲ流水橋ニ分設シ伝教師ハ皆此処ニ居ル五月二日五六千ノ暴徒聖母堂ヲ圍ミ門戸牆壁ノ嫌ナク之レヲ毀壞シ今ヤ將ニ本堂ヲ毀サントスル時地方官兵ヲ率ヒテ彈圧セルヲ以テ大事ニ至ラズ鎮定セリ

### 2.1.3 蕪湖（五月二日）

安徽省ニ屬シ長江一帯鎮江九江ト同ジク通商埠頭ナリ天主堂ハ江口横街ニ在リ設立以來三年ニ過ギズト雖ドモ規模洪大安徽全省同教ノ領袖ニシテ施医院其他女学校ヲ設ケ読書裁縫等ノ事ヲ教授頗ル其他ノ人民ノ尊重ヲ得タリト云フ然ルニ近頃大一種万厭ノ流言流布セリ其言ニ曰ク伝教女師等ハ魔薬及ビ妖術ヲ用ヒテ幼兒ヲ迷拐シ甚シキニ至テハ眼球ヲ抜き胆ヲ取り以テ自国ニ送り貴重ノ藥料ニ供スト其言固ヨリ無根ノ誣謠ニ過ギズト雖ドモ其人民ノ愚昧ナル一唱百和轉瞬ノ間相集ル者一万餘人遂ニ五月十二日ヲ以テ暴徒等ハ吶喊シテ教堂及ビ教師ノ住屋ニ逼リ飽迄什器財貨ヲ掠奪シ終ニ火ヲ放ツテ之ヲ燒尽シ延テ英国領事館及ビ税関ニ及ボシ大ニ暴煽ヲ逞フセシヲ以テ領事及ビ居留外人悉ク江中ノ蘆船（一種ノ船ヲ以テ棧橋ニ代スル者）ニ至リ難ヲ避ケタリト云フ幸ニ地方官ノ防圧ト米仏兵艦ノ警備ニ因リ四日間ニシテ全ク鎮定セリ此役ヤ天主堂及ビ同堂ヨリ建設セル貸屋等ヲ

燒ク毀シタルヲ以テ其財産凡ソ二十萬元ノモノヲ烏有ニ帰セリト云フ

### 2.1.4 和州（五月十五日）

安徽省ニ屬ス五月十五日暴徒数百人天主教堂ニ逼リ其附属平屋一棟ヲ破壊シ將ニ大ニ猖獗ヲ逞フセントセシモ地方官兵ヲ率ヒテ現場ニ臨ミ主唱者十七人ヲ拘引セシヲ以テ直ニ鎮定セリ

### 2.1.5 安慶府（五月十六日）

安徽省ノ首府ニシテ城ハ長江ノ北岸ニ在リ開港場ニアラズト雖ドモ商賈群集内地貿易繁盛ノ処ナリ而シテ天主教堂ハ府城ノ東門内ニ在リ蕪湖ノ變後謠言百出人皆之レヲ信ジ遂ニ五月十六日数千人群集シ將ニ大事ニ及バントスルノ際恰モ善シ地方官之レヲ警防スルニ遇フテ禍ヲ未幾ニ鎮圧セリ

### 2.1.6 寧国府（五月十八日）

安徽省ニ屬ス天主堂ハ府東大街ニ在リ五月十八日教堂ニ於テ説教ノ際聽衆俄然蜂起シ咄嗟ノ間堂中ノ什器裝飾ヲ毀碎シ尽クシ將ニ大事ヲ惹起サントスルヲ見テ伝教師ハ蒼皇逃シテ地方衙門ニ至リ救護ヲ乞ヒシヲ以テ地方官即時出兵漸ク無事ニ鎮定スルヲ得タリ

### 2.1.7 広徳州（五月廿三日）

安徽省ニ屬ス五月二十三日匪徒アリ民家ノ児屍ヲ掠メテ同地ノ天主堂ニ至リ之ヲ寸断シ揚言シテ曰ノ教師等民家孩兒ヲ掠メ其目ヲ決リ其心ヲ剖クト是レニ於テカ大ニ民心ヲ激動シ郡民数千教堂ノ前ニ蝟集シ將ニ会堂ヲ燒毀セントスルノ際地方官出兵シテカヲ彈圧ニ尽クセルヲ以テ幸ニ未萌ニ鎮静セリ

### 2.1.8 江寧府（五月二十五日）

江蘇省ノ省会ニシテ一名金陵ト云ヒ所謂南京府是レナリ城ハ長江ノ南岸山ヲ包ミ規模宏壯古來王者ノ都スル処タリ天主教耶蘇教ヨリ共ニ之レニ附



属セル医院学校アリ皆府城漢西門一帯ノ地及ビ乾河沿岸ニ散在ス五月廿二三日ノ間謠言糾紛府城各処ニ匿名ノ貼紙ヲナシ教堂ニ向テ穩ヤカナラザル模様アルヲ以テ各教ノ宣教師ハ大ニ恐レ五月廿四日ニ至リ汽船ニ搭シ上海ニ帰レリ独リ「マーリン」氏其地ニ留マリ総督衙門ニ至リ具サニ不穩ノ状況ヲ陳ベ保護ヲ求メシニヨリ総督劉坤一氏ハ直ニ城守營及ビ親軍左右營保甲口ニ令ジ翌廿五日ニ於テ部署ヲ定メ各教堂ヲ保護セシメタリ時ニ乾河沿岸一帯ノ地ニハ数千ノ暴徒教堂附近ノ処ニ群集シ騷擾湧クガ如ク將ニ暴挙ヲナサントセンガ營兵及ビ文武ノ官吏齊シク来リテ彈圧シ巨魁四人ヲ捕縛セシ為メ餘党漸ク解散シ幸ニ大事ナキヲ得タリ

#### 2.1.9 丹陽県 (六月二日)

江蘇省ニ属シ天主堂ハ県城内ニ在リ明末ノ建立ニ係リ年ヲ経ルコト茲ニ三百餘年男女学堂アリテ之レニ属セリ六月二日午後四時多数ノ悪徒教堂前ニ麤集シ大ニ滋擾ヲ逞フセシ後火ヲ放チ焼燼セリ依テ県令直ニ兵ヲ派出シ鎮圧ニ尽力セシモ衆寡敵セズ官兵遂ニ暴徒ニ敗ラレ營兵重傷ヲ負フモノ数名是ニ於テ策ノ出スベキナリ鎮江府ニ飛電シテ援ヲ請ヒシガ道台黃氏ハ急ニ保甲総局ニ令ジ營兵一哨ヲ遣ハシ之レヲ援ケシメシヲ以テ漸ク鎮定スルヲ得タリ

#### 2.1.10 武穴鎮 (六月六日)

湖北省ニ属ス未ダ開港埠頭ニアラズト雖ドモ商賈雲集地ナリ同地ノ教堂ハ英国宣教師ノ管スル所ニシテ建立以來二十八年ヲ経信徒ノ数モ数万ニ至リシカ一旦安徽江蘇ノ各地ニ於テ無稽ノ流言アリ且ツ教道ヲ燒毀スルコト此地ニ伝播シテヨリ民心俄ニ激昂シ大ニ不穩ノ非ヲ示シ六月五日ニ至リ經正愈惡シテ揚言スルモノアリ曰ク天主教道ニ於テハ幼児ヲ殺シ目ヲ抜キ肝ヲ取ル之レヲ本国ニ送ルト是ニ於テ一呼百応指顧ノ間聚スル者二千餘人翌六月午前二時暴徒吶喊シテ教堂ヲ襲ヒ門ヲ毀チテ乱入シ家什器具悉ク掠奪シ乱暴狼藉至ラザルナシ

三名ノ女教師ハ重傷ヲ負ヒ辛フジテ後門ヨリ遁レ鴉片館ニ潜ミテ難ヲ避クルコトヲ得タリ是ニ於テカ暴徒火ヲ教堂ニ放チ煙焰天ヲ焦ガス此時武穴近傍某山ノ養病室ニ在リテ治療中ノ伝教士某ハ漢口税関出張ノ一名ト共ニ教堂ノ焰炎ヲ見テ忽チ馳セテ救援ニ赴キシガ途中暴徒ノ為メニ乱撃セラレ即時地上ニ暈倒セリ一悪徒ヨリ一大石ヲ抱テ之ガ首上ニ猛墜シ頭骨粉碎シテ死セリ一名ノ税関吏ハ重傷ヲ負フテ巡司衙門ニ至リ救ヲ乞ハントセシガ途ニシテ暴徒ニ捕ラヘラレ眼球ヲ挾出セラレテ即死セリ龍潭巡檢鄒某モ鎮圧ノ為メ現場ニ出張セシガ却テ暴徒ノ傷クル所トナレリト而シテ紛擾凡ソ七時間ニ亘リテ乱民始メテ四散シ鎮静ニ歸ス是ニ於テ曩ノ鴉片館ニ潜ミシ三名ノ洋婦人ハ小児ヲ携ヘ汽船德興号ノ漢口ニ上ルニ逢ヒ之レニ接シテ漢口ニ着キシ直ニ右暴行ノ情形ヲ詳カニ英領事ニ訴ヘシガ領事ハ直ニ道台ノ手ヲ経テ総督ニ照会セシヲ以テ総督張之洞ハ委員ヲ選ビ武穴ニ派シ擾乱ノ顛末ヲ取調ベシタリト云フ

#### 2.1.11 九江府 (六月七日)

江西省ニ属シ城ハ長江ノ南岸ニ在リ城外ハ則チ通商埠頭ニシテ五方雜処商業繁盛ノ地ナリ天主教堂ハ城郭ノ外ニ在リ耶蘇教堂ハ城内ニ在リ六月七日ノ夜悪徒蜂起シ天主堂ヲ襲撃セントセシモ居留洋人銃器ヲ携ヘ防禦セシニ該地碇泊ノ仏米独三艘ノ兵艦アリテ水兵ヲ上陸セシメ大ニ威嚇セシヲ以テ幸ニ未然ニ鎮静ニ帰セリ

#### 2.1.12 無錫県 (六月八日)

江蘇省蘇州府ニ属ス天主教堂ハ県城北門外ニ在リ育嬰堂ヲ附隸ス規模壯宏夙トニ江蘇全省各教堂ノ巨臂ト称セリ然ルニ六月八日悪徒蜂起教堂育嬰堂及ビ教師ノ住宅ヲモ併ヒテ之レヲ燒燼セリ

#### 2.1.13 蘇州府 (六月九日)

江蘇省ニ属シ南京二次グノ雄府ナリ天主教堂ハ府城ノ封門ノ天師莊ト云フ処ニ在リ六月九日暴徒



群集シ教堂ノ近傍ニ蜂集シ将カニ大事ニ及バントスルヲ以テ直ニ地方官ニ保護ヲ請ヒシガ地方官大ニ驚キ早速兵ヲ派シテ彈圧セシヲ以テ禍ヲ未然ニ制スルヲ得タリ然レドモ宣教師中婦人少兒ハ今猶ホ難ヲ上海ニ避ケ居レリ

2.1.14 呉城鎮及ビ大姑塘（六月十四日悪報）

呉城ハ江西省南昌府ニ属シ大姑塘ハ同省九江府ニ属シ共ニ江西ノ要地商賈繁盛ノ地ナリ宣教師亦此兩地ニ在リテ熱心ニ布教ニ従事セシガ近頃悪徒暴起シ天主耶蘇兩教堂并ニ教師ノ住居ヲ焼毀セシヲ以テ地方官ハ直ニ兵ヲ派シテ彈圧ニ尽力セシモ暴徒ノ猖獗甚ダ猛烈ナリシト云フ其暴行ノ時日及ビ結局ハ詳報ヲ待タザレバ記述スルニ由ナシ

2.1.15 宜昌府（六月十七日悪報）

湖北省ニ属シ省中漢口二次グノ開港場ニシテ四川ノ咽喉ニ位シ美ニ一大要地タリ城ハ三峽險平ラグ所長江ノ北岸ニ在リ天主堂及ビ耶蘇堂ハ南門外ニ在リ天主耶蘇共ニ城内ニ分設セリ然ルニ飛電アリ曰ク暴徒群集謠言四起大ニ不穩ノ情况アリト是ニ於テカ漢口駐碇ノ独乙軍艦一艘直ニ拔錨其地向ヘリト未ダ其詳報ヲ得タザレバ記述スルニ由ナシ

以上列挙スル所ノモノハ近日長江一帯ノ小波瀾ニシテ此地漢口鎮江等ノ各地ニ謠言百出人心頗ル恟々タリト雖ドモ地方官ノ警備ト外国軍艦ノ勢援トニヨリ幸ニ暴発ニ至ラザリシ然レドモ長江沿岸一帯後ノ動揺未ダ定マラズ各港居留ノ外人モ大ニ警戒ヲ加ヘ惴々焉トシテ其堵ニ安ンゼザルモノ、如シ各国戦艦及ビ清国南洋水師ノ軍艦ハ漢口九江蕪湖鎮江等ノ間ニ頻紛相往来シ以テ不虞ヲ戒シメ居レリ当上海ノ如キハ清曆四月下院某日ヲ以テ其教会ヲ焼キ払フベシ某夜ヲ以テ某領事館ヲ襲撃スベシ等ノ匿名貼紙ヲ為スモノアリテヨリ一時頗ル不穩ノ景況アリシモ居留人員ノ多数ナルト警察ノ周到ナルト加フルニ義勇兵軍艦等防禦ノ責任スル

モノ少ナカラザルトニヨリ敢テ事端ヲ発スルニ至ラザリシト雖ドモ近日長江沿岸各地ノ警報陸続本埠ニ達スルヲ以テ居留外人等ハ大ニ恐愕ヲ抱キ俄カニ領事會議ヲ開キテ居留地警備ヲ議シ一朝急アラバ四発ノ号砲及ビ警鐘ヲ連打シ以テ非常ヲ報ジ亦避難所四ヶ処ヲ定メタリ曰ク英領事館曰ク米租界巡捕房曰ク英租界巡捕房曰ク日本墓地ノ北側田舎俱樂部其地義勇兵ヲ増募整頓スル等戒心至ラザル所ナク上海県令亦衆民ニ布達シテ不法ノ所為ナカラシコトヲ訓諭シ敵ニ探偵吏ヲ旅舎茶坊煙館等ニ派シ匪徒ノ捕獲ニ尽力シ居レリ今左ニ在上海ノ各国軍艦及ビ義勇兵現在表及ビ清国駐勇ノ表ヲ左ニ掲グ

上海義勇隊現在人数表

幹部	少佐 一 (モーソン氏)	軍医小監 一	法教師 一		
隊別/船別	大尉	中尉		下士兵卒	合計
A隊	一	二		五三	五六
B隊	一	二		四八	五一
C隊	一		四九		五〇
騎兵	大尉 一	中尉 一	軍医 一	下士兵卒 二五	計 二八
砲兵	〃 一	〃 二	〃 二	〃 五二	〃 五七
附属軍楽隊	二十四人				

右表外今回ノ變動ニヨリ目下募集中ナリ又右義勇隊備付ノ武器ハ大砲六門短銃七十騎兵銃七十歩兵銃四百五十挺ニシテ其他諸附属具ハ之ニ称フ

清国上海駐勇兵

上海県城外	二千人（三營）
吳淞近傍（距上海四里口）	四千人（八營）
崇明島（距上海十里）	七百五十人（二營）

居留外人保護ノ為メ上海ニ碇泊セル軍艦左ノ如シ

艦名	艦種	船長ノ名	噸数	砲数	所属国
アルライアンズ	コルベット	フィツマッコレー	一、三七五	六	英国
ビーコック	ガンボート	イングラン	七五〇	六	英国
レッドボール	全	エフダブリュー ブリーマン	八〇五	六	全
ツライラシフワント	甲鉄	デーユルニエリール	四、五〇〇	一三	仏国
ベラツコー	巡洋艦				西班牙帝国
ヴェルラルス	全	フー子シス	二、四〇〇	一五	仏国
アラクレチー	旗艦	アデヤー	一、七〇〇	四	英国

備考 表中ノ軍艦ハ都テ六月十六日碇泊ノ現数ナリ



聞ク北京駐劄ノ各国公使總理衙門ニ向テ各港居留人及ビ教会ヲ保護シ速ニ乱民ヲ鎮定セシコトヲ請求セリ是ニ於テ政府ハ六月十三日ヲ以テ湖広及ビ兩江總督ニ上諭ヲ下シ速ニ首魁ヲ捕ヘ暴徒ヲ鎮スベキヲ命ゼリ之ニ因デ兩江總督劉坤一ハ六月十五日左ノ如キ論達ヲ出セリ

頭品頂戴兵部尚書兩江總督劉出示曉諭ノ事ヲ為ス哥老会匪徒項目ヲ設ケ私ニ偽印ヲ製シ票布ヲ分散シテ党羽ヲ糾結シ奸ヲ為シ法ヲ犯シ其罪誅ヲ口シズ今ヤ本部堂已ニ各地方ニ諭達シ探偵捕縛嚴且ツ密ナリ若シ夫レ獲審結ノ上ハ懲弁会匪章程ニ照ラシ立トコロニ其地ニ於テ注ギ正シ決シテ寬貸セザルナリ唯思フ此等会匪ノ中甘シテ隨從ガ用ヲナスモノ因ヨリ少ナカラザルベシト雖ドモ然レドモ無知ノ愚民或ハ衣食ニ苦シミ或ハ生計ニ艱ムアリ其誘導ニ惑ハサレ票ヲ買フテ入会セシモノ其人ニ乏シカラズ此ノ如キ者ハ其入会同盟ノ点ニ於テハ均シク是レ不法ノ徒アルヲ免レズト雖ドモ然レドモ其初意ヲ諒ルニ畢竟誤ツテ迷途ニ入りシモノニシテ其会匪捕到ノ日ニ於テ此等愚民等ヲ併セテ玉石俱ニ焚クハ本部堂ノ為スニ忍ビザル処ナリ此ヲ以テ特ニ茲ニ勸諭シ衆人ヲシテ知悉セシム若シ已ニ票布ヲ得テ会匪ニ加入セルモノナラバ速ニ過ヲ改メ自新ノ道ヲ開キ票布ヲ燒却シテ基本分ニ安ンジ別ニ生計ヲ營ミ身命ヲ保全スベシ若シ或ハ会中ノ頭目ヲ密詐スルモノアラバ捕縛審結ノ上ハ密ニ密詐者ノ罪ヲ免除スルノミナラズ当サニ与フルニ金賞ヲ以テスベシ頭目等ニアリテハ若シ異シテ前非ヲ悔ヒ速ニ自首セバ既往ハ深く咎メザル所ナリ然レドモ尚終始迷ヲ執リテ自ラ新ニスルコト知ラザレバ就縛ノ日国法森嚴斷シテ少シモ寬貸シ難シ此際ニ及ビ臍ヲ噬ムモ亦何ヲ及バシヤ宜シク速ニ猛省シテ本部堂告誡ノ意ニ負クコト無ルベシ各人等父ハ子ニ誠メ兄ハ弟ニ誠シメ法網ヲ犯スノ人トナラシムル

句ニ特ニ論ス

#### 2.1.16 判断

哥老会一部ノ煽動ニ過ギズ大事ニハ至ラザルベシ

#### 2.1.17 理由

以上示スガ如ク今回暴動ノ警戒ニ就テハ其外觀頗ル不穩ナルヲ似タリト雖ドモ是レ畢竟外人ガ其人情風俗異ナルヨリ其実際ノ真味ヲ知悉スル能ハザルト謠言百出頻リニ人心ヲ攪乱スルニ依リ風声鶴涙以テ之ヲ致スモノ多シ是レ清国毎茲擾時ノ常態ニシテ虚心觀察者ノ失笑ヲ招ク所タリ抑モ今回ノ事変ニ付清国各地ノ新聞ハ其騒擾ノ原因ヲ論ジテ専ラ民教不合ノ致ス所トナスト雖ドモ是レ未ダ事情ヲ悉クセルモノト云フ可カラズ看ヨ揚州ノ滋擾以來其暴行ノ手段タル悉ク一途ニ出テ恰モ符節ヲ合セルガ如ク毫モ匪徒ニシテ清民ノ信徒ヲ暴害スルコトナリ而シテ特リ教会堂ヲ燒毀シ外人ニ對シテノミ暴行ヲ加フルガ如キ豈ニ奇ナラザヤ何トナレバ清民已ニ数十万ノ多キニアルヲ以テ々々異教ヲ排撃スルノ精神熟シテ事此ニ到ルトセン歟豈ニ信徒ニ寬假スルノ理アランヤ是ニ由テ此ヲ觀レバ彼ノ数百千人ノ者未ダ尽ク初メヨリ教堂ニ恨ミアルニアラザルベシ亦未ダ悉ク不良ノ暴民似アラザルベシ而シテ其暴拳ノ茲ニ到ル所以ノモノハ顧フニ必ズ二三匪徒ノ妖言ヲ流布シ巧ニ之ヲ煽動スルニ因ルモノナラン又掠奪ニ意アルニアラズ蓋シ民人ヲ煽動シテ漸ク其堵ニ安ズル能ハザラシメ以テ乘ズベキノ機運ヲ啓発シ或ハ試シニ多少ノ波乱動揺ヲ醸シ以テ民心傾向ノ如何ヲ偵察シ機ヲ見テ為ス所アラントスルニ似タリ然ラズンバ現政府ヲシテ奇禍ヲ外国ニ買ハシメ鵠蚌相持ノ間其深慾ヲ逞フスル所アラント欲スルモノアリ

顧フニ三者必ズ其一ニ居ラン而シテ今回ノ事果シテ哥老会ノ主唱ニ因ルカ会中一部ノ徒ノ輕拳タルニ過ギザルベシ若シ然ラズンバ何ゾ其計畫施術ノ拙劣ナルヤ揚州ノ變ヲ始メトシ各地一呼シテ能

ク聚ルモノ少ナキハ数百人多キハ数千人ニ及ブト雖ドモ常ニ声勢ヲ利用シテ地歩ヲ占ムル能ハズ僅ニ一地方官ノ強圧ニ遇フ毎ニ忽チ土崩瓦解収拾スベカラザルモノ、如シ是レ豈ニ大事ヲ企図スルモノ、所為ナランヤ然レドモ仮令前論ノ如ク果シテ天下ノ機運ヲ啓発シ或ハ民心ノ傾向ヲ偵察シ若シクハ政府ヲシテ奇禍ヲ外国ニ買ハシメント欲スルニアリトセン乎共ニ必ズ旬日ヲ出デズシテ將ニ福建ニ事アラントス否ラザレバ彼徒今回ノ連絡ハ阻絶シテ通ゼザルモノナリ全部ノ運動ニアラザルナリ何トナレバ福建全省ハ同会ノ巢窟淵藪ニシテ平常深ク頼ニテ以テ負隅ノ地トナス所ナレバナリ之ヲ要スルニ揚州ノ細故ニ乗ジ哥老会一部ノ輩謠言ヲ流布シ巧ニ細民ヲ煽動シ暴挙ノ機ヲ啓発セントスルニ過ギザルベシ今ヨリ旬日ヲ出デズシテ消長ノ機正ニ決スル所アルノミ

明治二十四年六月十六日調

## 2.2 商業上支那人の有スル重ナル点

支那人ガ商業上西洋人民ニ相似タル点数数ヶ条ヲ挙グレバ左ノ如シ正シ此点ハ一モ日本人ガ有セザル所ノモノタルヲ知ルベシ

第一 国大ニシテ外国人ヲ異人ト見テ侮ル所アルコト及ビ習慣ノ強ク成立ツコト

第二 営利ニ巧ニシテ之ガ為メニハ少々ノ危険目前ノ損失ヲ顧ミズ耐忍シテ従事スルコト

第三 団結力ニ強キコト

第四 商業上ニ規則正シキコト

第五 商業上信用ヲ重ンズルコト一度信用ヲ得レバ之レヲ活用スルコト

第六 手形ヲ流用スルコト

第七 物事ニ緻密ニシテ凡テ物品ヲ売買スルニ秤量ヲ用ヒ一糸一毫ヲモ争フコト

第八 商店ノ景況帳簿ノ拵ヘ方客ニ対応スル仕掛又両替屋ノ如キ鉄柵ヲ設ケ鉄網ヲ張ル等整頓スルコト

第九 招牌ヲ盛ンニ用ヒ金銀字ヲ以テ之ヲ飾リ帖札ヲ以テ広告ヲナスコト

第十 同種類ノ売物屋ハ一所ニ集リ売買双方相蓋シ需要供給ノ法相整ヒ自然ニ經濟ニ適ヒタルコト

第十一 <sup>コンブラド</sup>仲買ヲ用ヒテ取引上便利ヲ得ルコト西洋口錢商人盛ニ流行シテ商業ヲ活発ナラシムルガ如キコト

## 2.3 支那ノ通貨

支那ノ通貨ハ古来ノ習慣ニヨリ金銀ヲ以テ基本位トナサズシテ銅ヲ以テ之ニ充テ金銀ハ唯公私一般ニ銅貨ヲ助ケテ通用ニ供スレドモ官ヨリ之ヲ鑄造スルモノナク随テ一定ノ形質ナシ銅貨ハ官設ノ造幣局アリテ其製スル所ノ貨幣ヲ錢ト云フ錢ニ二様アリ北京ニ於テ鼓鑄シ内底ノ用ニ供スルモノヲ様錢ト云ヒ各省都会ニ於テ鼓鑄シ地方ニ行クモノヲ制錢ト云フ凡ソ錢ハ円形ニシテ中ニ方孔ヲ穿チ表面ノ文ヲ通宝トシ之レニ冠スルニ年号ヲ以テ裏面ニ滿州字ヲ以テ其鑄造スル所ノ局名ヲ記ス様錢一百個ノ重サハ則チ一斤ニシテ大約我が百六十匁ニ當リ制錢一百個ノ重サハ様錢四分ノ三トス普爾錢モ亦之ニ均シ西藏錢ハ其大錢十個ノ重サ一兩トシ小錢ハ之レニ半ス様錢ヲ鼓鑄スルニハ銅六分ニ鉛四分ヲ混和シ制錢ハ銅五十四ニ鉛四十六ヲ混和ス普爾錢ハ純銅ヲ以テ之ヲ鼓鑄シ西藏錢ハ銀ヲ以テ之ヲ鼓鑄ス制錢千ヲ以テ串ト曰ヒ普爾錢百ヲ以テ滕格ト曰ク一串一滕格及ビ西藏ノ大錢九小錢ノ十八ヲ以テ銀兩ニ抵ルモノトス

銀兩ハ前記ノ如ク真ノ通貨ニアラザルガ故ニ政府之ヲ鑄造スルコトナキモ公私一般ノ流通ニ供スルヲ以テ北京及ビ各省都会ノ地ニ於テ之ヲ鑄造スル私立ノ炉房アリテ公私ノ依託ヲ受ケテ鼓鑄セリ譬ヒ酒器簪筭及ビ破碎セル銀器ト雖ドモ之ヲ炉房ニ托シテ銀兩トナシ該炉房ノ刻印ヲ得レバ通用ニ阻礙アルコトナシ其他或ハ銀舖ニシテ銀兩鑄造ノ業ヲ兼スルモノアリ凡ソ銀兩ニ數種アリ小鏝、中錠、元宝等是ナリ小鏝ハ荆沙松江等ノ銀ニシテ大概一塊ノ量目四兩四五錢ヨリ五兩ニ至リ其形饅頭ノ如シ其他碎銀ト稱シ破碎セシモノアリ中錠ハ元

宝ヲ小分セルモノニシテ其量目十兩内外トス元宝ハ其量目五十兩内外ニシテ其形馬蹄ノ如シ又官納ニ用ユルモノニシテ方形ニ作レルモアリー一兩トハ我十匁ニシテ其十分ノ一ヲ以テ一錢トス而シテ權衡ハ數種ニシテ各多少輕重ノ差アリ即チ公秤、行秤等ニシテ公秤ハ官用ニ供シ行秤ハ開港場ニ行ハレ市秤ハ内地ノ交易ニ用ユ而シテ市秤ニハ又數種アリテ一定セズ尤モ必要ノモノナリトス

凡ソ銀一兩ハ制錢一千五百文ヨリ一千文内外ノ價格ニシテ洋銀一元ハ制錢一千一百文ヨリ九百文内外ニ當リ処ニヨリテ同ジカラズ支那ノ銀兩ヲ以テ洋人ハ之ヲ「テール」ト称ス「テール」ハ本ト通貨ニアラズ銀塊ノ量目ヲ以テ流通スルモノナリ例ヘバ重サ百兩ノ一顆ト雖ドモ一定ノ品位ヨリ上ルモノハ申ト称シテ幾分ヲ加ヘ下ルモノハ毛ト称シテ幾分ヲ減スモノトス且各地權衡ノ制一様ナラザルヲ以テ實ニ不便ヲ極メ金銀本意ノ貨幣ナキガ為メ商業ニ於テ多少ノ困難ヲ意トセザルモノ、如シ

楮幣ハ官ヨリ発行スルモノナシト雖ドモ各省都會地資本積々優ナル銀舗ニ於テ発行スルモノアリ然レドモ流通ノ区域甚ダ狭ク弊害亦少ナシトセバ而シテ各開港場並ニ其附近ノ地ハ洋銀ニ以テ本國貨幣ノ如ク流通ニ供セリ是ニ支那貨幣ノ不便ナルガ為メ洋銀ヲシテ市場ヲ占領セシムルモノト云フベシ

## 2.4 支那ノ質屋

支那ノ質屋ハ之ヲ當舖ト称シ往々十萬圓以上ノ資本ヲ有スルモノアリ又甚ダ僅少ノ資本ヲ操廻ハシテ營業スルモノモ少ナカラズ其大資本ヲ卸シテ營業スルモノハ多ク山西ノ人トス大店ニ於テハ番頭手代丁稚ノ類三十餘名ヲ使役シ主人ハ多ク別宅ニ住シ信用アル番頭ヲシテ營業一切ノ事ヲ管理セシム小店ニテモ十名以上ノ人ヲ使役ス其營業ノ例規ニ至テハ地方大ニ其趣ヲ異ニシ各店亦自ラ定ムル所ノ章程アルヲ以テ到底之ヲ悉スコト能ハズト雖ドモ各地各店其大同ナル所ヲ拳グレバ左ノ如シ

典物ノ期限ハ官ニ於テ二年即チ二十四ヶ月ニ定ム然レドモ實際ニ於テハ更ニ半年即チ六ヶ月位ノ猶予ヲ与フルガ故ニ通常ノ支那人ニ就テ典物ノ贖出期限ヲ問ヘバ必ズ三十ヶ月ヲ以テ答フ三十ヶ月ヲ過ギ其元利金ヲ合シテ其原品ノ普通代價ヲ超過セズト認ムルトキハ尚一二月ノ留存ヲ肯ズ當票即チ典物ノ預リ証ニハ「遵例二年為滿過期變売作本虫傷鼠咬各聽天命」云々ノ語ヲ記スルハ猶我國ニ於ケルガ如シ但大災ノ事ヲ記セザルハ予ジメ大災アリトスルノ嫌ヲ避クルモノナリト云フ利息ハ月利ニシテ贖出期日ノ長短ニ拘ハラズ總テ品物ノ種類ト貸ス所ノ金額トニ依テ之レヲ定ム而シテ高キモ三分ヲ起ヘズ低キモ二分ヲ下ラズ即チ衣服ハ貸ス所ノ金額ハ八錢ヨリ四十五錢迄月利三分トシ五十錢以上ハ同二分トス毛皮等ノ衣類ハ保存ニ注意ヲ要スルヲ以テ五圓以下ノ品ニモ三分ノ利ヲ課ス此他玉器、銅鉄器、骨董、書画、磁器、硝子器ノ類ノ如キ取扱ニ面倒ナル品物ト犁鋤等ノ如キ粗末ナル器具及ビ夜具蒲団ノ如キ嵩高ノ品物ハ貸ス所ノ金額ニ関セズ總テ三分ノ月利トス是レ普通ノ例規ナリト雖ドモ金融ノ便否ト地方ノ習慣トニ依テ更ニ品類ヲ細別シテ利息ヲ定ムルアリ或ハ品物ノ種類ヲ問ハズ概シテ一定ノ利息ヲ収ムルアリ又単ニ貸与スル所ノ金額ニ依テ利息ノ差異ヲ立ツルアリ

又毎年十一月十六日ヨリ十二月末日迄ハ各地方官ヨリ令ヲ發シ質ノ利ヲ減セシム其告示ノ文ニ曰ク歲茲ニ暮レントス貧家窮戸錢ヲ要スル甚ダ急ナリ此ニ際シ月三分ノ当利ハ一部減ジテ二分トナシ二分ノ当利ハ五厘ヲ減ジテ一分五厘ト改メ以テカ民ヲ濟フベシ云々ト又洪水旱魃等ノ凶年ニモ其地方ヨリ被害地ノ質屋ヘ利息低減ノ令ヲ下ス例トス

質屋ノ營業稅ハ何程ナルヤ未ダ探知シ得ザルモ歟

## 2.5 會館

抑モ會館ナルモノハ同郷出身ノ官吏ガ相互ニ保

護救援セシガ為メ京都ニ於テ之ヲ創設シタルヲ始メトス爾後商賈相結ンデ彼ノ官吏会館ニ擬シ商賈会館ヲ組織セシガ今日ニ至テハ何レノ州ト雖ドモ各其会館ヲ有セザルムノナキガ如シ然レドモ其会館ハ何レノ時代ニ起リシヤ今之ヲ確説スル能ハズト雖ドモ蓋シ明朝ノ世ニ当リ江西ノ会館北京ニ於テ其隆昌ヲ極メシガ其濫觴ハ遠ク唐代ニ在ルガ如シ當時北京ニ於テ存立シタル会館ハ同郷人及ビ商賈人ヨリ成立スト雖ドモ同郷出身ノ官吏ハ固ヨリ其員数及ビ勢力ニ於テ共ニ商賈ニ超越セリ

同郷会館ノ目的ハ二種ニシテ其一ハ遠地ヨリ来往スルモノ、必ズ免ルベカラザル局部ノ僻見ニ対スルノ保護ニシテ他ノ一ハ該館仲間ノ間ニ起生スル不和争論ヲ防止スルコトナリ温州ノ寧波会館ノ例言ニ云ヘルアリ曰ク夫レ寧波ハ沿海ノ地方ナリ故ニ住民ノ農夫トシテ本土ト職業ヲ得ル能ハザルガ如キ者ハ勢商業ノ為メ他ノ地方ヘ移住セザルヲ得ザルナリ今ヤ吾侪寧波人ノ温州ニ在ル者ハ孤立独行ノ位置ニ立テリ山嶽河海之レガ隔絶ヲナシ寧波ト相通ゼズ若シ温州人ノ為メニ怨望セラシ其輕侮ト損害ヲ受クルトキハ吾侪何ヲ以テ之ガ償賠ヲナスベキヤ顧フニ商社ナルモノハ各其利己ノ為メニ運動スルヲ以テ孤立独行以テ商業場裏ニ競争セバ自然ノ結果ニシテ損失ヲ招キ耻辱ヲ来サンヲ得ズ是レ同郷会館ヲ立テ教堂ノ利益ヲ図ルノ已ムヲ得ザル所以ナリ

又白海ノ人民ハ其性質放縱貪婪ニシテ毫モ法規ヲ尊重セズ盜賊盛行為ニ吾侪廣東人ハ大ニ苦ム所ナリ若シ彼我ノ間ニ商業上ノ不和ヲ生ジルトキハ吾侪ハ協心戮力以テ不正ニシテ且ツ無謀ナル商賈ニ抗抵シ吾侪ノ利益ヲ保全セント欲ス顧フニ奸商惡売ハ自ラ吾侪ヲ避ケ而シテ其跡ヲ商業場裡ニ絶フベシト

由是觀之同郷会館ハ事情ノ必要ヨリ起生セシモノニシテ同郷商賈ガ他ノ地方ニ在リテ他商ノ抑圧ヲ防制シ以テ同郷商人共同ノ利益ヲ保全スルニ最モ有利有益ノ制タルヤ明白ナリ又独り商業社会ノ利益ヲ図ルニ止マラズ

地方官吏ノ抑圧ヲ防禦スルコトアリ温州ノ寧波会館ノ記録ニ曰ク当世紀ノ初メ十年間ノ終リニ際シ隣接ノ各地方未作ノ飢餓アリ而シテ南方ノ浙江地方ニ於テハ食料夥多ナルヲ以テ寧波商人ハ帝國ノ何地ヨリスルヲ問ハズ米ヲ輸出ヲ允可セラレタル上論ヲ利用シ小舟ニ許スニ米ノ輸出業ヲ以テセリ然ルニ地方官ハ温州ニ於テ其上論ノ実施ヲ拒絶スルヤ該商船ヲ捕ヘ商人ヲ縛セリ依テ寧波会館ハ該地方官ノ不法ヲ杭州府庁ニ告訴セシモ其救正ヲ得ザルヲ以テ遂ニ北京政府ニ上告シ爾後地方官ノ抑圧ヲ免ル、コトヲ得タリト亦以テ会館ノ時トシテハ地方官ノ暴威ヲ防禦スルニ必要ナルヲ見ルベシ

前陳ノ如ク会館ハ当初ニ在テハ甲省ノ商賈ガ乙省ニ至リ商業ヲ行フニ当リ同郷商人共同ノ利益ヲ保全スルヲ目的トシテ之ヲ組織セシガ漸次盛大ノ域ニ赴キ商賈ハ各其類ニ依リテ相結合シ支那帝國過半ノ市城ニ於テハ各州ノ会館巍然トシテ雲際ニ聳立シ市城ニ至ルモノヲシテ先ヅ目ヲ驚カシムルニ至レリ然リ而シテ会館ノ種類、其数亦頗ル多クシテ茶業会館、生糸会館、銀行会館、鴉片会館、藥劑会館及ビ金属会館ヲ始トシテ其他諸種ノ会館アリ以テ支那商業上ノ取引ハ概子皆此ニ依リテ行ハザルハナク實ニ支那商業ノ一大機關ナリト云フベシ然リト雖ドモ前キニ長髮ノ乱起ルヤ支那帝國過半ノ地ハ賊軍ニ蹂躪スル所トナリ商業ノ如キモ一時其影響ヲ蒙リ衰微ノ勢ヲ呈シ隨テ会館ノ制廢絶ニ帰センコトアリト雖ドモ国内既ニ平和ニ復シ商業モ亦夕旧体ニ帰ルヤ会館ノ制漸ク旧ニ復シ且ツ改良進歩ノ勢ヲ顯ハシタリ蓋シ彼ノ南京条約以來清國ノ外交漸ク繁ヲ通商ノ道益々頗ナルヤ支那商賈等思ヘラク今ヤ外ハ外商ト取引ヲナスニ信義ヲ守リ内ハ各商相互ニ売買ヲ行フニ公道ヲ取ルコト益々緊要ナリ然ルニ人性ノ傾向ハ愈々不信不義ノ域ニ赴キタレバ為ニ商業ヲ營ムコト更ニ困難トナレリ因テ今日從來ノ会館ヲ改良シテ時勢人情ニ適合セシメザルベカラズ否ラザレバ商業上ノ發達望ム能ハザルナリト是レ支那商人ガ会館ノ制ヲ利



用シテ外国商人ノ抑圧ヲ防制シ以テ内国商賈一般ノ利益ヲホゼンスルニ至レル所以ナリ会館ノ来歴及ビ其緊要ナルコト此ノ如キヲ以テ其組織及ビ規約ノ如キハ繁雜複綜ナルベキモ其然ラズシテ当初ニ在テハ之ヲ赤色ノ一片紙ニ印刷シテ会館ノ壁上ニ貼付キシガ商業漸ク盛ナルニ從ヒ其種類ニ依リテハ会館ノ規則亦勢ヒ繁縟ナラザルヲ得ザルモノアリ茶業会館及ビ銀行会館ノ如キハ即チ此類ナリトス請フ会館ノ重ナルモノニ就キ其組織及規約等ヲ概括シテ之レヲ左ニ記セン

### 2.5.1 会館管理ノ事

会館ノ役員ハ総管理人一名及ビ委員数名ヨリ成立シ委員ハ毎年之ヲ選挙スト雖ドモ時宜ニヨリ重選スルヲ得ルモノトス商業最盛ノ地ニ於テハ寧波会館ニ於ケルガ如ク重要ナル貨物ニ付夫々委員アリ福建会館ハ之ヲ三課ニ区分シ第一ヲ砂糖課トシ第二ヲ材木課トシ第三ヲ雜種課トナスガ如シ然レドモ商業稍盛大ナカザルノ地方ニ至テハ会館管理ハ館員順番ニ行フコト往々之レ有リ就中最要ナル役員ハ常置幹事ニシテ此幹事ハ文学上ノ名譽ヲ有シ俸給ヲ受クル者タルベシ蓋シ該幹事ハ文学上ノ学位ヲ有スルノ故ヲ以テ自ラ官吏ト面接スルノ権利アルノミナラズ会館ノ代理者トシテハ官吏ノ位置ニ立ツモノト認メラル、ナリ又諸通信ノ媒介人ニシテ官衙ニ向テハ法律上会館ノ代表者ト認メラレ会館ノ利益ヲ主張シ館員ノ受ケタル損害ニ対シ救正ヲ請求シ場合ノ必要ニヨリテハ自己ノ選挙人ヲ弁護防衛スベキモノトス又地方官ニ於テ会館ニ向ヒ公共ノ事業施済及ビ其他臨時ノ事件ニ付捐金ヲ請求スル時モ亦該幹事之レニ応答スベキモノトス

会館議員ハ大抵三千名ヲ超過スルコト甚ダ稀ナリ集会ヲ開クノ時出席スル所ノ議員ハ討議ノ為メ提出セラレタル案件ノ考量スルニ足ルベキ員数ヨリ多カルベカラズ但特ニ議事規則ノ如キ成文ナシト雖ドモ概シテ議事ニ適當スル定員ヲ待ツテ決議ヲ行フモノトス願フニ何レノ議會ヲ問ハズ或ハ贅

論ヲ発シ或ハ虚説ヲ吐クガ如キ議員ノ現出スルハ自然ノ状態ナリ故ニ会館ニ於テモ此ノ如キ冗言贅議ヲ予防スルノ必要ヲ感ジ一ノ簡單ナル規則ヲ定立セリ其文ニ曰ク會議ニ於テ若シ才学共ニ衆ニ優ルノ議員アリ一議案ヲ提出スルトキハ自己ノ位置如何ヲ問ハズ総議員ニ対シ自ラ之レヲ説明弁護セザルベカラズ而シテ一旦決議ヲ經タルモノハ後ニ至リ再ビ之ヲ討議セザルベシ蓋シ時間ノ浪費ヲ防ガンガ為メナリ此外無用ノ空談虚説ヲ防制スルガ為メ年少、客氣ノ館員ハ集會ニ臨ミ發議討論ヲ許サズ

### 2.5.2 会館建物ノ事

商業市場ノ建物中壯觀美麗ナルモノハ会館本部ヲ以テ最トナス即チ其會議所演戲場及ビ高官并ニ試ニ応ズルガ為メ京都ニ赴ク所ノ学生ノ旅舎ニ充ルツ所是ナリ時ニ或ハ此等建物ノ構造ハ真ニ宮殿ノ形体ニ類シ支那建築ノ最高模型ヲ示スコトアリ即チ会館ノ正堂ヲシテ莊嚴威容ヲ保タシメンガ為メ鍍金彫刻及石工等諸美術ノ巧妙ヲ極ムルコトヨリ其最モ重ナル部舎ハ神ノ為メニ演戲ヲ興行スルニ充ツルノ正堂ナリ一方ニ於テハ舞台アリ他ノ一方ニ於テハ廟裡アリ周圍ニハ房裡アリ特許ヲ有スルモノハ演戲ヲ見酒食ヲナシ又興談ヲナスヲ得而シテ其正室ニ至テハ一般公衆ノ縦覽ニ供ス

### 2.5.3 收入ノ事

会館ノ資金ハ館員ヨリ其売却シタル貨物ノ代價ニ応ジ賦金ヲ徴収シテ成立スルモノニシテ其高ハ千分ノ一ナリ毎月各商ノ帳簿ヲ検査スルノ例アリ而シテ此検査ハ各商社ノ書記交代シ之ヲ行フモノニシテ是レ賦金ヲ徴収センガ為メナリ時トシテハ一種ノ貨物ニ対シテ稍重キ賦金ヲ徴収スルコトアリ例ヘバ温州ニ於ケル寧波会館ハ藥商ノ売上金高一串丈ニ付八文ヲ徴スト雖ドモ荳餅ノ売得金若干文ニ対シテ僅カニ二文ヲ課スルノミ又他ノ貨物ヲ商フ者ノ納ムル賦金ハ右二種ノモノニ比較スレバ稍輕キモ決シテ重キコトナシ蓋シ賦金ノ税率トシ

テ貨物ノ固有価格ヲ採ルヲ以テ高価ノ貨物ヲ商フ者ハ低価ノ貨物ヲ商フモノニ比スレバ更ニ重キ賦金ヲ納ムルナリ又該寧波會館ハ温州ニ來着スル各寧波船舶ニ對シニ弗ノ賦金ヲ課ス又上海ニ在ル廣東會館ハ當時ノ經費ヲ支弁スルニ充分ナル財産ヲ有スルヲ以テ其會員ノ商業ニ對シ賦金ヲ徵スルコトナシ其歳入ノ高ハ一定セザレドモ市場ノ大小ニヨリ數百弗ヨリ五十萬弗ニ至ルノ間ニ上下スト云フ若シ會員ヨリ売上高ニ付不實ナル届出等ヲナセルコトヲ看破スルトキハ會館ハ之レガ過代トシテ罰金ヲ追徵スベシ

#### 2.5.4 會館規則ノ事

會館ノ規則ハ商業ノ種類ニヨリテ之ヲ異ニシ固ヨリ一定セズト雖ドモ之ヲ概説スレバ支那商業ノ複雑ナルヲ知ルニ足ルベシ抑モ會館ハ商業上ノ裁判庁トモ稱スベキモノニシテ其治定スル所ノ規則ヲ強行セシムルノ権力アリ蓋シ支那裁判所ニ於テハ會館ノ規則ヲ見テ法律上ノ効力ナルモノトナスヲ以テナリ今二三ノ例ヲ挙ゲテ其大体ヲ明カラニセン即チ會員ハ左記ノ規則ニヨリテ支配セラルナリ

會員相互ノ間ニ金銭上ノ爭論アルトキハ之ヲ館ノ集會ニ提出シ其仲裁ニ委スベシ該集會ハ務メテ満足ナル決定ヲ与フベシ若シ其事件和解シ難キトキハ則チ之ヲ所屬ノ地方庁ニ告訴スルヲ得ルト雖ドモ其起訴人が先ヅ會館ノ仲裁ニ依頼スルヲナサズシテ直ニ地方庁ニ控告スルトキハ館員一同ノ誹斥ヲ受クルノミナラズ將來會館ノ意見ヲ請フヲ得ベキ事件ヲ有スト雖ドモ一切會館ハ之ヲ保護セザルベシ會館ノ調停仲裁ヲナスノ権力ハ独リ金銭上ノ事件ノミニ止マラズ一般ニ會員ノ間ニ起生スル所ノ事柄ニ及ブモノトス又會員相互ノ間ニ争件ヲ起生スル事ヲ予防スルニ一規則アリ其言ニ曰ク本館ニ來館スル所ノ同郷人中商業ニ従事スルモノ多シ而シテ常ニ金銭上ノ取引ヲナスノ際時ニ或ハ相互ノ間ニ争件ノ起生セズトモ言ヒ難シ苟モ此ノ如キコトノ生ズルアラバ會館ハ最モ双方ニ利益ナル

方法ヲ以テ其仲裁ヲ与フベシ即チ公正ヲ守リ事實ヲ明ニシ道理ニヨリ其争件ヲ判定スベシ請フ公道ヲ顯明ナラシムルガ為メ事實ヲ隱蔽セザラレコトヲト會員中ノ一名仲間ヨリ除名セラレタルトキ又ハ地方ノ商社會館ヨリ排除セラレタルトキハ爾後此等ノ者ト一切交通ヲ禁ズ若シ會員ニシテ其除名セラレタルモノト同情同感ヨリ或ハ交誼ヨリ私ニ交通ヲナシタル事ヲ発覺セラルトキハ一百兩ノ過代ヲ差出スベシ會員ニアザル他ノ者ト雖ドモ規則ニ背キテ私ニ交ヲ通ズルコトニ関シテハ別ニ指定ノ明文ナシト雖ドモ此ノ如キ犯則者ニ對シテハ成ルベキ丈ケ嚴罰ヲ加フルモノトス

以上ハ會館ノ組織ニ関スル大体ヲ説示タルニ過ギズ以下將ニ其細目ニ説キ及バントス

#### 2.5.5 信用売買ノ事

凡ソ會館ニハ各信用売買ニ関スル規定アリ一例ヲ挙ゲテ之ヲ言ハンニ貨物ヲ売渡スニ際シ其代価支払ノ期日ハ一定セズト雖ドモ穀物其他類似ノ貨物ノ場合ニ於テハ貨物引渡後四十日荳餅ノ場合ニ於テハ五十日其他ノ諸雜貨ハ五六十日ヲ以テ定限トス若シ此規則ヲ犯ストキハ其売主及ビ買主ハ均シク各々一回ノ看戲費及ビ飲食ニ卓ノ罰錢ヲ払フベシ蓋シ此罰錢ノ高ハ大約一人ニ付二十五弗ニ過ギザルベシ

通用ノ貨幣ハ弗或ハ兩ヲ以テ本位ト定ム故ニ売買ハ必ズ弗又ハ兩ヲ以テ之ヲ為スベシ代価支払ヲ約スルニ約束證書ヲ用ユルコトアリ此證書ノ日附ハ売買ヲナシタル日ヲ記スルモノトス其期限ハ大抵十日ヨリ三十日ニ至ルヲ以テ程度トナス若シ船中ノ貨物ヲ買フトキハ該約束證書ニ必ズ其船名ヲ記スベシ

#### 2.5.6 倉敷料ノ事

貨物ノ売主ハ七十日間ハ倉敷ヲ出サズシテ其貨物ヲ倉入スルヲ得ルト雖ドモ若シ其ノ期日ヲ經過シテ猶倉出セザルトキハ一日タリトモーケ月ノ倉敷料ヲ払フベシ若シ又一月ノ期限終リニ至リテ之



ヲ倉出セザルトキハ該期限後第一日ニ於テ二月ノ倉敷料ヲ払フベシ其他之ニ準ジテ起算スベシ若シ此規則ヲ犯ストキハ其売主及ビ買主ハ均シク倉敷料ノ定額ニ倍ニ相当スル罰金ヲ払フベシ此罰金ハ会館ノ會計所ニ納ムルモノトス

### 2.5.7 度量権衡ノ事

各会館ニ於テハ一定ノ度量権衡ニ関スル一条ヲ定メアリ其文ニ曰ク会館ハ諸館員ノ採用スベキ一定ノ度量衡ヲ備ヘ以テ其収支出入ノ平均ヲ保ツベシ若シ館員ニシテ其一定ノ本位ト相違スル所ノ秤ヲ用ユルコトヲ発見セラル、トキハ重キ罰金ニ処スベシト然レドモ不幸ニシテ實際共通ノ定本ナキヲ以テ会館及ビ商賈ハ多クハ各自ニ之レヲ有セリ

### 2.5.8 風袋ノ事

貨物ノ風袋ヲ定ムル規則ハ会館規則中ニ於テ大部ヲ占ム蓋シ通常ノ貨物ハ各々一定ノ減却ニ従フベキヲ以テナリ

### 2.5.9 盗難及ビ火災ノ事

或ル会館ハ防火機器ヲ有シ館員ヲシテ消火ニ助力セシム倉庫内ノ貨物ノ売主ハ売買後五日間ニ生ジタル火災盗難ノ損失ハ売主自ラ之レヲ負担スベシト雖ドモ五日後ニ係ル盗難火災ノ損失ハ買主ニ於テ之ヲ負担スルモノトス政治上ノ騷擾ニ依リテ生ジタル損失ハ買主及ビ売主ニ於テ分担スベシ若シ船中ニ在ル貨物ヲ買ヒ之ヲ積荷端艇ニ転載スルトキハ爾後売主ハ該貨物ニ対シ責任ヲ免レタルモノトス

### 2.5.10 新年ノ閉館及ビ開館ノ事

年ノ一月十五日以前ハ一切ノ事務ヲ取扱フベカラズ故ニ十月中ニ売買ヲアリタル貨物ハ其十二月ノ十五日ニ其代価ヲ仕払フベシ又十一月中ニ売却シタル貨物ハ二月初ニ於テ売却シタルモノト見做スベシ二月初ヨリ貨物ノ種類ニヨリ四五十日或ハ六十日ノ信用売買ヲ始ムベシ又十二月ニ於テ

売却シタル貨物ハ買主ニ於テ直ニ之ヲ引取ルニアラザレバ倉敷料ヲ払ハザルベカラズ

### 2.5.11 警察ノ事

同郷開館ガ幾分カ館員ノ品行ニ対シ責任ヲ負フモノトス又窃盗ニ逢ヒタル財産ノ取戻ニ関シ助力スベキモノトス故ニ許多ノ贖金ヲ虐取スルノ目的ヲ以テ槍盗ヲ藏匿シ或ハ脏物ヲ保有スル館員ハ其貨物ノ価額十倍ヲ罰セラルベシ若シ之ヲ納メザルトキハ館員ヨリ除名セラルベシ盜賊ヲ捕ヘタル者ヘハ会館ヨリ報償ヲ給与スベシ

### 2.5.12 空売買ノ事

寧波ノ北方商法會議所即チ会館規則ノ結尾ニ言ハルアリ曰ク空売買ハ不法ノ所為ナルヲ以テ館員ハ之ヲ為スヲ許サズ若シ違フモノアレバ会館ハ之ヲ地方庁ニ告訴シテ其求刑ヲ請フベシ地方庁ハ必ズ仮借スル所ナカルベシト蓋シ此規則ハ之ヲ制定シタル商人ニハ元モ有益ニシテ甚ダ信頼スベキモノナク今清国法律ヲ按ズルニ空売買ヲ禁ズルノ明文ナシト雖ドモ行市ヲ専有スルヲ罰スルノ明文アリ此法文禁ノ主意ニ従ヘバ特權ノ貨物陸揚ノ担賃ヲ専有セシカ為メ結合スル挑夫ノ集会ハ之ヲ罰スルヲ得其行市ヲ動揺セシメ財政ヲ紊乱セシメタル投機者モ又至当ノ服罪スルヲ要ス

### 2.5.13 慈善ノ事

同郷会館ハ恩惠ノ会合ナリト明言セズト雖ドモ尚モ善クナスノ事業ニ於テハ必ズ其一部ヲ分担スルモノトス例ヘバ孤兒寡婦ニ食料ヲ給与シ或ハ不具者ノ彷徨スルアレバ之ヲ基本地ニ送遣セシムルガ如シ

## 2.6 公所

公所ハ会館ノ一種ニシテ同業組合トモ稱スベキモノナリ而シテ此同業組合ナルモノハ概シテ小商及ビ工匠ヨリ組織スル所ニシテ夫ノ商業会館ニ比スレバ其起原稍近時ニ在ルガ如シ蓋シ同業組合ノ



二三ト雖ドモ百年ノ星霜ヲ經過シタル者殆ンド之レナケレバナリ願フニ同業組合ノ始メヲ起生シタル原由ハ今ヨリ之ヲ認識スル能ハズト雖ドモ現時同業組合ノ状況ヨリ觀察スレバ同業組合ハ會館ノ制ニ因リテ形成セラレタルモノト謂フベシ

何レノ組合ニ於テモ各其規則アリ之ヲ赤紙ニ印刷シ又或時ハ美麗ナル金箔ヲ塗り商館又ハ工場ニ貼出セリ

組合ノ類其数多クシテ枚挙スルニ暇アラズト雖ドモ其組織ノ如キハ各組合ノ相符合スルヲ以テ二三ノ例ヲ示セバ其全体ノ実況ヲ窺知スルニ足ルベシ寧波ノ魚商組合温州ノ鍛冶組合大工組合線匠組合絹織匠組合磨匠組合郵便組合及ビ剃匠組合ノ如キハ何レモ他ノ組合ノ模範ヲ示スニ足ル者ナリ然レドモ今此等ノ組織ヲ逐一茲ニ記述スルヲ得ズ只其中ニ就キ二三ノ者ヲ左ニ摘記セン

寧波ノ魚商組合ハ寧波地方ニ於テ最富ノ組合商社ニシテ其資金ノ如キモ七十万弗ノ巨額ニ上リ或ハ銀行ニ或ハ質商ニ貸付シニ百分ノ一ノ利息ヲ取レリ蓋シ此利息ハ格外ニ低廉ナレドモ亦大ニ安全ナルヲ図ルヲ以テナリ其組合ノ例言ニ曰ク凡ソ商業取引ノ上ニ於テ売人買人共ニ利益ヲ享ケント欲セバ正実ト信誠トヲ以テ最乗ノ必訣トスベシ吾侪同商組合ト売買両者共同ノ利益ヲ図ラントスルモノナリ吾侪ノ正業ニ従事スルヤ既ニ久シ矣而シテ当初ニ在テ治定シタル規則ハ半バ廢絶ニ屬スルヲ以テ今之ヲ改正シテ時勢人情ニ適合セシメ売人及ビ買人ヲシテ正実ニ永ク此規則ヲ格守セシメルコトヲ期スト其規則ニ曰ク第一漁場ヨリ魚類ヲ運搬スル所ノ水夫若シ大籃ノ底中ニ砂土ヲ入レ偽リテ其量目増ストキハ過料トシテ一回ノ看戲費ヲ払ハシム第二同業仲間ハ一定ノ提秤ヲ備フベシ若シ犯則ノ秤ヲ用ユルモノハ又其過料トシテ一回ノ看戲費ヲ払ハシム

寧波魚商組合改正規則中提秤ノ次ニ各種大籃ノ量目及ビ魚類ニ関スル規則并ニ魚貨取扱ノ規則ヲ記シ録クシ税目ノ規則ヲ載セリ其中ニ就キ重要ナル点ヲ挙ゲシニ凡ソ公所仲間ハ正當ニ公所ヲ通過

セザル所ノ漁貨ヲ買フコトヲ准サバ各魚商ハ公所ノ規則ヲ格守スルノ保証金トシテ公所會計所ニ三千弗ヲ預クルモノトス但シ退所スルトキハ之ヲ払戻スベシ

温州ノ郵便組合ノ例言ニ曰ク弗又ハ証券ヲ包含スル所ノ書信ヲ郵送シ配達スルノ際遲延若クハ錯誤アルヲ許サズ若シ損失ヲ生ズルトキハ郵便組合ハ之レガ責任ヲ負フモノトス而シテ其報酬ニ至テハ甚ダ少小ナリ且ツ蒸氣ヲ利用シテ信ヲ通ズルコトノ始マラザル前ニ在テ郵便遞送者ノ間ニ存立セシ所ノ規則ハ今既ニ廢絶ニ屬セリ施行シテ事務ノ繁劇ナルニ從ヒ郵便局ノ数亦漸ク増加スルニ至リ寧波及ビ上海ニ至ル本局ニ於テハ新ニ規則ヲ制定シ税目ヲ決定スルヲ必要ト認メタリト今其税目ノ二三ヲ挙示セシニ温州ヨリ寧波ニ至ル書信一封毎ニ銅錢七十文上海并ニ広東迄百文北京并ニ漢口迄二百文トス然レドモ其沼路陸地多キトキハ其税金稍高キヲ要ス例ヘバ北京トノ航路塞ガル時ハ其税金ニ倍ヲ要スルガ如シ同業組合ノ規則ヨリ少額ノ郵税ヲ以テ書信ヲ遞送スルモノハ看戲費及ビ廟裡ニ点燈スル蠟燭一包ヲ罰セラルベシ

此郵便組合ハ温州ノ私信取扱局十二ヶ所以上ノモノ相結シテ共同ノ利益ヲ図リ税金ヲ一定セシガ為メ成立セル者ナリ此外別ニ公信局ナル者アリ然レドモ專ラ官府ノ書信ヲ取扱フニ過ギズト云フ由之觀之公所ハ會館ノ如ク事情ノ必要ヨリ起生セシモノニシテ其組織ノ如キハ誠ニ簡單ナル者ナレドモ能ク時勢ト共ニ改良進歩スルモノト云フベシ今全局ヨリ公所ノ実況ヲ觀察シ之ヲ条記類載スルコト左ノ如シ

## 2.6.1 第一勤勞時間及休日ノ事

凡ソ職工組合ハ仲間職工ヲシテ一定ノ時間外ニ仕事ニ従事スルヲ許サズ例ヘバ織物職工ノ如キハ午後九時後ニ仕事ヲナスヲ許サバ爾ガ如シ然レドモ日稼人ノ時間ニ関シテハ規定ナク唯習慣ニヨリテ之ヲ整理スルニ過ギズ木匠ハ夏期ハ十一時間冬期ハ九時間ヲ働キ右匠ハ木匠ヨリ更ニ半時間多シ



支那人ノ職工ハ概シテ道理ヲ弁ズルノ一部人民ニシテ其優劣巧拙ヲ問ハズ漫リニ賃金ヲ一定セシト期望スルコト決シテ之レアルナク又雇主ノ如キモ道理ニ答應スベキ性質ヲ有スルヲ以テ法律ハ敢テ賃金ヲ払フ所ノ種族即チ資本家ヲ侵害スルモノヲ保助セズ是レ資本家ト勤勞者トノ間ニ確執ノ生ズルコト殆ド之レナキ所以ナリ

顧フニ温州ノ裁縫匠ノ如キハ其一例トシテ之ヲ拳グルヲ得ンカ通常ノ裁縫匠ハ一ヶ月ニ銀五弗ト食料トヲ受取ルベシ是レ其職工ヲシテ家族ト共ニ生活スル必需品ヲ得セシムル所ノ賃金ナリ

支那ハ未ダ安息日ノ行ハレザル所ノ国ナリ故ニ支那職工ニ与ヘラル、所ノ休日ハ至テ少ナク年末ノ五日間年始ノ初十日間其他一年ノ中ニ於テ四日ニ過ギズ然レドモ職工ハ此等僅少ノ休日ヲ以テ奮ニ満足スルノミナラズ亦喜悅セリ誠ニ支那職工ノ命運不幸ナリト云フベシ

### 2.6.2 見習徒弟ノ事

同業組合即チ公所ハ手工上ノ主人ニ對シ其徒弟ノ数ヲ嚴制スルモノ多シ温州ノ金打匠ノ如キ組合ハ職工又ハ主人ノ子及ビ甥ノ外何人ト雖ドモ其職業ヲ習フヲ許サズ西洋ニ於テ偽開化人ガ婦人ヲシテ其適當ナル職業ニ就クヲ得ザラカシムルハ誠ニ言語同断ノコトナルガ支那ニ於テハ此ノ如キ習慣盛ニ行ハル、ナリ或ハ同業組合ノ規則即チ絹織匠組合ノ規則ニ組合仲間ハ職業ヲ婦人ニ教ヘ又ハ婦人ヲ傭使スルヲ准サズト製針匠組合ノ規則ニ製針匠ハ其妻及娘ニ針ノ目ヲ穿ツノ手芸ヲ習ハスコトヲ得ルト雖ドモ其娘ニシテ若シ仲間以外ノモノト結婚スルトキハ其職業ヲ禁ズト蓋シ破格ノ規則ナリ徒弟ノ年期ハ或ル職業ニ於テハ三年トシ又他ノ職業ニ尽テハ五年トシ年期ノ終リニ至レバ更ニ礼奉公ヲ務ムトヲ要ス之ヲ要スルニ徒弟ハ食物及寢舎ノミ供給セラル、ヲ以テ衣服ノ如キハ父母ヨリ之ヲ仕送りザルベカラズ凡主人ハ年期ノ滿限セザル所ノ徒弟ヲ傭使スベカラズ徒弟ノ傭工タラント欲スル者ハ職業始メノ披露トシテ看戲費ヲ出サバ

ルベカラズ或ル職業ニ於テハ徒弟ハ其年期奉公ヲ始ムルノ時及ビ之ヲ終ルノ時ニ於テ其組合一般ノ為メ醜金セザルベカラズ

### 2.6.3 罰則ノ事

看戲食卓三擡及飲料ヲ以テ通常ノ罰トス蓋シ支那ニ於テ犯則者ヲ罰スルニ此等ノ種類ヲ以テスルモノハ支那人特徴ノ一トシテ視ルベキカ孔子ノ說ニヨルニ古昔射手ガ矢箭ヲ放ツテ的中セザルトキハ酒ヲ飲ムヲ例トセリ此支那一般ニ飲食ヲ以テ罰ニ代エルノ習慣ヲ生ゼシ所以ナリト吾人ノ知ル所ニテハ敵国若シ相和セバ即チ必ず酒宴ヲ催スノ例慣アリ且ツ又支那人今日ノ習慣ヲ致シヨル原因ナラン

## 2.7 上海工匠及傭人ノ給料

名称	一日或ハ一月	賃錢
大工	一日	三十五仙ヨリ三十仙
左官	〃	〃
仕立職	〃	四十仙ヨリ二十八九仙
商業支配人	一ヶ月	二十元ヨリ十元内外
一等手代	〃	十五元ヨリ七八元
二等手代	〃	十二元ヨリ六七元
三等手代	一ヶ月	八九元ヨリ四五元
四等手代	〃	六七元ヨリ三四元
倉取締一	〃	十元ヨリ五六元
小僧	〃	一元五十仙ヨリ四五十仙
會計方	〃	十五元ヨリ七八元

## 2.8 上海市場織物丈尺幅員

品名	丈尺	幅員
縮緬	四丈五尺ヨリ四丈内外	二尺ヨリ一尺二寸
縹子	五丈ヨリ三丈四五尺	二尺五寸ヨリ二尺内外
絹頓	全	全
絹	四丈二三尺ヨリ四丈	一尺四寸
緞子	五丈内外	二尺内外
紗綾	四丈二三尺ヨリ三丈	一尺四五寸ヨリ一尺
紗	五丈ヨリ三丈五尺	二尺ヨリ一尺二寸
木綿(一反)	二丈四尺ヨリ一ダケ八尺	一尺二寸ヨリ九寸
呉縞	四丈内外	一尺六寸
縹子	三丈	一尺一寸ヨリ一尺

## 2.9 上海ニ於ケル銀行

名称	資本金	位置
徳華	上海銀 五百万両	英租界 黄浦灘
滙豐	洋銀 七百五十萬元	” ”
仏蘭西	” 千六百万元	” ”
阿加利	上海銀 一百万両	” ”
日昇昌	” 七十万両	” ”
志成信	” 一百万両	” ”
三和源	” 五十万両	” 興仁里
新康厚	” 二十五万両	” 選青里
立大	上海銀 十万両	英租界 泰記街
元姓	” 五十六万両	” ”
公大	” 十五万両	” 濟陽里
有利	英貨 七十五万磅	” 揚子江路
廉和	” 二百万磅	” ”

## 2.10 釐金税

抑モ釐金ハ清国ニ於テ古代ヨリ行ハレタルモノニアラズ彼ノ長髮賊猖獗ノ時ニ当リ揚州ニ大營回集シテ軍餉支ユル能ハザルニヨリ各路ノ将官日々ニ百姓ノ家ニ就キ戸毎ニ錢一文ヲ徴収セシガ偶々湖北武昌府ノ人汪ナル者アリ仙女鎮ノ本營ニ在リテ師爺トナリシガ此ノ如キ各将官ノ所為ヲ見テ策ノ得タルモノニアラズトシ自ラ厘金策ヲ講ジテ該本營ノ雷大人ニ建言スルヤ雷大人ハ之ヲ試行セシ果シテ好果ヲ得シヲ以テ之ヲ皇上ニ奏明シ仙女鎮ノ各会館ニハ経来厘金ヲ抽取スルノ慣例ヨリシニ基キ咸豐三年六月遂ニ之ヲ天下ニ施行シテ以テ軍需ヲ濟ミ坐買ハ即チ月ヲ按ジ取捐シテ板厘トナシ行商ハ則チカヲ設ケ抽捐シテ活厘トシ利ヲ獲ルノ厚薄ヲ査シ約百中ノ二三ヲ取り商価ハ病累ヲ致サズ軍餉以テ充ツルニ至ラント云ヘリ

此ノ如ク厘金ノ制ハ全ク一時ノ急需ニ応ジタルモノニシテ固ヨリ政略上ノ一手段ナレバ其逆賊ノ徒亡滅シ天下平和ニ帰スルノ時ニ至テハ其新募ノ勇軍ヲ解隊シ併セテ厘金ノ法ヲモ廃止スベキモノナリシニモ拘ハラズ清政府ハ尚殘賊ノ復帰セシコトヲ恐レ僅ニ故ノ曾國藩ノ奏議ニ依リ二万有餘ノ勇軍ヲ除隊セシニ止マリ其餘ハ皆各省督撫ノ下分属セシメ而シテ之ニ充ツベキ軍餉ナキヲ以テ厘金ノ制ヲモ依然存立シテ今日ニ至リシナリ

然ルニ厘金ノ制タル原ヨリ一定ノ成文アルナク一二各省督撫ノナス所ニ放任シ毫モ中央政府ヨリ之ヲ監督統一セザルヲ以テ各省督撫ハ各自ノ意見ニ從ヒ或ハ管下ノ經費給セズトノ口実ヲ設ケテ卡局ノ數ヲ増還スルヤ彼ノ太平賊以前ニハ各省只一ノ征関局ヲ有スルニ過ギザリシモ今日ニ至テハ卡局ハ天下到ル処ニ散布シ凡ソ數十哩毎ニ存在セザルハナシ而シテ釐金局ノ數ニ限リナク厘金ノ稅率ニ定リナク又厘金局ト官吏ニ章程ナクシテ各省各地ノ厘金局ニ於テ各其稅率ヲ私定シ漫リニ貨物ノ上ニ厘稅ヲ課徵セリ今千八百六十九年上海稅関報告ニヨリ其輸入重要品ノ輸入正稅ヲ納メタル後モ内地ノ一市場ニ転運スルノ際及其途中ニ於テ課徵セラレタル厘金表ヲ製シ左ニ之ヲ掲載ス

右ノ表ニ記載スルガ如ク僅ニ五百里(支那里程)内外ノ間ニ在リテ厘金局ノ多キトスノ如ク厘稅ノ夥シキトスノ如ク又稅率ノ不定ナルコトスノ如シ若シ斯ク厘金局ノ要スルニ從ヒ其金額ヲ払ヒ行カバ焉ソノ能ク貨物ヲ甲地ヲ乙地ニ運搬スルヲ得ンヤ將ニ其苛斂播兇ニ堪ヘザラントス聞ク所ニヨレバ小舟ノ四川省重慶ヨリ長江ヲ下リテ鎮江ニ至ルノ間ニ於テ厘金及ビ関稅ヲ払フベキモノ十九ヶ所ニシテ又其噸稅ヲ払フコト四回ナリト亦以テ厘局ノ夥多ナルヲ推知スベシ然レドモ厘金ノ徵收法及收稅高ノ如キハ固ヨリ之ヲ確知スルニ由ナク隨テ之ヲ明言スル能ハズト雖ドモ前掲ノ表ニモ見ユルガ如ク貨物ノ種類ニ依リ或ハ從價稅ヲ課シ或ハ從量稅ヲ課シ又或ハ從數稅ヲ課ス船舶ノ如キハ之レニ噸稅ヲ課スト云ヘリ由是觀之其課稅ノ主意ハ可成丈ケ多ク税金ヲ収メントスルニ在ルガ如シ例ヘバ漢口地方ノ小舟ハ概子一種特別ノ形体ヲ有シ大抵ノ辺ニ貨物ヲ積ムコト最モ多キヲ以テ其噸數ヲ測度スルニ当リ舟ノ大椀ノ桁巾ヲ量スルト雖ドモ蕪湖ニ於テハ舟ノ形体其長サノ割合ニハ巾甚ダ広キヲ以テ之レガ噸數ヲ量ルニ其長ヲ採ルガ如シ尤モ舟ノ長サ三十尺(支那尺)來滿ノ小舟ニハ噸稅ヲ課徵セズト云フト雖ドモ此噸數稅法ニ至テ

清国輸入重要品厘金表

港市名	理税	往開所	税目	税率				
				鴉片烟	抽釐稅	毛織物稅	金銀價目	
自天津至漢口	(二百〇九噸)	天津	洋藥捐	十八兩六				
			法蘭門	門捐	三百兩	全上	全上	
			克敏子	舖捐	俵伍	三分五	全上	全上
				洋藥價捐	三斤八片包二錢	全上	全上	全上
				此等地方ニ於テハ各種ノ貨物ニ同ニ從價稅或ハ從價稅ヲ課スルモノナリ				
自天津至北京	(五百噸)	天津	厘金	十七兩	四分二厘	四分	三錢三分	
			東門門	正稅	三十六兩	二錢		
			平定門	厘捐	五十五兩一包五錢	貳錢餘		
自芝罘至青島	(三百三十噸)	芝罘	厘金	一兩四錢五錢				
			內地出口稅	十四五錢				
			洋藥稅	貳兩				
			煙公所稅	貳兩				
			紅花	一兩六錢				
	徵稅	以上三所何レモ課稅セズ又毛織物及金銀ノ如キハ轉運ノ市場ナキヲ以テ隨テ其厘金ヲ課スルニ由ナン						
自漢口至汕頭	(二百九十噸)	漢口	厘金	二兩四錢	五十八文	二百十六文	三百九十二文	
			北河口	全	八兩六錢	百二十文	二百二十文	百七十文
			岳州	全	二兩〇四錢	百十文	九百四十文	三百九十文
			九江	洋藥稅	一兩三十四			
自九江至南昌府	(七十八噸)	九江	厘金	七錢	三分	全上	全上	
			烏石州	全	四兩六錢五分	三十三文	八十七文	
			德安府	全	四兩三分			
			撫州府	全	四兩六錢五分	共百五十兩	四百六文	共六百文
			南昌府	全	九兩九錢五分			
自九江至漢安府	(百四十噸)	漢安府	松陽分局	二十兩				
			廣防捐	五兩				
			局用	一兩四錢				
			海關稅	四兩				
			海關稅	四兩				
			海關稅	四兩				
			共計	三十八兩四錢				
			漢安	厘金	二十四兩			
			自新開河至漢安府	全		五百五十八文	一千七百廿六文	二百十文
			自上海至蘇州	(七十五噸)	上海	出口稅	十兩	
蘇州局費	二兩二錢							
巡捕	二十二兩							
巡捕費	三兩							
巡捕	貳錢							
廣防捐	五兩五錢							
金局費	四錢							
碼頭費	四錢四分							
共計	四十四兩七錢四分							
上海安捐局		四分九厘				壹錢三分	貳錢四分	
周太極廟捐局		七十五文				九百文	貳百文	
漢口碼頭捐局		七十文				三百五十文	一百文	
蘇州地捐局		五十文	六百文	二百文				
自蘇州至杭州府	(百三噸)	蘇州	洋藥捐	三十四兩	一百文	三錢三分	五錢	
			北門卡		七十六文	三百六十文	四百五十文	
			竹山港		三十八文	八百八十文	四百五十文	
			曹鎮		七十六文	二百六十文	一千八百文	
			西興		三十八文	百八十文	一千八百文	
自蘇州至建寧府	(八十七噸)	福州	釐稅	四十一兩四錢				
			厘金	十九兩二錢				
			防軍金	五兩				
			釐稅	七兩				
			官行費	一兩四錢四分				
			小稅	二兩七	五分四厘	壹錢		
			延平府	厘金	五兩三錢			
			建寧府	全	五兩六錢			
			大安	全	十四兩二錢			
			政和縣	全	五兩六錢			
邵武府	全	五兩三錢四分						
興田村	全	六兩六錢八分						
水口	全		五分四厘六	四錢二厘五	六錢三分			
竹筒院稅	釐稅		二分二厘	五錢七厘五				
自廈門至汕頭	(二十四噸)	廈門	大行	一兩四錢	八分		從價五分	
			寶號堂	二兩八錢				
			怡昌行	一兩四錢				
			海防局	十五兩				
			厘金	六十九兩二錢六分	二錢三分	七錢五分	二錢四分	
			共計	九十四兩二錢六分				
			汕頭府ニハ牙行ト稱スル稅ヲ課シ其額シモ千八百六十九年後之ヲ課ス					
自汕頭至福州府	(十噸)	汕頭	厘金	拾兩				
			沙鹿村	四錢二分				
			會館費	四				
			老翁費	二錢二厘				
			月補給	厘金	二錢八分			
			烏龍茶	兩	一兩一錢九分			
			茶葉	兩	一兩五錢五分			
			茶葉局	兩	七錢			
			取回	釐稅	三分一厘	一錢三分八厘	一錢七分	
			福州府	厘金	六分二厘	一錢一分	二錢五分	

ハ各地一様ナラズ只其舟主又ハ貨主ヨリ稅吏ニ向テ贈ル所ノ賄賂ノ多少ニ依リ之ヲ變更スルヲ得ルノミ而シテ其貨ヲ載セザル船ト雖ドモ厘局ノ所在ヲ通過スレバ噸數ヲ払ハザルベカラズトス厘金局ハ概シテ水陸ノ要地ニ設置スルノミナラズ苟モ商業ノ行ハル、所ノ河江ニ沿ヘル各村港ニモ亦之ヲ設ケ此所ニ於テハ途中支払フベキ厘稅ノ外別ニ陸上稅金ヲ徵收スト云フ

右ノ如ク厘金局ノ數夥多ニシテ稅金ノ程度定マラザルニヨリ商民ヨリ徵收スル所ノ高ハ實ニ非常ノ巨額ニ上ルベシト云フ外ナシト雖ドモ其國庫ニ入ル所ノモノハ全收額ノ三割乃至四割ニ過ギズ其餘ノ七割乃至六割ハ皆之ヲ取扱フ所ノ官吏ノ私スル所トナルト云フ蓋シ一方ニ於テ商民ハ賄賂ヲ使フテ以テ厘金稅ヲ免ル、モノ多キト同時ニ他ノ一方ニ於テ或ハ捐金シテ厘局ノ官吏トナリ或ハ期限ヲ定メテ厘局ヲ貸借シ以テ商民ヲ虐取シ而シテ各省督撫ニ至テモ實ヲ以テ政府ニ報セズ或ハ收入高百兩アルモノヲ五十兩ト報ジ甚ダシキハ三十兩ト報ズルモノ往々之レアルノミナラズ其屬僚官吏も亦遞次不實ヲ以テ上ニ報シ軋々虚伝シテ以テ其間ニ私利ヲ謀ルヲ常トセリ

### 2.11 半稅

清国内地ニ於テ厘金ノ外半稅ナルモノアリ半稅トハ英語ニテ「トランジットデユ」ト稱シ直訳スレバ通過稅ト云ベキモノナリ彼ノ清商ガ内地ニ於テ貨物ヲ運搬スルノ際及ビ其途中ニ於テ納ムル所ノモノハ即チ所謂厘稅ニシテ通過稅ニハアラズ外國商ガ外國ヨリ貨物ヲ清國ノ或ル港ニ輸入シ更ニ内地ノ一市場ニ轉運セシト要スルトキハ輸入正稅ヲ払ヒタル上別ニ其正稅ノ半額ヲ納メ分運單(トランジットパス)ヲ受領シ之ヲ其貨物ト共ニ運送スレバ途中幾多ノ厘金局アルモ皆免稅通過スルヲ得此半稅ハ元ト外國商ガ條約上ニ於テ清国内地通商上ニ関シ一特典ヲ得タルモノニシテ清商ニハ適應スベキモノニアラザリシガ近來清商ハ外人ノ名義ヲ籍リテ此分運單ヲ受領シ固ヨリ内地ノ厘稅ヲ

免ル、ノ弊アリ例ヘバ漢口ニ於テ外商ヨリ外国貨物ヲ買取り之ヲ内地ニ送ラントスルトキハ清人必ズ其分運単ノ有無ヲ問ヒ若シ之レアルトキハ之ヲ貰ヒ受ケ途中ノ厘金ヲ免ジ甚ダシキハ其貨物ト符合セザル分運単ヲ以テ途中厘金ヲ免ル、コトアリ蓋シ清国内地ノ厘金局官吏ハ大抵洋字ヲ知ラザル故清人ガ之レハ此貨物ノ分運単ナリト云ヘバ夫レニテ事ヲ済スヲ以テナリ

又此通過税ハ其字義ノ指示スルガ如ク関局ヲ通過スル貨物ニ課税スルモノニシテ内商ノ貨物ニモ之ヲ課スル場合アリ例ヘバ内商ガ貨物ヲ外国輸出セントスルニ當リ若シ其貨物漢口ヲ經テ上海ニ至ルトキハ先ヅ漢口税関ニ於テ輸出正税ヲ払ヒ又更ニ正税ノ半税ヲ納メ之ニ對スル戻税券ヲ領取シ上海ニ向テ之ヲ運送ス若シ上海ニ於テ之ヲ外国ニ輸出セズシテ清国内ニテ消費スルトキハ其半税ハ之ガ払戻ヲ請求スルヲ得ズ此場合ニ於テ通過税變ジテ厘税トナルガ如シ

## 2.12 支那ノ銀行

支那ニテハ銀行條例ノ如キ完全ナル法律アリテ其營業ヲ規定スルニ非ズト雖ドモ習慣ノ久シキ自ラ一定ノ律ヲナシテ各自能ク之ヲ守リ頗ル見ルベキモノアリ是レ其習慣律ニ從ハザルトキハ世間ノ信用ヲ得ズ隨テ營業繁盛セザルニ由ルナリ而シテ上海及其他各地ノ銀行其習慣ヲ異ニセザルニアラザレドモ大抵相同ジキヲ以テ北京ニ在ル銀行ノ狀況ヲ記シテ其概梗ヲ知ラシム銀行ヲ總稱シテ銀舖ト云フ其資本富裕ニシテ取引ノ広キ大店ヲ銀号(国立銀行ニ等シキモノ)ト呼ビ中等ヲ錢卓子又ハ烟錢舖(私立銀行ニ等シキモノ)ト呼ビ其最モ小ニシテ招牌ヲ掲ゲザル店ヲ母錢舖ト云フ其銀行ヲ開店セントスルトキハ現在營行スル所ノ同業者ニシテ未ダ曾テ他ノ銀行ノ開店ヲ保証セザル四ヶノ銀行ヲ保証人トシテ其屋号及銀主株主頭取支配人等ノ貫籍姓名年齢等ヲ記シテ營業願書ヲ其筋ヘ差出シ許可ヲ得ルコトナルガ近来其出願者非常ニ多クシテ現在銀行ノ營業ヲ害シ且ツ確實ナルモノ

少ナキヲ以テ政府ハ銀行ノ數ヲ定メ定數外ノ開業ヲ許サズルガ故ニ倒閉スル銀行アルカ又ハ現在ノ營業株ヲ譲リ受クルニアラザレバ新タニ開業スルコト能ハザルナリ資本ハ一ヶ富者ガ支出シテ銀主トナルコトアリ又親屬又ハ朋友ヨリ株主ヲ募集スルアリ世間ニ向テ廣ク株主ヲ募集スルモノナキニアラザレドモ株券ヲ發行シテ隨時之ヲ売買スルコトナシ通常ノ銀行ニハ頭取支配人各一名番頭手代數名ノ外ニ徒弟ト稱シテ若干ノ丁稚ヲ置ク頭取支配人ノ如キハ銀主又ハ株主ガ鑑定シテ他ヨリ雇入レ其業務ヲ委任スルアリ又別ニ跑行市ノト名ツケ毎朝相場所ニ赴キ專ラ銀兩ノ売買ヲ兼子テ相場ノ高低ヲ通報スル役員アリ大銀号役員ノ如キハ頭取支配人トモ二三名ナリテ番頭手代ノ多キハ十餘名ニ及ブモノアリ各自科ヲ分カツテ其業ヲ專任ス徒弟ハ二三十名ヲ雇使スルアリ而シテ營業上ノ規律井然トシテ嚴格ナルコト欧米各国ノ大商店ニ優レリ且ツ約束手形割引手形等ヲ發シテ他ノ商業上ニ利便ヲ与ヘ商機ヲ活潑ナラシメ金融ノ円滑ヲ謀ル等我国々立銀行ノ遠ク及バザル所ナリ

錢舖普通ノ業務ハ銀兩売買、紙幣發行、為替、両替トス尤モ大銀行ニ至ツテハ官府ノ用達トナル等別ニ種々ノ業務ヲ帶ルモノアリ銀兩ノ売買所ヲ銀市ト名ク城内ノ銀行者毎朝此所ニ會シテ隨意ニ銀兩ノ売買ス其相場ニ甚ダ高低アリ銀行發行ノ紙幣ニ錢票、銀票ノ二種アリ即チ錢札(上海ノ銀行ハ錢札ヲ發行セズ)ト銀札ニシテ多クハ其銀行所在ノ地区内一般ノ通用ニ限ル尤モ他ノ州県ト雖ドモ之ヲ發行スル所ノ銀行ノ支店等ニハ差支ナク通用ス其幣幣ヲ發行セントスルトキハ予メ發行高ニ應ジテ若干ノ現錢ヲ貯蓄シテ引換ノ準備トセザルベカラズト雖ドモ政治法律ヲ以テ之レヲ規定セザルガ故ニ現錢ノ貯藏ナクシテ妄リニ多額ノ紙幣ヲ發行シ大利ヲ得ント欲シテ却テ世間ノ信用ヲ失ヒ損失倒閉セルモノ少カラザリシガ前車ノ覆轍ヲ鑑ミテ自然此ノ如キ銀行者ヲ減ズルニ至レリ且支那人ハ其創立ノ新旧ニヨリ妄リニ營業ノ確否ヲ判ズルガ故ニ老舖ナルトキハ仮令其資産欠損スル所ア



ルモ其店ノ紙幣ヲ信ジテ現銀引換ヲ請求スルモノ反テ少ナク携帯不使ノ銀塊ヲ持来リ紙幣ニ代スルガ故其紙幣ノ普ク民間ニ流通シ為ニ一層ノ信用ヲ増シ随テ取ムル所ノ利益多ク遂ニ能ク安全ノ位地ヲ保テリ倒閉セザルヲ得ルモノ亦少ナカラズ只福州ノ銀行ハ大店ニシテ往々倒閉スルモノアリ一ノ大店倒閉スルトキハ数ケノ小店ヲ基倒シニナリ損失ヲ民間ニ波及スルコト尠カラズ是レ現銀ノ準備ナクシテ妄リニ多額ノ紙幣ヲ発行スルニヨルモノナリ銀兩ヲ地方ヨリ北京ニ送り北京ヨリ地方ニ送ルニ為替ヲ組ムハ匯兌庄（為錢店）ノ業務ナルガ銀行ニ於テモ此業ヲ兼務ス為替ノ組方手續ハ我國ニ於ケルト異ナルナキモ為替料ハ道路ノ遠近ニヨリテ差アリ兩替ハ兌換舖ノ業務ナルガ北京ニテハ錢舖又ハ匯兌庄ニ於テ兼務スルヲ以テ別ニ兌換專業ノ店ナシ兩換法モ亦我國ト同様ナリ只銀兩ノ価格各地其制ヲ異ニスルヲ以テ為替兩換共其趣ノ異ナルモノアリ大錢舖ノ普通業務ノ外ニ政府ノ用ヲ達ス所ノ重ナルモノハ國庫金立換（年一割乃至一割六分ノ利息）家屋税ノ取立及ビ雜税ノ取次（相当ノ手数料アリ）等ナリ又別ニ官民ノ預ケ金ヲ領シテ之ヲ運轉シ地方新任官ノ旅費ヲ代弁（利息ヲ受ケズ）シテ報酬ヲ得ル等枚挙ニ遑アラズ

### 2.13 支那銀行ノ起原及現状

支那銀行ノ起原ハ支那好古家ト雖ドモ之ヲ知ラズ但兩換、預金、貸金ノ三者ハ殆ンド貨幣鑄造ト同生ノモノタルヤ必セリ往時ニ在リヲ皇帝ガ利子ヲ取リテ金錢ヲ臣民ニ貸付ケシコトアリ周歴史ニヨルニ錢局ヲ設ケ官吏四名ヲ以テ之ヲ監督指揮セシム該官吏ハ物品税金ヲ領受シ又金錢ヲ民衆ニ貸付シ其利息ヲ取立ツルノ代リトシテ民衆ヲ勞役ニ就カシメ其年ノ終リニ至リ元金ヲ返還セシメタリ此奇異ナル錢局ハ又売銷シ難キ物品ヲ買取り之ヲ倉庫ニ蓄藏シ其買入レタル代価ヲ以テ売却シ得ベキ時ヲ待ツ又祖先ヲ祭ルガ為メ供用ノ器具ヲ十日ノ期限ニテ貸付シ喪服ヲ一ヶ月ノ期限ニテ貸付セリ然レドモ皆其損料ヲ取立テズ唯毎年終リニ至リ

其餘有資金ヲ皇帝ニ納メシニ過ギズ漢武帝（紀元前百四十一年ヨリ同七十九年ニ至ル）ハ利子ヲ取リテ金ヲ貸スノ職ヲ二名ノ官吏ニ委セリ此外皇帝ガ金ヲ貸セシ例支那歴史ニニツアリ其一ハ王莽ガ臣民ニ最小ノ金ヲ貸シ一ヶ月毎ニ三分ノ利子ヲ取リシコトアリ王莽ハ商賈トナリ又銀行者トナリ物価廉ナルトキハ之ヲ買ヒ物価高キトキハ之ヲ売レリ其言ニ曰ク古人ノ先例ニ倣フナリト又他ノ一例ハ紀元千〇六十八年ヨリ同八十五年ニ至ルノ間ニ於テ宋ノ皇帝銀行業ヲ取リシコトアリ當時皇帝ハ半年ヲ期シ錢千文ヲ臣民ニ貸シ期限ノ終リニ二千文ヲ要求セリ又穀物ヲ貸シ更ニ高利ヲ取立テリ然レドモ人民ヨリ政府ニ貸金スルノコトハ未ダ行ハレザリシナリ前漢ノ時有名ナル銀行者アリ其名ヲ弘羊ト云フ弘羊ハ有餘者ヨリ金ヲ預リ而シテ之ヲ足ラザル者ニ貸付シ以テ手数料ヲ取レリ蓋シ弘羊ハ銀行業ヲ創始シタルモノナリ然レドモ此銀行業ハ恐クハ封建ノ制度廢シテ後ニ行ハレタルモノナラン支那銀行ノ歴史夫レ此ノ如ク明了ナラズト雖ドモ要スルニ上ハ政府ノ便ヲ図リ下ハ人民ヲ利ヲ図ンガ為メ錢局ノ如キ制ヲ建テタルニ基因シテ今日ノ銀行制度ヲ創立スルニ至レルモノナリ

今上海銀行會館ノ起原ヲ尋スルニ道光年間ヨリ久シク經テ後起生シタルモノニアラズシテ上海港開市ノ時ニ始マリタルガ如シ道光及咸豐年間ニ於テハ銀行事業ヲ行フベキ規則ヲ制定セシガ爾後其銀行創立者ノ精神ト相異ナル所ノ銀行ノ數愈増加シテ銀行事業却テ停滯不動ノ域ニ陥リ至善ノ規則モ實際ニ行ハレズシテ現今ニ至リ銀行者者中十ノ八九ハ閉店スルヲ見タリ於是乎銀行者ハ謂ヘラク夫レ樹木ノ繁茂ナラシコトヲ欲セバ必ズ其根ヲ培養セザルベカラズ今ヤ銀行事業ノ停滯不動此ノ如ク夫レ甚ダシ蓋シ其根本タル規則ノ時勢ニ適應セザルニ由ルナラン今ノ時ニ當リ宜シク更ニ善良ナル規則ヲ再定シ以テ銀行業ノ繁榮ヲ計ルベシト乃チ會議ヲ開キテ十等ノ規則ヲ改正シ新ニ規則ヲ立テタリ今其大要ヲ左ニ摘録ス

### 2.13.1 現金証券ノ手数料

上海通用銀錢ヲ領取シ又ハ之ヲ支払フニ於テハ決シテ欺騙ノ所為アルベカラズ廣東福建四川及漢口ノ物品並ニ鴉片ノ商賈及ビ其他一般ノ商人若シテ外国商人ヨリ小切手ヲ受取り之ヲ會館銀行ニ差出ストキハ一千兩ニ付半兩(日本ノ七十錢餘ニ当ル)ノ手数料ヲ払フベシ蓋シ此規則ハ新ニ規定シタルモノニシテ其理由トスル所ヲ按ズルニ該小切手ハ一覽後正銀ヲ以テ支払ハザルベカラズ而シテ銀塊ヲ得ルニハ多少ノ費用ヲ請セザルヲ得ズ殊ニ商業不景氣ノ時ハ最モ然ルモノニシテ且ツ可數ノ金高ニ於テハ損耗アルヲ免レズト云フニ在ルガ如シ此レト同一ノ理由ヲ以テ寧波、紹興、杭州及ビ蘇州ニ向テ正銀ヲ支払フベキ証券千兩ニ付三錢(我十錢七厘)ノ手数料ヲ取り又嘉興、禹州、福州、揚子江各港及山東直隸ニ向テ發出スル小切手ニモ同額ノ手数料ヲ課ス

### 2.13.2 利息ノ事

新規則ハ從來上海ノ銀行間ニ行ハレタル嚴高利即チ千兩十日間ノ利息十弗ヲ要スルノ習慣ヲ制止セリ預リ金ニ對スル利息ハ銀行ニ於テ之レヲ使用セザルトキハ稍低ク而シテ其支払フベキ利息ノ高並ニ借主ヨリ取立ツベキ額ハ毎月五日ヲ以テ銀行ヨリ公告スルモノニシテ此金高ハ總テ會館會議ヲ以テ之ヲ定メ毎月末ニ於テ預ケ主ニ勘定ヲナスモノトス上海ノ利息割合ハ十五日ヲ以テ之ヲ公告シ五日ヲ以テ公告スルモノハ他ノ諸港ニ適用スルモノニ係ル茶及ビ糸ノ前金ノ利息ハ一日半兩ノ割合ヲ以テ之ヲ取立テ勘定ハ毎月末ニ於テ之ヲ送ルベシ兩換所間ノ取引ニ於テ其會館銀行ノ利息ハ各々之ヲ定ムルト雖ドモ大抵千兩ニ付二錢トス此等兩換所ハ陝西ノ一大銀行ノ代理店ニシテ此大銀行ハ支那諸地方ニ資金ヲ送遣スルモ上海銀行會館ト關係セズ

### 2.14 福州領事館莫大小試売ノ景況

莫大小類ハ從前輸入シ來タリシモノニ比スレバ

改良進歩ノ点少ナカラズ以テ大ニ好評ヲ得タリ依テ此際一方ニハ尚改良ヲ勤メ一方ニハ深く粗造ヲ誡シメ以テ盛ニ輸入スルニ至レバ將來木綿織物類ト共ニ一廉ノ貿易品トナルヤ疑フベカラズ但莫大小ノ内ニテズボン下ハ需要者甚ダ少シ肌着十枚ニズボン下一枚ノ割合ニテ輸入セバ可ナラシ沓下類ハ色物ヨリモ矢張り純白ノモノヲ好良トス最モ白十打ニ色物一打ノ割合ナレバ先行可ナルベキモ概シテ沓下ハ売行惡シ蓋シ支那ノ沓ハ西洋沓ト異ナリ沓下ヲ大半ハ見ハスモノナレバ莫大小沓下ニテハ甚ダ穢ラシク見ユルトテ嫌惡スル故白沓下ナラバ矢張り純白ナラデハ売口ナシ「サルマタ」ハ勿論当地方ノ支那人ニテ用ナキナリ依テ莫大小ニテハ第一肌着ノ輸入緊要ナリトス

明治廿四年八月 日調

### 2.15 自來水

上海ハ井戸ナキヲ以テ居留ノ人民ハ真赤ニ濁リタル河水ヲ汲ミ之レヲ澄シテ飲料ニ供セシガ開港場トナリシ以來外人中ニ水道ヲ設ケテ飲料及ビ使用ノ水ヲ得ント企テ英國龍動及ビ上海ニ於テ其資金ヲ募集シテ其工事ニ着手シ滿二ケ年ニシテ浚切シ明治十八年ニ給水ノ業ヲ始メタリ之ヲ自來水ト名ケ皇城ノ東北美租界ノ東端揚樹浦ニ在リ混濁セル浦江ノ水ヲ先ヅ蓄水池ニ導キ充分ニ汚泥ヲ沈殿セシメ後之ヲ他ノ池ニ導キ瀝水盤ニ移シ能ク濾澄シテ之ヲ送水井ニ充タシメ夫レヨリ地中ノ大管水道ヲ通シテ英租界中ニ設ケタル貯水樓ニ送ル皆汽力ニ由テ之ヲ為ス其貯水樓ニ送ル所ノ水量ハ毎時十萬ガロン(我二千五百石)ナリト貯水樓ハ本局ヲ距ルコト三哩ニシテ其地平ヨリ高キコト百二十九尺常ニ貯フ所ノ水量十五萬ガロン(我三千七百五十石)ナリト此樓ヨリ地中ヲ通シテ三租界内縦横ニ大小ノ鉄管ヲ導キ毎戸ニ給水ス二階三階ノ樓上ニモ噴機ヲ備ヘ水ヲ得ルコト容易ナリ此他路傍各處ニ噴機ヲ備ヘ常ニハ之ヲ鎖シ置キ火災消防及ビ道路撒水ノ用ニ供ス初メ此業ヲ起スニ際シ從來河水ヲ汲取リテ之ヲ需用者ニ売ルヲ業トセシ者及



ビ其水ヲ運搬シテ生計ヲ営ミシ賤民ハ自己ノ營業ヲ失ハスコトヲ憂ヒ其起業ヲ妨害セント企テنگ本局ハ之ヲ論シ給水者ト約ヲ結ビ從來ノ運搬夫ヲシテ路傍ノ噴機ヨリ清水ヲ汲取リ之ヲ需用者ニ供給スルコトヲ許セシヲ以テ其場所ト時トヲ定メ路傍ノ噴機ヲ開クヲ給水者ノ汲取ルニ任ス是レ支那人ノ家ハ大抵水管噴機ヲ備ヘズ此給水ヲ需要スルニヨルナリ而シテ本局ノ給水ヲ仰グ居留人ガ本局ニ向テ支出スル給水費ハ通常一戸ニ付噴機ニケ所ニテ洋銀二弗トシ業務ニヨリ格外ニ多量ノ水ヲ使用スハ家ニハ別段ノ費用ヲ課スル定メナリ此自來水ノ設ケアリテヨリ以來上海居留ノ人民汚濁不潔ノ河水ヲ澆〔汚塵〕澄シテ飲料ニ供スルノ不便ヲ免レシノミナラズ健康上莫大小ノ裨益ヲ得テ居常非常ノ愉快ヲ感ジ夏季流行病ノ蔓延ヲ防圧スルノ功尠トセズ

## 2.16 鴉片

支那人ノ鴉片烟ヲ嗜ムコト甚ダシク實ニ言語ニ絶セリ各地到ル処其烟ニ咽ハザルハナシ市街各処ニ烟館アリ公烟等ノ招聘ヲ掲グ老若男女日夜出入雜沓ヲ極ム河岸ニ一大樓船ヲ浮ベテ吃烟ノ客ヲ延クアリ茶館酒樓ニモ必ズ吃烟ノ室ヲ設ク其烟毒ノ身体ヲ害シ生命ヲ損スヲ知ルト雖ドモ一朝其味ヲ得テハ自ラ禁ズルコト能ハズ今日ニ於テハ官民一般ニ之ヲ以テ欠クベカラザルノ要具トナルモノ、如ク為メニ財産ヲ蕩尽スルモノアルコト猶女色ニ惑溺シテ自ラ覺ラザルニ同ジ故二年々印度ヨリ輸入スル鴉片ノ多額ナルコト驚クニ餘リアリ近年山西、四川等ノ諸省ニ之ヲ播種シテ多ク製造スルニ至レリト云フ支那全国ノ人民遂ニ此烟毒中ニ在リテ呼吸スルノ慘状見ルベキナリ

## 2.17 支那人ノ衣服

支那人ノ衣服ハ貴賤ニ依リ精粗ノ別アレドモ其式様ハ一定シテ我国ノ洋服、袴羽織、着流、兵児帯、半纏股引等ノ如ク区々ナルコトナシ上等ノ人ハ緞子、襦子、綾、繭綢紋縮緬ノ類ニシテ重ニ浙

江ノ産ヲ用ヒ山東河南四川等ノ産ハ粗ナリトシ之ヲ用ヒズ中等ノモノハ其粗ナル緞子、綾、及ビ絹ノ類ヲ用ヒ半バ綿布ヲ用ユ下等ハ縲テ綿布ニシテ本國産ヲ用ヒシガ價ノ廉ナルヨリ近來舶來ノ金巾ヲ用ユルモノ多シ夏ハ一般ニ麻布ヲ用ユ上等ノ麻布ハ其價絹ヨリモ貴シ北地ノ人民ハ冬季皆裘衣ヲ着ス裘衣ニハ種々ノ制限アリテ猥リニ着スルヲ得ズ即チ貂ノ裘衣ハ一二品ノ官ニアラザレバ用ユルヲ得ズ三品官ハ領ノミニ之ヲ用ユルヲ許スト云フガ如シ貂、獺、黑猫、銀鼠等ノ皮ハ上品ニシテ長毛ノ羊皮之ニ次グ中等以下一般ハ老羊ノ皮ヲ用ヒ舶來ノ羅紗類ヲ衣服ニ用ユルハ嚴禁ナリ下等ノ賤民ニ至テハ縲纒纒カニ肢体ヲ蔽ヒ大抵沓ヲ着ケズ婦女ノ服装ハ概シテ華麗ヲ好ミ其盛裝ニ至テハ繡飾ニ巧ヲ費シ一領數日金ヲ値スルアリ中等ハ緞子、綾等ノ色彩鮮麗ナルモノヲ選ブ下等ハ綿布ノミ通常一般ノ服色ハ青藍紺ヲ多シトス

## 2.18 支那人ノ飲食

支那人ノ食物ハ一般ニ鳥獸ノ肉ヲ主トシ總テ油濃キヲ好ム豚ノ肉ハ其常食ト云フヲ可ナルモノナリ我國ニ於テハ淡白ヲ旨トスル汁物ノ中ニモ必ズ脂ノ豚ヲ調和スルコト我國ニ於テ鯉節ヲ用ユルニ同ジ中等以上ノ人ハ食事ニシテ一汁一菜ナド云フ粗末ノ膳部ヲ用ユルコトナシ多キハ八種少ナキモ五六種ニ下ラズ沿海等ノ盛饌ニ至テハ所謂山海ノ珍味ヲ排列シ數十種ニ及ブモノアリ一般ノ食事ハ一日二回ニシテ朝ハ十時晚ハ四時ナリ朝ノ食ハ肉類多クシテ晚ノ食ハ少シク淡白ナルヲ常トス米ハ四五年ヲ經タル古米ヲ貴ブト雖ドモ近年貯蓄米少キヲ以テ多クハ一年半位ノモノヲ需要ス食事ノ時ハ概シ酒ヲ用ユ酒ニ數種アリ大抵一ヶ月ニ二回ヲ期シテ種々ノ馳走ヲ作り家内一同打寄リテ飲食ス商家ノ如キハ毎月福ノ神ヲ祭ル為メ此會食ヲナス此外毎日朝ハ八時昼ハ一時ニ点心ト稱シテ饅頭ノ類ヲ食シ茶又ハ蓮子湯人參湯ノ類ヲ飲ム下等ノ賤民ハ雲泥ノ相違ニシテ市街ニ住スルモノニテモ一飯一菜ニ過ギズ菜ニ肉ヲ用ユルコト少ナシ時トシ



テハ麵ヲ食シ飯ト菜トヲ廃スルアリ其他ハ雜穀ヲ以テ製スル饅頭ヲ常食トス農民ハ米ト麩トヲトテ食フコト能ハズ況ンヤ肉類ヲヤ高粱、豆、粟ノ如キ雜穀ヲ常食トス又一碗ノ雜穀ニ飢ヲ凌ギ水ヲ飲ミテ安ンズルアリ常ニ雜炊ヲ啜リ得ルハ尚ホ可ナリ街頭ノ人力車夫ノ如キ勞力者ハ定リタル常食ナク一日ハ甘藷ヲ食シ一日ハ饅頭ヲ食ヒ又時トシテハ大道売ノ豆腐ヲ食ヒテ尚能ク稼グハ感心ノ外ナキナリ

### 2.19 支那人ノ家屋

支那ニ於ケル上等ノ家屋ノ構造ハ一種ノ煉瓦ヲ疊ミ上ゲテ四壁トシ中等ハ皆板ヲ用ヒ下等ハ蘆又ハ藁（北地ニテハ高粱ノ稈）ニテ下地ヲ作り之ニ泥ヲ塗ル屋根モ亦然リ海浜河岸ノ賤民ハ南北共概子舟乗ト漁業ヲ以テ生計トナスガ故ニ家族一同舟ヲ家トシテ生涯其中ニ寢食シ陸上ニ家ヲ有セザルモノ多ク婦女モ能ク楫櫂ヲ扱ヒ男子ニ異ナルコトナシ家ノ間取りハ大抵三間連接シテ左右ニ一間ヅ、ノ小廂アリテ凹字形ヲナス中間ハ客堂ニシテ其左右ハ書齋等ニ用ヒ小廂ハ家族ノ居屋庖厨トス上等ハ二階建（北京近傍ニテ二階建少ナシ）ニテ棟数モ多ク中等以下ハ平屋ニシテ間数随テ少ナク下等ニ至テハ対客ノ間寢室、台所共一間限りノモノアリ中等以上ノ家ニ於テハ大抵床ノ下ノ一方ニ窓ヲ開キ竈ノ如クシテ火ヲ焚キ其烟ト暖氣トヲ床下一円ニ通スル様ニシ座敷ヲ暖メ寒氣ヲ防グノ装置アリ但シ南方温暖ノ地ニハ之ヲ用ヒズ座敷ノ中央ニハ低キ机ヲ据ヘ前後左右ニ椅子ヲ置テ主客ノ席ヲ分チ四壁ニハ書画ノ幅物ヲ掛ケ並ベ側ラノ机上ニ茶器ノ類ヲ排列ス貧富ニヨリテ其器什ニ精粗ノ異ナルアリト雖ドモ之ヲ安排シテ座敷ヲ修飾スルハ皆一般ノ習俗ナリ其上等社会ニ至テハ椅子、卓子、書架、及ビ寢台ヲ紫檀、黒檀、香樟等ノ佳木ヲ以テ製シ之ニ精巧美廉ナル彫刻ヲ施スアリ下等社会ニ於テモ常ニ椅子、卓子、寢台ヲ用ユルト雖ドモ雜木又ハ竹藤ニテ製セルモノナリ其賤民ノ如キハ豚小屋ノ如キ家ニ住ミ地上ニ起臥シテ夜具

ナキモノ少ナカラズ

### 2.20 支那人ノ性質

支那人ハ一般ニ旧ヲ守リ新ヲ嫌ヒ利ニ走り錢ヲ尊ビ虚勢ヲ張りテ抓疑ノ念深ク能ク残ヲ忍ビ刻ニ耐ユ之レヲ細説スレバ政府既ニ旧例ヲ重ニシ止ムヲ得ザル事情ニ迫ラル、ノ外ハ祖宗ノ制ヲ変更スルコトヲ誠ル故ニ一朝新奇ノ事業ヲ起スコトアルトキハ朝野共ニ驚キ物議沸騰スルニ至ル近来諸外国ヲ交通漸ク頻繁ニ赴キ外国新奇ノ智識ト物産トヲ輸入セルヨリ或ル部分ノ人民ハ稍同化ノ意ナキニアラズト雖ドモ一般守旧ノ情勢ニ制セラレテ躊躇スルノ有様アリ衣服飲食其式様ヲ一ニシ冠婚葬祭固ク古例ヲ守リ不体裁ニシテ邪魔ナルヲ覺ユルモ国憲ヲ奉ジテ男子ハ芥子坊主ニ弁子ノ尻尾ヲ重ジ難儀ニシテ不便ナルヲ厭フト雖ドモ習俗ニ遵フテ女子ハ足首ヲ摺子木ニスル纏足ヲ施スガ如ク総テ祖先ヨリノ仕来リヲ変更セズ又利ニ走ルニ種々アリ中等以上ノ或ル部分ニ在テハ名教ヲ重ンジ礼讓ヲ講ジ志操頗ル高尚ナルモノナキニアラザレドモ其青年輩ガ学問スルハ概子政府ノ官吏トナル目的ナリ然ラザレバ偏屈儒者トナリ古書ノ学問考証ニ腦力ヲ費シ又ハ詩文書画ニ耽リテ自ラ高シトシ人モ亦其高節ト風流トヲ贊稱スルノ弊アリ是等ノ輩一タビ官吏トナルニ及ンデハ儒教ノ廉正ハ消失シ偏ニ賄賂ヲ貪リテ飽クコトナク公務ヲ顧ミズシテ専ラ下民ヲ虐クルヲ常トスル其就官ノ望ミナキモノハ商賈トナリ一攫千金ヲ得ント願ミテ廉恥ヲ忘レ詐偽百出狡猾ヲ以テ其業ヲ經事スルニ至ル斯ノ如キ輩ハ概子常ニ大言ヲ吐キ表面ヲ飾リ世ノ信用ヲ得ンコトヲ勉ムルガ故他人モ亦其類カト疑ヒ着実有力ノ外国商ニ對シテ容易ニ信用ヲ置カザルヲ以テ通商上頗ル困難ヲ覺ユ尤モ純粹ノ商人ニシテ資力アルモノ、内ニ正実純良ニシテ商業上利便ノ習慣ヲ利殖スルノ道ヲ知ラザルモノ多シ是レ一旦得タル所ノ宝ヲ失フノ虞アランコトヲ恐ル、ノ疑心湧キシタルモノニテ百般ノ經濟上細カニ心ヲ用ユルコト我国人ノ想像モ及バザル所ヨリ即チ市

上ニ於テ物品ヲ売買スルニ或ル数品ヲ除ク外ハ總テ權衡ヲ用ヒ必ズ其重量ヲ權リ然ル後ニ取引スルガ如キハ我國人ガ目分量ヲ以テ商品ノ代價ヲ定メ出納不平均ヲ生ズルコト呈アルノ類ニアラザルナリ一匣ノ摺附木ヲ買フニモ必ズ其匣ヲ開キ其數ヲ算ヘテ三四本ノ多少ヲ争フガ如キ我國人ハ之ヲ見テ愚トナスベシ又物ヲ買フニ一度其物ヲ見テ意ニ適フモ即座ニ之ヲ買取ラズ其日ハ家ニ歸リ時宜ニヨリテハ家族又ハ朋友ニ相談シ或ハ他店ニ至リ其相場ヲ聞糺シタル後買フベシト決スルトキハ再ビ元ノ店ニ赴キ直切ルガ上ニモ直切りテ初メテ買取ルヲ常トス故ニ支那人ニ向テ商売ヲ試ミタル我國商人中多クハ彼ノ悠々不斷ニ對シ眠氣ヲ催フ辛抱出來ズ遂ニ半途ニシテ其目的ヲ更メ歐米商ニ向テ取引スルニ至ルモノ多シ又一般ノ人民年來压制政府ノ下ニ生息シテ苛酷ナル官吏ノ扱ニ慣レ更ニ苦痛ヲ感ゼザルモノ、ゴトシ去レバ他國人ヨリ時ニ少ノ虐待ヲ受クルモ錢□□□ナレバ自國ノ官吏ニ重税及ビ賄賂ヲ取ラレテ虐待セラル、ヨリ利益アリトノ考ヲ以テ禽獸ノ如ク取扱ハル、モ能ク忍ンデ辛抱スルハ不開化野蠻ノ致ス所ナルノミナラズ支那人ニハ別ニ斯様ナル一種ノ性質ヲ特有スルコト明ナリ

## 2.21 税関

支那國固有ノ税関ヲ内関又ハ常関ト名ク内國ノ税関ニシテ欽定大清會典ニ凡ソ天下水陸衛會舟車ノ輻輳スル所商館ノ聚集スル所官ヲ設ケ尹ヲ置キ其治禁ヲ掌ドリ以テ行旅ヲ安ンジ以テ貨賄ヲ通シ爰ニ之ガ税ヲ繫ゲ以テ調幾ヲ便シ以テ國家ノ經費ヲ佑クトアリ是レ政府ガ関ヲ設ケ税ヲ課スル所以ニシテ乾隆十八年ノ調べニ抛ルニ全国中四十二ヶ處ノ関門アリテ其收税ノ額四百三十二万四千〇〇五兩餘ナリ而シテ各税関ノ徵收ハ予メ其入額ヲ定メ其主任官ニ放任ス故ニ入税額ノ定額ヨリ不足スルトキハ主任官等之ヲ賠償シ若シ餘裕アルトキハ主任官等之ヲ己レノ囊中ニ収ム故ニ入税多額ナル税関ニ赴任スル官吏ハ任期中（一ヶ年）非常ニ巨

額ノ役得アリ聞ク兩江總督劉坤一ガ某税関長ヲ代理スルコト僅ニ五六ヶ月ニシテ囊中更ニ十数万兩ノ銀子ヲ加ヘ福建ノ柯玉棟ハ某海関ノ書記ヲ勤ムルコト数年ナラズシテ巨万ノ富ヲ致セリト又入税常ニ定額ヨリ少ナキ税関ノ官吏ハ予テ其賠償ヲ免ル、為メ種々ノ奸騙ヲ運ラシ上ヲ欺キ下ヲ虐ゲ亦若干ノ餘剩ヲ其囊中ニ収ムルコトヲ得ルト云フ乾隆十八年各関税ノ徵收額ヲ規定セル後商賈ノ往來漸ク増加シ隨テ入税額モ増加セルヨリ各官ノ收税額ヲ改定シ其税ヲ分テ正税餘盈ノ二目トシ大ニ其收額ヲ増加セリ同治四年ノ校訂全国関税總額ニヨルニ乾隆十八年ニ規定セル入税額ヨリ八万一千二百餘兩ヲ増加セリ

又外國ニ通商ヲ准セル各開港場ニ在ル税関ヲ新関又ハ洋関ト云フ道光年中鴉片ノ亂後ニ引續キ咸豐年間ニ開設セルモノニシテ海外輸出入ノ貿易品ニ課税スル所ナリ其事務ハ専ラ英國人ノ処弁ニ任ズ是レ支那政府ガ英國ト取結ビタル通商善後章程ノ第十條ニヨルモノナリ而シテ各新関ニハ一切日本人ヲ使用スベカラズト其意蓋シ日本人ニシテ一朝支那ノ税務ニ通曉スルトキハ其給料ノ廉ナルハ勿論同文同族ノ國民ナルヲ以テ自ラ支那政府ニ処用セラレ給料貴クシテ常ニ忌憎セラル、己等ガ自國ノ通商上ニ至大ノ利便ヲ与ヘ得ベキ此要地ヲ永ク占ムルコト能ハザルノ憂アルト云フニアルガ如シ亦以テ英國ガ東洋貿易スル所ノ通商章程ニ与シ海関税則ニ準ジテ徵收スルモノナレバ旧関ノ如キ惡弊ノ少ナシト雖ドモ通関ノ際賄賂ノ厚薄ニ由テ便否ノ差アリト云フ

## 2.22 支那米附塩

支那ハ全国到ル處米ヲ産セザルノ地ナシ但各省地味ノ異ナルアリテ其收穫ノ割合同ジカラズ二三省ノ如キハ省内ノ需要ニ供給シテ常餘アリト雖ドモ全国ヲ通算スルトキハ平年ニシテ全国人民ノ需要ニ不足アルモノ、如シ故ニ米ヲ海外ニ輸出スルハ國禁ナリ政府ハ嚴令ヲ下シテ貢米ヲ除クノ外ハ各省濫リニ米穀ヲ省外ニ搬出スルヲ許サズ若シ

省外ニ搬出スルノ必要アルトキハ其筋ノ允許ヲ得テ税銀ヲ納メザルベカラズ又政府ニ於テ豊凶等ノ事故ニ由リ甲省ノ米ヲ乙省ニ供給スルヲ必要ト認ムルトキハ特例ヲ發シテ無税搬出ヲ許ス故ニ若シ支那米ヲ買入レテ我日本ニ輸送セント欲セバ先ヅ両国政府ノ協議ヲ經テ許可ヲ得ザルベカラザルナリ而シテ陸続我國ニ輸入スル南京米ト称スルモノハ右禁例外ニ属スル安南地方ノ産米ナリ

各省中江蘇、安徽、浙江、江西ノ四省ノ如キハ地味米ニ適シ其産額毎年省内ノ需要ニ供シテ餘リアルガ故ニ産額僅少ナル直隸、広東、福建等ノ各省其供給ヲ仰グ

上海市場ニ売買スル米ハ其種類多シト雖ドモ江蘇、浙江、安徽三省ノ産ナリ而シテ江蘇米常ニ其最ヲ占ム年々上海ニ輸入スル額ハ精査スルコト能ハザルモ其概略ヲ算スルニ一ヶ年ノ輸入総額凡我二百万石ニシテ内江蘇米一百五十万石浙江四十万石安徽米十万石ノ割ナリ

安徽米ハ重ニ蕪湖ヨリ諸方ヘ輸出ス其額年々六十万石ニ下ラズ其内凡ソ十万石ハ天津又ハ揚子江ノ諸港ニ輸送シ上海ヘ輸入セルモノハ再ビ広東福建等ノ各省ヘ転送シ上海ニ於テハ殆ンド消費セザルナリ其米質ハ江蘇米ニ及バズト雖ドモ価格廉ナルヲ以テ廣ク販路ヲ承知ノ市上ニ得タルモノニシテ其上等品モ其質我秋田米ニ及バズ蕪湖市上最近ノ相場ヲ聞クニ一石（支那量凡我六斗ナリ）ニ付上等二弗三十五仙中等二弗二十仙下等二弗〇五仙ナリ我國ニ輸送シテ販売ノ望アルハ此米ノ右ニ出ルモノナシ

浙江米ハ嘉興府、紹興府、湖州府、杭州府等ニ産スル額最モ多ク年々釀酒ニ費ス所ノ額モ亦少ナカラズ其上海ニ輸送スルモノ凡我四十万石ニシテ其中十五万石ハ貢米トシテ北京ニ転送シ上海ノ市場ニ上ルモノ凡二十五万石ニシテ此内凡ソ五万石ハ上海ニ於テ消費シ残り十五万石ハ天津ヘ五万石ハ福建ヘ転送スル割合ナリ米質ハ江蘇米ニ劣ラザルモノアルモ上海ノ市場ニ上ルモノハ重ニ下等品ニシテ其上等品ハ貢米トシテ北京ヘ転送スルヲ常

トス

江蘇米ハ上海市場ノ売買米ト云フテ可ナリ蘇州府、松江府、太倉州等ヨリ年々上海ヘ輸入スル額凡我百五十万石ニ上ル其内三十万石ヲ上海ニ於テ消費シ二十万石ヲ貢米トシテ北京ヘ転送シ三十万石ヲ広東、汕頭地方ヘ五十万石ヲ天津ヘ十五万石ヲ福州廈門ヘ五万石ヲ牛莊芝罘ヘ輸送スル割ナリ米質支那全国中第一トスル所ニシテ我國ノ上米ニハ及バザルモ越中米ニハ匹敵スベシ支那米作ノ豊凶ハ江蘇省ノ作石作ヲ以テトスル程ニシテ江蘇米ハ支那全国ノ物価ヲ左右スル權ノ重ナル部分ヲ有スルモノト云フベシ江蘇米ハ又別ニ天津、旅順、広東等ヘ向ケ鎮江ヨリモ輸出ス其額一定セズト雖ドモ少クモ八万石ニ下ラザルベシ支那政府ハ内地ヨリ南京ヲ通過スル支那船ニ厘税ヲ課スルヲ以テ鎮江港ヨリ米穀ノ輸出漸ク減少セシガ近々其課税ヲ全廢スベシトノ説アリ果シテ然ルトキハ此港ヨリ輸出再ビ増加スルニ至ルヤ疑ナシ

上海ニ於テ各種白米ノ相場ハ支那量一石ニ付江蘇米上四弗四十仙、中四弗二十仙、下三弗七十仙、浙江米上四弗十仙下二弗九十仙安徽米上三弗五十仙下三弗二十仙ナリ

上海ニ於テ売買スル米ハ重ニ白米ニシテ玄米ノ取引ハ甚ダ少ナシ内地ノ問屋ハ上海ヘ取引店ヲ設ケ置キ古形ノ帆前船ニテ輸送スルアリ又荷主自ラ其船ニ乗組テ来航シ船上ヲ店トシテ売却スルアリ上海ノ問屋ハ其数多シト雖ドモ其重ナルモノヲ挙グレバ宝泰、裕昌、和承等ニシテ何レモ土着ノ旧家ナリ此外専ラ他省ヘ輸出シ從事スルモノアリ即チ広東汕頭ヘハ同昌和同泰原安福州廈門ヘハ啓昌、昭興、福裕南、天津ヘハ怡順昌、義昌永、仁茂和等ニシテ是等ハ皆上海ノ問屋ヨリ買入ル、ヲ常トスト雖ドモ往々内地ヨリ来港スル荷主ト直取引スルモノアリ又広東ヘ輸送ノ米ハ重ニ安徽米ナルヲ以テ広東ノ米商ハ安徽米輸出港ナル蕪湖ヘ手代ヲ派シテ買入ル、モアリ是レ上海ニ於テ安徽米ノ取引至テ僅少ナルニヨルナリ然レドモ上海ニ於テ最モ多ク江蘇米ヲ取扱フハ広東人トス右等輸出



商ガ米穀ヲ買入ル、ニ仲買ヲ用ユルコトアリト雖ドモ多クハ直売買ナリ又売買ノ仕組ミハ重ニ現米ニシテ限月約定ハ甚ダ稀ナリ相場ハ重ニ白米ヲ以テ立ツ内地ヨリ船積スル所ノ米穀ハ總テ俵ニ入レズ上海ニ於テ受ケ渡シタルトキ袋ニ詰メルヲ常トス代価ハ升目一石ヲ以テ定ム之ヲ他港ヘ輸送スルトキハ袋ノマ、斤量ヲ計リ而シテ之ヲ升目ニ直ス其割合ハ米質ニヨリ差異アリト雖ドモ支那量一石ハ司馬秤凡一百五十斤（我斤量ト大差ナシ）ニ当ル

前述ノ各種白米ノ相場ハ正味ノ価ニシテ袋代ハ其外トス然レドモ若シ麻袋入ノ儘取引スルトキハ其風袋ヲ除カズ悉皆ノ斤量ヨリ升目ヲ算出シテ袋ト共ニ其米ノ相場ヲ以テ受渡シスルコトアリ若シ新ニ袋ニ詰ムルコトヲ望ムトキハ其袋并ニ縄代ト手間料ヲ払ハザルベカラズ其代料蓆袋ナレバ我三斗入一個凡八仙麻袋ナレバ我六斗入一個十五六仙ヨリ二十六七仙ナリトス

支那米ノ性質価格及ビ売買ノ概略スクノ如クナルヲ以テ之ヲ我国ニ輸出スルトキハ利益アルベシト雖ドモ如何セン前ニモ述ベタル如ク支那政府ハ産米ヲ一切外国ヘ輸出スルヲ嚴禁セルガ故ニ政府ニ談判シテ一時其禁令ヲ解除セシムルニアラザレバ行フ能ハザルナリ然ルニ本港等ヨリ往々支那米ヲ我国ニ持出スモノアルハ船員等ノ食料トシテ積込メル餘剩又ハ狡猾ノ水夫等ガ窃ニ積ミ去ルモノニシテ元ヨリ多量ニアラズ而シテ近年我国ニ輸入スル支那米ト称スルモノハ前ニモ記セシ如ク右制禁外ニ属スル安南地方ノ産米ニテ多クハ支那各省ノ産米ヨリ劣等ノ品ナリ此劣等品ニシテ尚需要アリトセバ支那ノ産米殊ニ江蘇米安徽米ノ如キヲ輸送シタランニハ需要甚ダ多カルベシ支那ハ米穀ノ産出豊饒ナルモ民生日用必須ノ食塩ニ乏シク且ツ製塩及其販売共政府ノ專業ニ属シ其間種々ノ弊害アリテ既ニ高価ナル塩ヲシテ倍々高価ナラシメ細民ニ至テハ塩ヲ貴グコト珠玉ノ如クナリ然ルニ我國ハ製塩頗ル盛ニシテ産塩地方ニ於テ周年全カヲ尽シテ製出スルトキハ供給ニ餘リアリテ自然其価

格ヲ低減スルノ恐アルヨリ其製造ノ時期ヲ制限シテ其価格ヲ保タシムル有様ナレバ盛ニ之ヲ製出シテ支那ニ輸出シ廉価ヲ以テ内地ノ需要者ニ供給シ日コト我国ニ必要ヲ感ズル米ヲ輸入セリ即チ有無相通スル貿易ノ本旨ニ適ヒ兩國ノ便益□…□大アラシカ米ノ輸出塩ノ輸入共支那政府ノ禁ズル所ナレバ兩國ノ政府談判ヲ遂ゲテ更ニ一條ノ約ヲ結ブニアラザシバ眼前ニ掬スベキ兩國ノ利益ヲ挙ルコト能ハザルナリ

明治廿四年八月

## 2.23 <sup>コンブラド</sup> 賬房

支那ニ商店ヲ開キ其貨物ヲ廣ク販売セント欲スルニ当リ支那ノ事情ニ暗ク市場ノ現状ニ適セズ自ラ駆引スルコト能ハザルモノハ勿論能ク支那ノ情況ニ通ジ支那商人ノ信用ヲ得テ自ラ駆引スルコトヲ得ルモノト雖ドモ支那ノ賬房ナルモノヲ用ヒ營業スルトキハ其便益尠カラズ故ニ欧米各国ノ商人ニシテ商事ニ老練ナルモノモ此賬房ヲ用ヒテ其業安定擴張ヲ計レリ支那ニ商店ヲ開クニハ賬房ヲ雇フコト實ニ必要ナリトス而シテ其賬房ト称スルモノハ富有ニシテ商事ニ老練ナル支那人（広東人最モ多シ）ガ當ム所ノ一種ノ業ニシテ其約定ニ由テ三十兩以上百兩以下ノ月給ヲ得テ雇ハル、所ノ商店ノ品物ヲ自ラ引受ケテ之ヲ売捌キ其売上金高ノ一分乃至二分ノ口錢ヲ取ム又物品ヲ買入ル、トキハ其売主ノ方ヨリ定メノ口錢ヲ得ルガ故ニ店主ヨリ口錢ヲ受取ラズ恰モ仲買人ノ如キ性質ヲ帶ブルト雖ドモ其仲買人ト異ナル所ハ其商店内ニ自ラノ帳場ヲ設ケ日夜其商店ニ出入シテ売買一切ノ事務ヲ処理スルコト外人ニ對シテハ恰モ其商店ノ主權者ノ如ク所謂其商品ヲ委託セラレタル一手販売者ニシテ斯ク取引一切ノ責任ヲ負フガ為メ初メ信認金トシテ或ハ数千兩或ハ数万兩（此金ニ對シ店主ノ年一割以下ノ利子ヲ払フ）其店ニ相当スル金ヲ差入レテ不正ノ事ヲ行ハザルヲ保証スルモノナリ去レバ賬房ハ少シモ餘分ノ利益ヲ得ント欲シテ頗ル勉強奔走シ店ノ利益ヲ計リ取引ノ繁簡ニ從ヒ

別ニ自ラ給料ヲ出シテ数名ノ手代即チ帳付ケ金改メ及ビ小使ヲ使役シ帳場一切ノ費用ヲ負担シ売買ノ繁昌ヲ期シ其売捌キシタル物品ノ代価ヲ取集メテ之ヲ店主ニ交付シ若シ其代金ノ延滞又ハ不払ノ事アルトキハ賬房其責ニ任ジ自ラ之ヲ償フノミナラズ取引上ノ行違ヨリ訴訟ニ及ブコトアルモ決シテ店主ヲ勞セズ賬房自ラ其衡ニ当リ人事上ヨリ生ズル売買ノ損失ハ決シテ店主ノ損失トナサズ

斯クノ如ク巨額ノ信認金ヲ出ス程ノ資産モアリ斯ク商事ニモ熟練セルモノニシテ一ケ獨立ノ商業ヲ営マズ仮令一切ノ取引ヲ任ジ其商店ノ主権者ノ如クナルモ他ノ雇人トナリテ働クヲ怪シムモノモアランガ雇人トハ云ヘ売買一切ノ委任ヲ受ケ毫モ權利ヲ束縛セラル、コトナク前ニモ云フガ如ク身元金ヲ出シタル一種ノ委託販売者ナレバ収益ハ獨立ノ營業ヨリ幾分カ減ズルモ商品仕入方ノ勞モナク又売残品ヲ損ズルノ憂ナキヲ以テ支那人ハ至極都合ヨキ營業トナシテ之ニ従事スルコトヲ好ム

其雇期限ハ最初双方其人トナリヲ知ラザル間ハ先ヅ六ケ月乃至一ケ年ヲ限り約定ス其互ニ信用スルニ及ンデハ凡ソ三年ヲ限り不都合ナケレバ尚三ケ年ノ雇続キヲナス限ニ引続キ十五六年間一商店ノ賬房ヲ勤ムルモノ少カラズ

賬房ノ性質斯ノ如クナレバ我國商人ニシテ支那ニ商店ヲ開クモノハ必ズ之ヲ雇入レザルベカラズ賬房ヲラント欲スル支那人ハ土地ノ勝手ニモ明ルク諸物価ノ高低ニモ通ジ某品ハ何処ニ需要アリ某氏ハ正直ニシテ富ムガ故ニ商品ヲ送ルモ代価ノ滞ル憂ナシナド云ヘル事情ニモ熟シ物品ニ応ジタル売買ノ季節ト各地人民ノ嗜好トヲ知ルガ故ニ店主ハ仮令自ラ馳行スルコト能ハザルモ商品ノ売行キ円滑ナルヲ得テ百事便利ナルベシ但賬房トナルベキ支那人總テ実直ナルヲ保スル能ハズ又商業ニヨリ不慣ナル人物ナキニアラネバ若シ誤テ不正直ナル奴ヲ雇入レ又ハ不慣ナル者ニ出会フ店主ノ不利益尠カラズ故ニ其地ニ久シク在留シテ事情ニ明ルキ人ニ依頼シ正直ニシテ商事ニ熟練ナル賬房ヲ雇入レ随分意ヲ用ヒテ之ヲ籠絡セザルベカラズ此他

賬房ニシテ店主ヲ信用セザルトキハ信認金ヲ出サズ月給ト口錢ヲ受ケテ働クモアリ又口錢ノ歩合ヲ多クシ月給ヲ受ケズシテ働クモアリ總テ店主ノ信用ト便宜トニ由ルモノナリ

## 2.24 噸税

噸税ハ支那ニテハ船鈔ト稱シ日清通商章程第十七款ノ明文ニ由テ取立ルモノニシテ清國ノ開港場ニ入着スル日本商船ノ納ムベキ噸税ハ百五十噸以上ノ船ハ一噸ニ付銀四錢其以下ノ船ハ一噸ニ付銀一錢トス而シテ之ヲ納ルトキハ海関ヨリ四ケ月期限ノ手形ヲ渡シ其期限内ハ清國何レノ開港場へ出入リスルモ再ビ噸税ヲ納ムルニ及バズ其期限満ツレバ又更ニ定メノ噸税ヲ納ムベシ總テ入港ノ船舶ニシテ積荷ヲ陸揚セズシテ二日以内ニ出港スルトキハ噸税ヲ納ムルニ及バズト雖ドモ二日ヲ越ユレバ定メ通り納メザルヲ得ズ但シ此外ニ雜費等ヲ払フコトナシ日本ノ開港場へ出入リスル清國ノ船ハ噸税ヲ払ハズ税関へ手数料トシテ入港ニ十五弗出港ニ七弗ヲ納ムルノ定ナリ

今仮リニ五百噸ノ船ヲ清國ノ開港場ニ入レルトスルトキハ此噸税海関銀二百兩ヲ払フ而シテ一ケ年出入セントスルニハ都合六百弗ヲ払ハザルヲ得ズ海関銀一兩ノ相場ヲ我一円四十五錢トスルトキハ此一ケ年ノ噸税金八百七十円トナル随分少カラザル金高ナリ故ニ清國トノ貿易ニ従事スル船舶ハ四ケ月間ニ數回又ハ年中斷ヘズ往復スルモノニアラザレバ經濟上自ラ積荷ノ運賃ニ大ナル影響ヲ及ボス故往復ノ度ヲ計リタル上ナラデハ船舶ヲ送ルベカラザル事ナリトス

明治廿四年九月 日

## 2.25 北支那ノ糧穀

天津及ビ北京地方ノ支那人ハ麥ヲ以テ常食トスルガ故ニ其産出多シト雖ドモ時トシテ不足ヲ感ズコトアリ其節ハ河南省ヨリノ供給ヲ仰グヲ常トス又他地方ノ如ク蕎麥ヲ食スルモノ稀ナルガ故ニ穀物店ハ多ク之ヲ備ヘズ其価ハ麥ニ比シテ甚ダ廉ナ



リ<sup>アハ</sup>小米ハ山東ヨリ輸入スレドモ其額多カラズ白米ハ総テ上海ヨリ積来ル北地ノ人民ハ貴賤貧富ヲ論セズ日常ノ食料麦ヲ除クノ外ハ重ニ白米ヲ食シ小米ヲ用ユルモノナシ是レ白米ノ価ノ小米ヨリ廉ナルニ因ル只山東ヨリ移住セル人民ハ白米ヨリ不廉ナルモ小米ヲ常食トス是レ從來ノ習慣ニヨルト雖ドモ亦山東人ハ多ク力役ヲ業トスルガ故ニ食事ヲ自ラ粗悪ニシテ満腹スルヲ要スルモノナラン某人ノ話ニ小米ハ白米ヨリ腹ニ入テ堪ヘガアルト蓋シ消化ノ遅クシテ長ク満腹ノ感アルヲ云フモノナルベシ又時アリテ江南地方ヨリ麦ヲ輸入スルアリ南方ノ地ハ麦ヲ産スルコト少ナシト雖ドモ亦之ヲ食スルモノ少キヲ以テ其餘剩ヲ輸送スルモノナリ而シテ北地ハ多ク麦ヲ産シ時トシテハ多額ノ餘剩アルモ未ダ嘗テ之ヲ南地ニ輸送セシヲ聞カズ紅糧（一名高粱）ハ重ニ釀酒用ニ充テ其一分ヲ貧民ノ食料トス玉米（一名棒子）モ亦貧民ノ食料ナリ之ヲ以テ釀セル酒アレドモ味甚ダ美ナラズ豆ニ數種アリ元豆（黄色）緑豆、江豆、黑豆（貧民ドモノ食料又ハ豆腐ノ材料）白豆（菓子製造ニ用ユ）宛豆、青豆、等ノ名アレドモ黄青ノ二種ヲ重ナルモノトス其用途甚ダ広シ滿州地方ニテハ之ヲ以テ豆

餅ヲ作り南方ニ送り販売シテ利ヲ得ルコト多シ南方ノ水田多クハ此豆餅ヲ肥料トスルニ由ル此豆餅ヲ作ル時多量ノ液汁ヲ製ス之ヲ豆油ト云フ滿州ノ農家ハ皆此豆油ヲ以テ日々ノ料理及ビ夜々ノ点灯ニ用ユ此頃天津ニ於テモ香油中ニ此豆油ヲ混和シ猶香油ト冒称シテ販売スルモノアリ亦豆腐ヲ作り醬油及ビ醬ヲ製スルニハ多ク此種ノ豆ノ傷ツケルモノヲ用ユ芝麻ハ香油ヲ造リ又菓子ヲ製ス

直隸省ニ於ケル烟地ニハ春季ニ多ク麦ヲ種ヘ夏季ニ多ク紅糧ヲ植ユ蓋シ紅糧ハ耕作甚ダ容易ニシテ又水旱ノ害ニ感ズルコト少ナキガ故ナリ豆類ハ皆麦ヲ刈リタル跡ニ植付クルモノナレドモ毎ニ水害ニ遭ヒ易キヲ以テ概子高地ヲ撰ブ此外落花生紅薯黏高粱、黏小米、等ヲ植エルモアリ水田ニハ稻ヲ種ルト雖ドモ北地ハ元来水田乏シク且ツ地味ノ適セザルヨリ収獲甚ダ少ナク其産米僅ニ一地方人民ノ飯料ニ充ツル過ギズ高燥ノ地ニハ多ク棉ヲ植ヘ低湿ノ地ニハ多ク棉麻ヲ植ユ又近年東偏ノ地ニ於テハ罌粟ヲ植ヘ鴉片ヲ製造スル者甚ダ多シ此耕種ハ労力ヲ費スコト多シト雖ドモ利益莫大ナルヲ以テ之ヲ耕種スルモノ次第ニ増加シ今日ノ勢地方庁モ之ヲ禁ジ難キヲ知テ然許ニ付スルモノ、如シ